

nav-u”本体の取り扱いなどに関するお問い合わせ先

■ 困ったときは

- “nav-u” 関連のサポートページ（下記 URL）でお調べください。最新サポート情報や「よくあるお問い合わせ（Q&A）」などを掲載しています。
<http://www.sony.jp/support/nav-u/>
- お使いの携帯電話で下記の2次元コードを読み取り「かんたん操作ガイド」でお調べください。詳しくは、「かんたん操作ガイドのご案内」（12ページ）をご覧ください。

2次元コード



<http://m.sony.jp/m/nav-u/i/nv-u37/mg/>

■ お問い合わせの前に

お使いの“nav-u”の機種名をご確認ください。機種名は、“nav-u”本体背面の機銘板に記載されています。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<http://www.sony.co.jp/support>

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル ……………0120-333-020	フリーダイヤル ……………0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話 ……………0466-31-2511	携帯電話・PHS・一部のIP電話 ……………0466-31-2531
	※取扱説明書・リモコン等の購入相談は こちらへお問い合わせください。

FAX（共通） 0120-333-389

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「307」＋「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

地図・検索データの内容についてのお問い合わせ先

株式会社ゼンリン カスタマーサポートセンター



0120-210-616

受付時間10:00～17:00月～金（祝日・ゼンリン指定休日は除く）

※携帯・自動車電話・PHSからでもご利用になれます。

※IP電話等の一部電話機では、ご利用いただけない場合がございます。

Printed in China

SONY

SONY

パーソナルナビゲーションシステム

パーソナルナビゲーションシステム

取扱説明書

nav-u



MEMORY STICK™

PetaMap
ベタマップ

NV-U37

©2011 Sony Corporation

4-272-943-03(1)

各部の名前とはたらき	20
充電する	23
現在地を表示する	26
基本操作のしかた	29
地図の見かたと操作	34
自宅を登録／変更する	42
行き先・経由地を決めて出発する	44
自宅に帰る	48

基本編

ナビゲーションのいろいろな操作 49

編集・設定をする 81

アプリケーション機能を楽しむ 95

パソコンやブルーレイディスク
レコーダーと接続して使う 109

その他 117

困ったときは 133

索引・付録 141

目次

重要なご注意 5

防滴について (ご使用前に必ずお読みください)..... 8

かんたん操作ガイドのご案内 12

「かんたん操作ガイド」の使いかた 12

自転車／徒歩でお使いになる前にお読み ください 13

自転車でお使いになる場合 13

徒歩でお使いになる場合 15

自転車や徒歩で使う場合に便利な機能 17

内蔵電池の持続時間について 18

基本編(ここだけ読んでも使えます)

各部の名前とはたらき 20

充電する 23

シガー電源コードで充電する 24

ACアダプターで充電する 25

USBケーブルで充電する 25

現在地を表示する 26

現在地を表示する 26

時刻の調整 28

基本操作のしかた 29

トップメニューの操作 29

ナビモードを切り替える 31

文字入力 32

地図の見かたと操作 34

地図を動かす／スクロール 36

地図の縮尺を変更する 38

常に地図を北上にする／進行方向を上
にする 39

2Dマップ／3Dマップに変更する 40

地図上の地点の情報を見る 41

自宅を登録／変更する 42

自宅を登録する 42

自宅を変更する 43

行き先・経由地を決めて出発する 44

自宅に帰る 48

ナビゲーションのいろいろな操作

メニュー画面の見かた 50

行き先・経由地を決めて出発する (行き先メニュー) 51

「住所」で探す 51

「電話番号」で探す 52

「ガイドブック」で探す 54

「ジャンル」で探す 55

「名称」で探す 56

「マーク」で探す 58

「緯度経度」で探す 59

「履歴」で探す 60

保存したルートを使って探す 61

日時を指定してルートを探索する 62

近くの施設を探して出発する (最寄メニュー) 62

「ジャンル」で探す 62

「名称」で探す 64

「ガイドブック」で探す 65

「かんたん最寄」で探す 66

検索範囲を変更する 67

よく行く場所へ出発する (自宅／お気に入りメニュー) 68

お気に入り登録する 68

お気に入りの場所へ出発する 68

ツールバー 69

再生(動画) / 再生(音楽)	69
「表示切替」	70
「ナビ」	72
「全ルート」	73
音量(音量)	73

自転車モード 74

こんなことができます	74
自転車モードを開始する	74
ルートを探索する	75
標高グラフについて	75
自転車モードから他のモードに切り替える	76

徒歩モード 77

こんなことができます	77
徒歩モードを開始する	77
ルートを探索する	78
徒歩モードから他のモードに切り替える	79

アウトドア地図 80

こんなことができます	80
アウトドア地図を使う	80
アウトドア地図をダウンロードする	80
アウトドア地図を表示する	80
アウトドア地図を終了する	80

編集・設定をする

各種の編集・設定をする (編集・設定メニュー) 82

「ルートの編集」	82
「マークの編集」	85
「施設アイコン」	87
「自宅／お気に入り編集」	87
「ナビモード切替」	87
「設定」	88

アプリケーション機能を楽しむ

ガイドブックを見る 96

こんなことができます	96
スポット詳細画面	96
ガイドブックを表示する	97

音楽を聞く 98

こんなことができます	98
音楽ファイルを転送する	99
音楽再生画面	100
音楽を再生する	100
設定を変更する(オプションメニュー)	101

ビデオを見る 102

こんなことができます	102
ビデオファイルを転送する	102
ビデオ再生画面	103
ビデオを再生する	104
ビデオファイルを削除する	105
設定を変更する(オプションメニュー)	105

写真を見る 106

こんなことができます	106
写真表示画面	107
写真を見る	108
設定を変更する(設定メニュー)	108

パソコンやブルーレイディスクレコーダーと接続して使う

パソコンと接続する 110

こんなことができます	110
準備する	112
パソコンと本機を接続する	113

ブルーレイディスクレコーダーと 接続する(おでかけ転送) 115

こんなことができます	115
ブルーレイディスクレコーダーと本機を接続する	115

その他

現在地表示について	118
地図について	120
検索データについて	122
地図に表示される記号について	123
アウトドア地図について	124
ガイドブックデータについて	124
“メモリースティックデュオ”に ついて	125
商標と著作権について	127
使用上のご注意とお手入れ	128
本機の取り扱い	128
ヒューズの交換について	129
廃棄時のお願い	129
主な仕様	131
保証書とアフターサービス	132
保証書	132
アフターサービス	132

困ったときは

困ったときは	134
エラーメッセージ	138

索引・付録

索引	142
ジェスチャー操作一覧	145

重要なご注意

重要！

必ず下記のことを守ってください。

電源の接続について

“nav-u”本体およびクレードルに使用するシガー電源コードやACアダプターは、必ず付属品をご使用ください。

指定以外のものを使用すると、“nav-u”本体およびクレードルの対応電圧より高い電圧が加えられることにより、発煙・発火の原因となり思わぬ事故につながる場合があります。

“nav-u”本体およびクレードルの端子に車のバッテリー電源を直接接続しないでください。故障の原因となります。

シガーライターソケットの形状によっては、シガー電源コードが正しく接続できないことがあります。

本機に付属のシガー電源コード、ACアダプターは、他の機器に使用しないでください。故障の原因となります。

本機に付属のACアダプターは家庭用です。車で使用しないでください。

付属の電源コードは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。

取り付け前に、“nav-u”本体および接続端子が濡れていないことを確認してください。“nav-u”本体および接続端子に水滴が付着している場合には、水滴を確実に拭き取り、水分が完全になくなるまで常温で放置して乾燥させたのち、取り付けてください。

移動速度の表示について

地図画面に表示される移動速度は、GPSの測位から算出された速度です。実際の速度と異なる場合がありますので、運転中は必ず車のスピードメーターで速度を確認してください。

“nav-u”本体のフラッシュメモリーについて

下記のことを守らないと本機の機能が使えなくなります。

- ・“nav-u”本体のフラッシュメモリーに格納されているファイルを削除／移動したり、ファイル名を変更したりしないでください。
- ・“nav-u”本体のフラッシュメモリーには、決められた種類のファイル(ガイドブックなど)以外を追加しないでください。
- ・ガイドブックを追加する場合は、nav-uツール(PCアプリケーション)をご使用ください。

地図データのバックアップのお願い

地図データ／ガイドブックは、nav-uツール(PCアプリケーション)を使ってパソコンにバックアップしてください。誤って削除／変更してしまった“nav-u”本体の地図データ／ガイドブックをリストア(復帰)するためには、バックアップした地図データ／ガイドブックが必要です。

nav-uツール(PCアプリケーション)のインストールや使いかたについては、“nav-u”のサポートページ(下記URL)の「ソフトウェアダウンロード」でご確認ください。
<http://www.sony.jp/support/nav-u/>

データのバックアップのお願い

ソフトウェア更新時や修理時に、まれに登録済みデータが消失したり変更されたりすることがあります。これらの作業を行う前には必ず、自前で、登録済みデータをバックアップしてください。データの消失に関する補償やそれに付随する損害には、弊社は一切の責任を負いかねます。なお、“メモリースティック”などの記録媒体そのものの故障の場合にも、データの修復はできません。大切なデータは定期的にバックアップすることをおすすめします。

本機の取り扱いについて

タッチパネルにはガラスを使用しています。硬いものをぶつけたり、手をついたり、重いものを載せたり、“nav-u”本体を落としたりするなど強い衝撃を与えると、本機が破損することがありますので、特に以下の点にご注意ください。

- “nav-u”本体を持ち運ぶ場合は、必ず付属のキャリングポーチに入れてください。
- 本機を車に取り付けるときは、以下の点に注意し、付属の「取付と接続」に従って正しく取り付けてください。正しく取り付けないと、走行中の振動により本機が落下することがあります。
 - 取り付けの前に、吸盤を取り付ける面(ダッシュボード)をきれいに拭く。
 - 取り付けるときは、ボタンを強く押して確実に吸盤をロックする。
 - 取り付け後は、確実に取り付けられていることを確認する。
- “nav-u”本体をクレードルに無理に取り付けけないでください。故障の原因となることがあります。
- 画面を強く押さないでください。“nav-u”本体をクレードルに取り付けたり、はずしたりするときも充分注意してください。
- 硬いものや先のとがったもので画面を操作したり、強打したりしないでください。
- 市販の液晶画面保護フィルムは使わないでください。タッチパネルが正しく動作しなくなることがあります。
- “nav-u”本体以外は、雨または湿気にさらさないでください。“nav-u”本体の防滴性能について詳しくは、「防滴について(ご使用前に必ずお読みください)」(8ページ)をご覧ください。
- 接続端子には金属や異物などが触れないように注意してください。接続端子がショートして故障の原因になったり、接触不良により本機が正しく動作しないことがあります。
- “メモリースティックデュオ”スロットに異物を入れないでください。

エンジンを切ってもシガーソケットの電源が切れない車で本機をお使いの場合

本機を使用しないときは、“nav-u”本体をクレードルからはずし、シガー電源コードを車から抜いてください。

エンジンを切ってもシガーソケットの電源が切れない車でシガー電源コードを差したままにすると、微小電力を消費し、車のバッテリーあがりの原因になります。

初めて使うときのGPSの受信について

- お買い上げ後初めて電源を入れると、GPSを受信するまでの間、現在地は品川付近に表示されます。
- GPSを受信するには本機を車に正しく取り付け、安全で見晴しの良い場所にしばらく停車してください。
- 走行中よりも停車中のほうが、より早く現在地を表示できます。
- 屋内ではGPSを受信できません。
- GPSを受信し現在地を表示するまでの間、受信の進行状況を示すアイコンとメッセージが表示されます。

長時間放置した場合

- 充電した本機を長時間使用しなかった場合、放電によって内蔵電池の残量がなくなり、電源が入らないことがあります。このような場合は、再度充電してからお使いください。
- 本機を使わずに長時間放置した場合、シガー電源コード(付属)またはACアダプター(付属)を接続した状態でI/Oボタンを押しても電源が入らないことがあります。このような場合は、リセットボタンを押してからI/Oボタンを押してください。

高温／低温時の充電について

直射日光の強いところや炎天下の車内などで本機内部の温度が上昇したり、冬期の使用などで本機内部の温度が低下している場合、内蔵電池の劣化を防ぐために充電されないことがあります。そのため、内蔵電池での使用時間が短くなることがあります。高温／低温の場所を避けて充電をしてください。

システム初期化について

- ・「システム初期化」をタッチした場合は、システム初期化が完了するまで(90秒以上)お待ちください。
- ・システム初期化を行う場合は、必ずACアダプター(付属)かシガー電源コード(付属)を使ってください。途中で電源が切れると、本機のデータやシステムが破壊されて起動しなくなることがあります。
- ・システム初期化中に「nav-u」本体のI/Oボタンを押したり、リセットボタンを押さないでください。本機のデータやシステムが破壊されて起動しなくなることがあります。

本機をご家庭でご使用になる場合

- ・ACアダプター(付属)は、すぐに手が届くコンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- ・ACアダプター(付属)は本棚や組込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
- ・ACアダプター(付属)に水をかけたり、ぬらさないようにしてください。
- ・コード類につまずいたり、コード類が他のものにはさまったりしないようにしてください。

本機とパソコンを接続する場合

本機に付属のUSBケーブルを使ってください。本機に付属のUSBケーブル以外を使うと、故障の原因となることがあります。

保管場所について

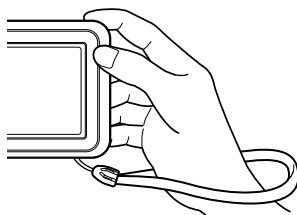
本機を以下のような場所に保管すると、故障や変形の原因となります。

- ・濡れた場所
- ・風呂場など湿気の多い場所
- ・異常に高温 / 低温 / 多湿になる場所
- ・突起のある場所、異物の上
- ・ほこりの多い場所

徒歩モードでご使用になる場合

- ・歩きながら本機を操作したり、画面を注視したりしないでください。操作は安全な場所で立ち止まって行ってください。
- ・徒歩モード用のルートは、徒歩では通行できない場合や、遠回りの場合があります。実際の道路状況や交通規制標識、道路表示などに従って歩行してください。
- ・安全のため歩行中はヘッドホンを使用しないでください。

- ・徒歩モードでお使いの場合は、付属のハンドストラップを必ず本機に取り付け、ハンドストラップを手首にかけてお使いください。



自転車モードでご使用になる場合

- ・自転車モードでご使用になる場合には、必ず専用の自転車用クレドルNVA-BU2(別売)をお使いください。
- ・運転中は、本機を操作したり、画面を注視したりしないでください。操作は安全な場所に停車して行ってください。
- ・自転車モード用のルートは、自転車では通行できない場合や、遠回りの場合があります。実際の道路状況や交通規制標識、道路表示などに従って運転してください。
- ・安全のため運転中はヘッドホンを使用しないでください。

アウトドア地図でご使用になる場合

- ・歩きながら本機を操作したり、画面を注視したりしないでください。操作は安全な場所で立ち止まって行ってください。
- ・アウトドア地図に表示される現在地は、実際と異なる場合があります。実際の地形や標識を参考にしながら、現在地を把握してください。
- ・アウトドア地図は、国土地理院2万5千分の1の地形図を利用しています。表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。また、アウトドア地図以外の地図(ゼンリン製)で表示される地図と道、建物等の表示内容が異なる場合もあります。

本機にハンドストラップを取り付けた場合

本機にハンドストラップを取り付けた状態であっても、ハンドストラップを持ち本機を振り回すなど、本機およびハンドストラップに過度の力を加えないでください。本機の故障の原因となるだけでなく、ハンドストラップが切れるなどし、周囲の人を傷つけたり、他の物に損傷を与える可能性があります。

次ページへつづく➡

発熱について

- ・“nav-u”本体、クレードルなどが通常よりも異常に熱くなったときは“nav-u”本体上部のI/Oボタンで電源を切り(スタンバイまたはシャットダウン)、クレードルのシガー電源コード(付属)を抜いてください。次にソニーの相談窓口(裏表紙)に修理をご依頼ください。
- ・ACアダプター(付属)が通常よりも異常に熱くなったときは、ACアダプターの電源コードを抜いてください。次にソニーの相談窓口(裏表紙)に修理をご依頼ください。

飛行機でのご使用について

飛行機の離着陸時には、機内の案内に従って電源をお切りください(スタンバイまたはシャットダウン)。

業務用車両などでのご使用について

本機を業務用車両(バス、トラック、タクシー、商用車など)や緊急用車両などで使用した場合の保証はできません。

到着予想時刻／出発予想時刻について

本機でルート探索したときに表示される到着予想時刻／出発予想時刻は、おおよその目安としてお使いください。実際の交通状況により、表示／指定した日時に到着できない場合があります。

著作権について

本機に搭載されているコンテンツは、個人として使用するほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。

本書で使用している画像は、実際の画面とは見えかたが異なる場合があります。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

防滴について (ご使用前に必ず お読みください)

本機の防滴性能について

本機は、JIS C 0920「電気機械器具の外郭による保護等級(IPコード)」の“水の浸入に対する保護等級”であるIPX5^{*1}相当の防滴仕様^{*2}となっていますが、完全防水型ではありません。

使いかたによっては内部に水が入り、火災や感電、故障の原因となるおそれがあります。

以下の点を充分にご理解、ご確認のうえ、ご使用ください。

防滴の対象となる液体

対象 : 真水、水道水、雨水

非対象 : 上記以外の液体(例: 石けん水、洗剤や入浴剤のいった水、シャンプー、温泉水、プールの水、海水など)

^{*1} IPX5(噴流に対する保護等級): 内径6.3 mmのノズルを用いて、約3 mの距離から約12.5 ℓ / 分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からの水の直接噴流によっても、本体機能を保ちます。

^{*2} すべてのカバーが完全に閉まっている状態であること。

防滴性能については、上記条件による当社測定に基づいたものです。

お客様の誤った取り扱いが原因の浸水による故障は保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

充電についてのご注意

本機に付属のACアダプターやシガー電源コード、クレードルは防滴仕様ではありません。

ACアダプターやシガー電源コード、クレードルに水滴が付着しないよう充分注意してください。

本体を充電するときには、以下の点について充分ご注意ください。

- ・ACアダプターやシガー電源コード、クレードルを使用する場所に、水気がないことを確認してください。
- ・手や“nav-u”本体に水気がないことを確認してください。濡れた手や“nav-u”本体が濡れた状態でACアダプターやシガー電源コード、クレードルを使用すると、故障の原因となることがあります。
- ・充電をする前に、“nav-u”本体が濡れていないことを確認してください。“nav-u”本体に水滴が付着している場合には、「本機が濡れた場合のご使用後のお手入れ」(10ページ)を参照のうえ、水滴を確実に拭き取り、水分が完全になくなるまで常温で放置して乾燥させたのち、充電を開始してください。

本機の使用環境について

本機の使用環境について詳しくは、「主な仕様」(131ページ)をご覧ください。

ご注意

使用温度範囲を超えた高温や低温環境に放置すると製品の劣化が早まるため、絶対に放置しないでください。

自転車や徒歩など、屋外で使用するときは、以下のことにご注意ください

“nav-u”本体に、ACアダプター(付属)やヘッドホン、USBケーブルを接続したままで使用しないでください。

本機は、カバーが完全に閉まっている状態で防滴性能を発揮します。

カバーを閉めるときには微細なゴミ(砂粒など)が挟まらないように注意してください。

石けん水やシャンプー、洗剤や入浴剤の入った水、温泉水、海水などの液体につけたり、液体をかけたりしないでください。また砂や泥などの異物を付着させないでください。

誤って付着した場合には、速やかに常温の真水や水道水で洗い流し、乾いたやわらかい布などで拭いてください。洗うときには、ブラシなどを使用せずに、すべてのカバーが完全に閉まっているのを確認のうえ、手で洗うようにしてください。洗濯機では洗わないでください。また、ドライヤーなどの熱風で乾かさないでください。

激しく水や温水のかかる場所での使用は避けてください。

本機は、耐水圧設計ではありません。高い水圧がかかる場所(蛇口、シャワーなど)でのご使用は故障の原因となりますので、避けてください。

雨に長時間さらされた状態で使用しないでください。

本機はIPX5相当の防滴仕様となっています。本機の防滴性能について詳しくは、「本機の防滴性能について」(8ページ)をご覧ください。

温水シャワーなど高温のお湯を直接かけたり、ドライヤーなど熱風を直接あてないでください。またサウナやコンロの近くなど高温になる場所での使用は絶対にしないでください。

5℃～45℃の環境でご使用ください。

浴室など湿気の多い場所で使用しないでください。

故障の原因となることがあります。

本機が濡れた場合のご使用後のお手入れ

① 乾いたやわらかい布などで水滴を拭き取る

本機に付着した水滴を、乾いたやわらかい布などで拭き取ってください。特に寒冷地などでは、水滴が付着したまま放置すると凍結するおそれがあります。故障の原因となりますので、使用後は必ず水滴を拭き取るようにしてください。

② 常温で放置し乾燥させる

乾いた布やタオルなどを下に敷き、水分が完全になるまで常温で放置し乾燥させてください。

クレードルについて

クレードルは防滴構造ではありません。

"nav-u" 本体が濡れた状態で、クレードルに取り付けないでください。また、雨や水のかかる場所、湿気の多い場所でクレードルを使わないでください。

防滴性能を保つために

下記の点をご確認のうえ、正しくご使用になってください。

本機を落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。

変形や破損により、防滴性能劣化の原因となることがあります。

スピーカーの穴から、異物を入れたり、先端の尖ったもので内部を押し込んだりしないでください。

内部のスピーカー表面が破損し、防滴性能劣化の原因となることがあります。

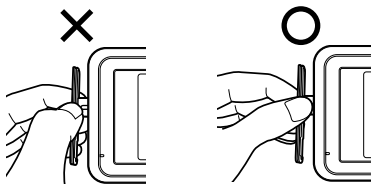
カバーの取り扱いに注意してください。

カバーは、防滴性能を保持するために大変重要な役割を果たしています。ご使用になるときは完全に閉まっていることを確認してください。完全に閉まっていない場合、内部に水が入り故障の原因となる場合があります。

また、防滴性能を保持するために、カバーが開きにくい場合があります。つめて開ける場合はご注意ください。

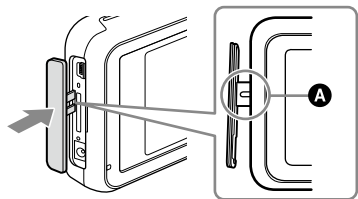
ご注意

カバーを開閉するときに、つまや硬いものなどでカバーの側面を強くはさんで傷をつけないでください。カバーの側面に傷がつくと、防滴性能を保持できなくなることがあります。

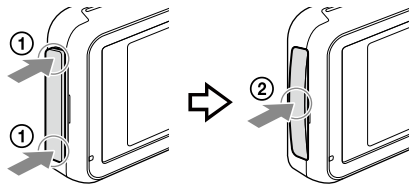


カバーの閉じかた(側面)

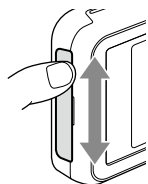
1 ①の部分を“nav-u”本体に押し込む。



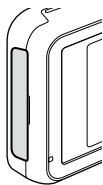
2 カバーを①、②の順に押し込む。



3 段差がなくなるまでカバー全体を押し込む。

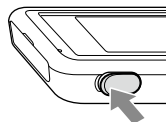


4 段差がないことを確認する。

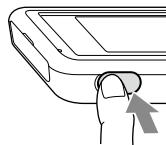


カバーの閉じかた(底面)

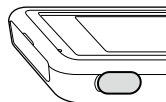
1 “nav-u”本体にカバーを押し込む。



2 段差がなくなるまでカバー全体を押し込む。

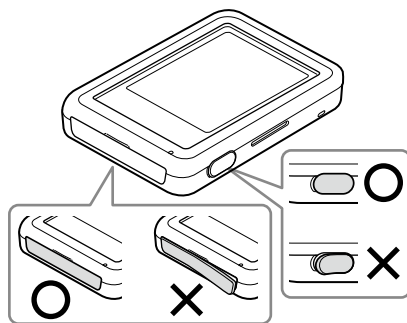


3 段差がないことを確認する。



屋外で使用する前にまず確認！

“nav-u”本体に水しびきが直接かかる場所で使用する場合は、カバーがしっかりと閉じていることを確認してください。



カバーなどに使用しているゴムは、長期間の使用や環境によってひび割れや変形するおそれがあります。防滴性能を保持するために定期的に点検／交換（有償）されることをお勧めします。詳しくは、ソニーの修理相談窓口（裏表紙）またはお買い上げ店にご相談ください。

かんたん操作ガイドのご案内

お使いの携帯電話で本機の操作方法をご確認いただけます。

「かんたん操作ガイド」の使いかた

1 2次元コードに対応したカメラ付き携帯電話で 右にある2次元コードを読み取る。

「かんたん操作ガイド」のURLが表示されます。
(直接URLを入力してもお使いいただけます。)

2次元コード



<http://m.sony.jp/m/nav-u/i/nv-u37/mg/>

2 表示されたURL情報をクリックする。

「かんたん操作ガイド」が表示されます。

ちょっと一言

表示されたページを携帯電話の「お気に入り」または「ブックマーク」に登録しておくと、おでかけ先ですぐに役立て便利です。

ご注意

- ・携帯電話の操作は安全な場所に停車して行ってください。
- ・携帯電話の操作方法について詳しくは、お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- ・「かんたん操作ガイド」の使用は無料ですが、パケット通信料が別途かかります。
- ・本サービスは、予告なく変更・一時停止・終了することがありますがご了承ください。
詳しくは「かんたん操作ガイド」の「はじめにお読みください」をご覧ください。

2次元コードは下記からもご確認いただけます。

“nav-u”本体の画面

以下の手順で表示できます。

- 1 メニューボタンをタッチする。
- 2 [設定] タブをタッチする。
- 3 「設定」をタッチする。
- 4 「本機の使い方」をタッチする。
画面に2次元コードが表示されます。

自転車／徒歩でお使いになる前にお読みください

本機を自転車や徒歩でお使いになる場合は、安全に快適にお使いいただくため、事前に下記をご覧ください。「重要なご注意」(5ページ)、「防滴について」(8ページ)もあわせてご確認ください。

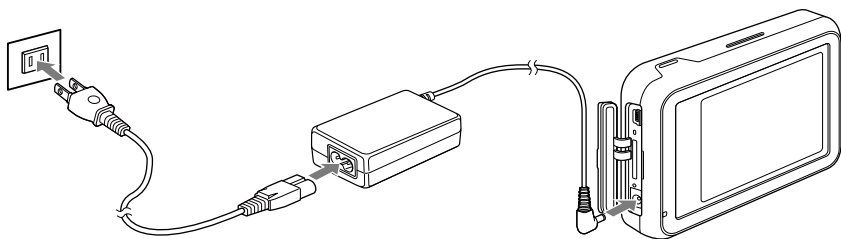
自転車でお使いになる場合

以下の手順でお使いください。

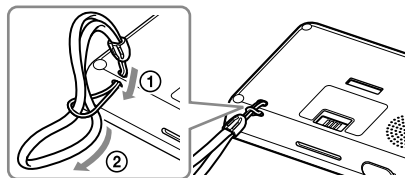
各手順について詳しくは、カッコ内の参照先をご確認ください。

- 1 付属のACアダプターで“nav-u”を充電する。(21ページ「充電ランプ」、23ページ「充電する」、134ページ「困ったときは」、34ページ「地図のみかたと操作」→「内蔵電池の状態」)

お使いになる前に満充電にしてください。



- 2 “nav-u”にハンドストラップを取り付ける。(別紙「取付と接続」)



- 3 現在地を表示させる。(26ページ)

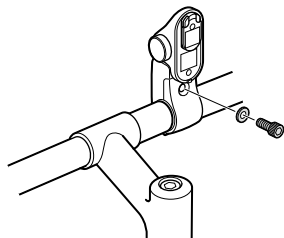


4 ナビのモードを自転車モードに切り替える。(31ページ、74ページ)

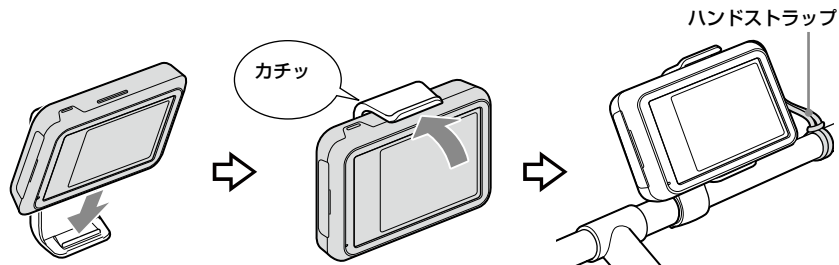


5 ルートを設定する。(51ページ)

6 自転車用クレードルNVA-BU2(別売)を自転車に取り付ける。(NVA-BU2に付属の「取付と接続」)



7 “nav-u”をNVA-BU2(別売)に取り付ける。(NVA-BU2に付属の「取付と接続」)



8 出発する。

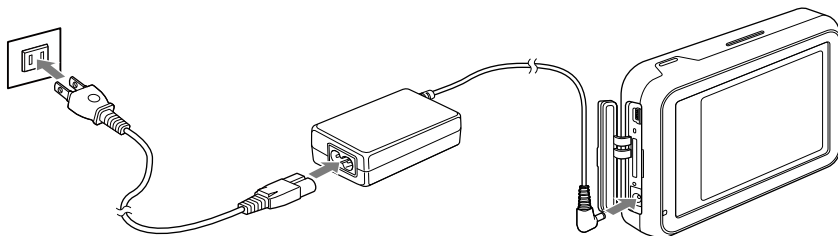
徒歩でお使いになる場合

以下の手順でお使いください。

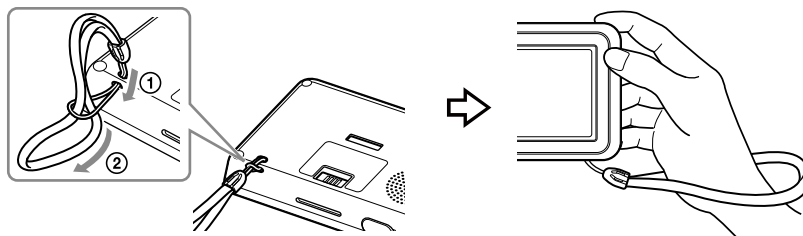
各手順について詳しくは、カッコ内の参照先をご確認ください。

- 1 付属のACアダプターで“nav-u”を充電する。(21ページ「充電ランプ」、23ページ「充電する」、134ページ「困ったときは」、34ページ「地図のみかたと操作」→「内蔵電池の状態」)

お使いになる前に満充電にしてください。



- 2 “nav-u”にハンドストラップを取り付ける。(別紙「取付と接続」)



- 3 現在地を表示させる。(26ページ)





4 ナビのモードを徒歩モードに切り替える。(31ページ、77ページ)





5 ルートを設定する。(51ページ)

6 出発する。

自転車モード

- ・現在地アイコン  が、自転車モード用  になります。(74ページ「自転車モードを開始する」)
- ・自転車用ルートを探索するときに、坂道、サイクリングロードなどを考慮できます。(91ページ「自転車ルート探索条件」)
- ・自転車モードで探索したルートの標高グラフを表示できます。(75ページ)

徒歩モード

- ・現在地アイコン  が、徒歩モード用  になります。(77ページ「徒歩モードを開始する」)
- ・徒歩モード専用の地図がある地域では、徒歩ルートを探索するときに、「屋根を優先」「楽な道を優先」などの条件を選べます。(91ページ「徒歩ルート探索条件」)
- ・横断歩道や歩道橋など、徒歩で使用するときに便利なアイコンを地図上に表示します。(79ページ)

- | | |
|--|---|
| -  : 踏み切り | -  : 横断歩道 |
| -  : スロープ | -  : エレベーター |
| -  : 階段 | -  : エスカレーター |

- ・バッグに入れた場合などにタッチパネルが誤動作しないよう、画面をロックすることができます。(78ページ)

自動車モード／自転車モード／徒歩モード共通

- ・アウトドア地図(国土地理院の2万5千分の1地形図)を表示できます。(80ページ)
- ・平均速度や移動距離などの計測情報を表示できます。地図との2画面表示もできます。(70ページ)
(画面は自転車モードの例です。)



- ・GPSログを保存できます。
本機に挿入した“メモリースティックデュオ” (別売) にGPSログ(走行地点の位置情報や時刻など)を保存できます。(90ページ「GPSログ機能」)
- ・自動車モード／自転車モード／徒歩モードをかんたんな操作で切り替えることができます。(31ページ)

内蔵電池の持続時間について

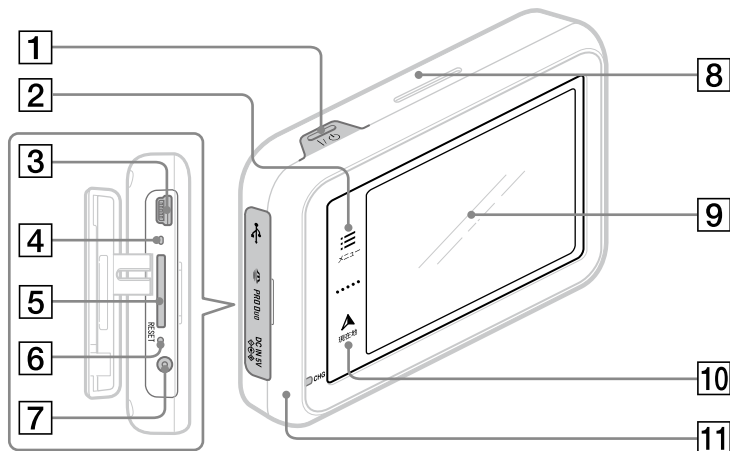
- 省電力モードの設定で、内蔵電池の持続時間を変えることができます。(88ページ)
- 電源を切るときにシャットダウンを選ぶと、電源を切っている間の内蔵電池の消費量を抑えることができます。(20ページ「各部のなまえと働き」→I/⏻(パワーオン／スタンバイ・シャットダウン)ボタン)

基本編(ここだけ読んでも使えます)

各部の名前とはたらき	20
充電する	23
現在地を表示する	26
基本操作のしかた	29
地図の見かたと操作	34
自宅を登録／変更する	42
行き先・経由地を決めて出発する	44
自宅に帰る	48

各部の名前とはたらき

NV-U37



① I/O (パワーオン／スタンバイ・シャットダウン) ボタン

本機の電源を入／切(スタンバイまたはシャットダウン)します。
電源が切れた状態には、以下の2種類があります。

- スタンバイ: 短押し(約2秒未満)して電源を切った場合
 - 次回の起動時間が短くなります。
 - 充電中にスタンバイにした場合は、そのまま充電を継続します。
- シャットダウン: 長押し(約2秒以上)して電源を切った場合
 - 内蔵電池の消費を抑えることができます。
 - 充電中にシャットダウンにした場合は、充電が中断されます。
 - 次回の起動時間が長くなります。
 - 次回起動したとき、正しい現在地を表示するまでの時間が長くなります。

② メニューボタン

メニュー画面を表示します。

③ USB端子

USBケーブル(付属)を使って、パソコンと接続します。
USB出力電源(別売)を接続することもできます。USB出力電源について詳しくは、“nav-u”関連のホームページをご覧ください。
<http://www.sony.jp/nav-u/>

④ “メモリースティック”アクセラランプ

⑤ “メモリースティックデュオ”スロット

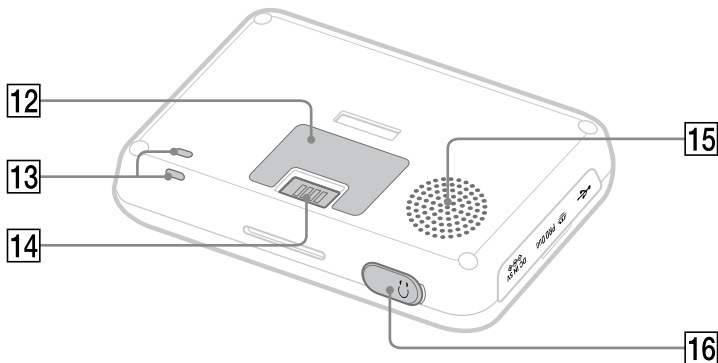
“メモリースティックデュオ”(別売)を挿入します。

⑥ リセットボタン

つまようじの先などで押して本機をリセットします。

ちょっと一言

本機をリセットしても、自宅、お気に入り、マーク、編集、設定メニューでの設定項目は保持されます。
最後に設定したルートは保存されません。



7 DC IN 5V端子

ACアダプター(付属)を接続します。

8 内蔵GPSアンテナ

9 液晶画面／タッチパネル

10 現在地ボタン

現在地の地図を表示します。

ルートガイド中に現在地を表示しているとき、タッチすると、再度音声案内します。

11 充電ランプ

充電時に以下の色で点灯します。

- ・ 赤色: 充電中
- ・ 緑色: 充電完了

充電にはシガー電源コード(付属)またはACアダプター(付属)、USBケーブル(付属)をお使いください。

ちょっと一言

USBケーブルを使用してパソコンで充電する場合は、パソコンの電源を入れた状態で接続してください。パソコンがスリープまたはスタンバイ状態のときは、充電ランプが消灯し充電されません。

ご注意

直射日光などが原因で本機内部の温度が上昇したり、冬期の使用などで本機内部の温度が低下している場合、内蔵電池の劣化を防ぐために充電しなくなることがあります。

- ・ 温度が上昇して充電できない場合、充電ランプが点灯しません。
- ・ 温度が低下して充電できない場合、赤色の充電ランプが点灯しますが充電されていません。

12 機銘板

機種名やシリアル番号などの記載があります。

13 ハンドストラップ穴

14 クレードル接続端子

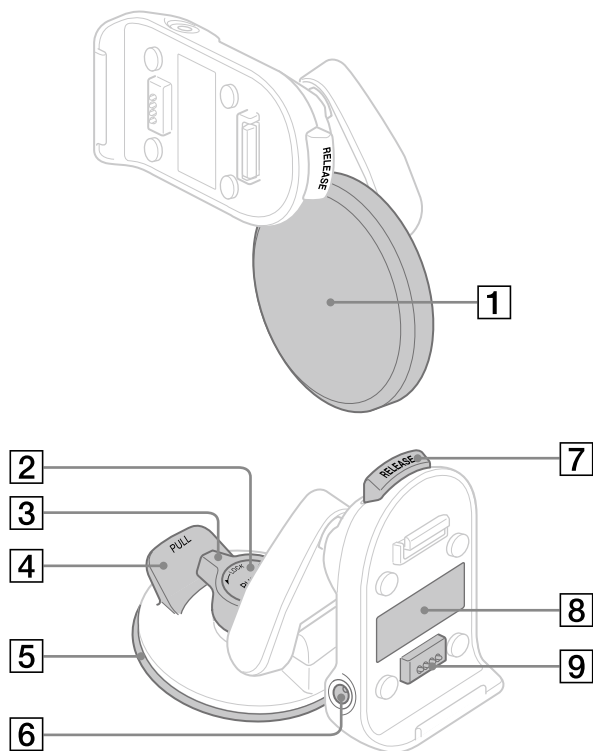
15 スピーカー

16 ヘッドホンジャック

ステレオヘッドホンを接続します。

ヘッドホンをつなぐと、“nav-u”本体のスピーカーから音は出ません。

クレードル



1 吸盤保護カバー

2 吸盤PUSHボタン

強く押して吸盤をダッシュボードに吸着させます。

3 吸盤LOCK/RELEASEレバー

吸着させた吸盤を固定したり、吸盤の固定を解除します。

4 タブ

上に引きダッシュボードからクレードルをはずします。

5 吸盤

6 DC IN 5V端子

シガー電源コード(付属)を接続します。

7 RELEASEボタン

クレードルから“nav-u”本体を取りはずすときに押します。

8 機銘板

機種名やシリアル番号などの記載があります。

9 “nav-u”接続端子

充電する

車内では、付属のシガー電源コードを使って充電できます。

屋内では、ACアダプター(付属)またはUSBケーブル(付属)を使って充電してください。

充電時間などについて詳しくは、「主な仕様」(131ページ)をご覧ください。

ご注意

- ・充電中にシャットダウンで電源を切ったあとは充電できません。再度電源を入れるか、ACアダプター(付属)、シガー電源コード(付属)またはUSBケーブル(付属)を接続しなおして充電してください。
- ・本機の内蔵電池の残量が少ないと、充電中に電源が入らないことがあります。そのような場合は充電ランプが赤色に点灯していることを確認し、充電したままお待ちください。充電ランプが点灯していない場合は、リセットボタンを押してからI/⏻(パワーオン/スタンバイ・シャットダウン)ボタンを押してください。

ちょっと一言

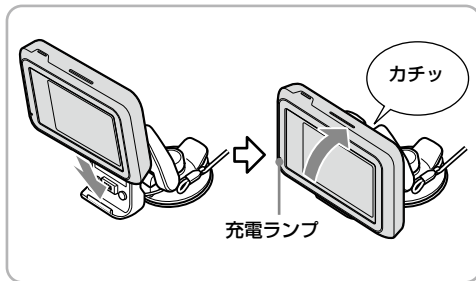
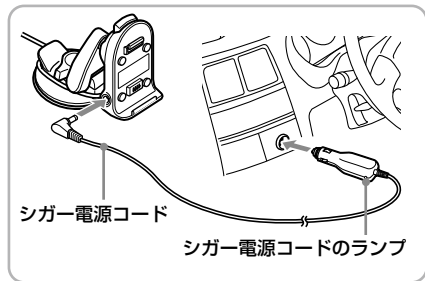
- ・I/⏻(パワーオン/スタンバイ・シャットダウン)ボタンを長押し(約2秒以上)して電源を切ると、シャットダウンとなり下記の画面が表示されます。



- ・I/⏻(パワーオン/スタンバイ・シャットダウン)ボタンを短押し(約2秒未満)して電源を切った状態(スタンバイ)で充電を開始すると、短時間で充電できます。

シガー電源コードで充電する

シガー電源コード(付属)を接続し、“nav-u”本体をクレードルに取り付けます。エンジンをかけると充電ランプが点灯し、充電が開始されます。接続や取り付けかたについて詳しくは、別紙「取付と接続」をご覧ください。



ちょっと一言

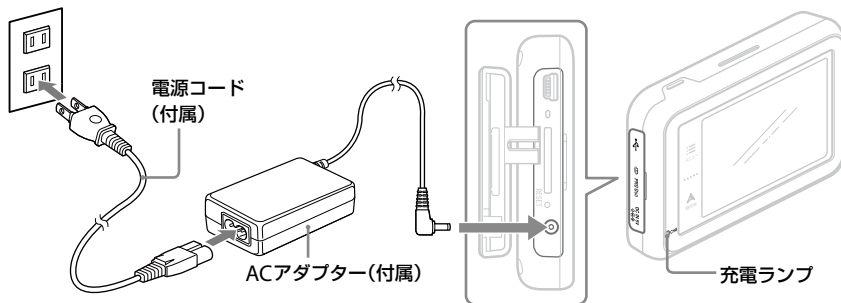
- ・ 本機は充電中も使用できます。
- ・ シガー電源コードがシガーソケットに正しく接続されると、エンジンをかけたときにシガー電源コードのランプが緑色に点灯します。

ご注意

本機を使用しないときは、“nav-u”本体をクレードルからはずし、シガー電源コードを車から抜いてください。エンジンを切ってもシガーソケットの電源が切れない車でシガー電源コードを差したままにすると、微小電力を消費し、車のバッテリーあがりの原因になります。

ACアダプターで充電する

ACアダプター(付属)と電源コードを接続します。
充電ランプが点灯し、充電が開始されます。

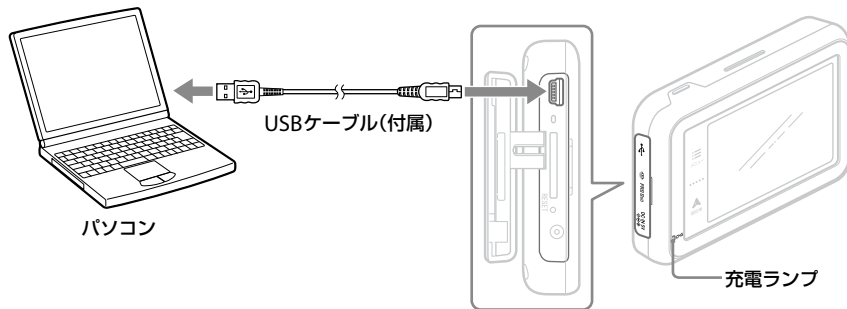


ちょっと一言

本機は充電中も使用できます。

USBケーブルで充電する

パソコンの電源を入れた状態で、USBケーブル(付属)を接続します。
充電ランプが点灯し、充電が開始されます。



ちょっと一言

USBケーブルでパソコンと接続して充電している場合、本機は使用できません。

現在地を表示する

現在地を表示する

1 周りに高い建物や木がない場所に停車する。

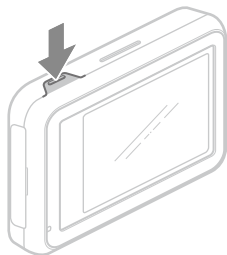
屋内や高架下などではGPSを受信できないため、現在地を表示できません。

ちょっと一言

走行中よりも停車中のほうが、より早く現在地を表示できます。

2 I/⏻ボタンを押す。

本機の電源が入り、GPSの受信を開始します。



ちょっと一言

最初に電源を入れたときやシステム初期化したときなどに、品川付近が表示されますが、GPSの受信が完了すると現在地の表示に変わります。

ご注意

本機を初めてお使いになる場合、内蔵電池の残量が充分でなく、電源が入らないことがあります。このような場合は、充電してからお使いください。充電方法について詳しくは、「充電する」(23ページ)をご覧ください。

3 GPSの受信が完了するのを待つ。

GPSの受信が完了すると現在地のアイコン  が赤に変わり、現在地が表示されます。また、正しい時刻が表示されます。

GPSの受信状況により、現在地のアイコンの色が変わります。

赤色:GPSを受信し、現在地を表示している場合

オレンジ:GPSは受信していないが、現在地を推測して表示している場合(高架下やトンネル内など)

グレー:GPSを受信できておらず、現在地を正しく表示していない場合

ちょっと一言

- GPSについて詳しくは、「現在地表示について」(118ページ)をご覧ください。
- 以下の条件を満たす場合、地図画面にGPSの受信状況が表示されます。
 - 電源を入れてからGPSを受信するまでの間
 - 地図をスクロールさせていない場合
 地図のスクロールについて詳しくは、「地図を動かすスクロール」(36ページ)をご覧ください。
- また、「測位情報」をタッチすると測位情報画面が表示されます。

測位情報について詳しくは、「受信状況を確認するには」(27ページ)をご覧ください。
- GPSの受信状況の表示方法をアイコン表示/メッセージ表示に切り替えることができます。

GPSの受信状況の表示方法は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[システム設定]→[GPS受信確認](90ページ)で変更できます。
- GPS衛星からの電波を受信すると、正しい時刻に自動で調整されます。手動では時刻調整できません。

ご注意

以下のような場合には、現在地が表示されるまでに時間がかかることがあります。

- はじめてお使いになる場合
- リセットボタンを押した場合
- 空になった内蔵電池を充電して電源を入れた場合
- スタンバイ状態で、2時間以上おいて再度電源を入れた場合
- シャットダウンした場合

受信状況を確認するには

GPSの受信状況は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[システム設定]→[測位情報](90ページ)で確認できます。



GPSの受信状況(現在地の測定には、目安として黄色とオレンジの受信が合わせて4個以上必要です)

現在地の表示に画面を戻すには

現在地ボタンをタッチします。

ご注意

現在地を表示するには、GPS衛星を受信している必要があります。

電源を切るには

I/⏻ボタンを押します。

電源が切れた状態には、以下の2種類があります。

- スタンバイ:短押し(約2秒未満)して電源を切った場合
 - 次回の起動時間が短くなります。
 - 充電中にスタンバイにした場合は、そのまま充電を継続します。
- シャットダウン:長押し(約2秒以上)して電源を切った場合
 - 内蔵電池の消費を抑えることができます。
 - 充電中にシャットダウンにした場合は、充電が中断されます。
 - 次回の起動時間が長くなります。
 - 次回起動したとき、正しい現在地を表示するまでの時間が長くなります。

時刻の調整

GPS衛星からの電波を受信すると、正しい時刻に自動で調整されます。

手動では時刻調整できません。

基本操作のしかた

本機の操作は、タッチパネルで行います。タッチパネルを指先でタッチしてください。

ご注意

タッチパネルは指で強く押したり、ペンやつめ、つまようじなどの先の鋭いもので触れないでください。タッチパネルの故障の原因になったり、正しく動作しないことがあります。

トップメニューの操作

使いたいメニュー項目を表示するには、次のように操作します。

- 1 **メニューボタンをタッチする。**
メニュー画面が表示されます。
- 2 **タブをタッチし、使いたい項目を表示させる。**



- 3 **使いたい項目をタッチする。**

ちょっと一言

項目について詳しくは、「ナビゲーションのいろいろな操作」(49ページ)をご覧ください。


操作の途中で地図画面に戻るには

メニューボタンまたは現在地ボタンをタッチします。

メニューボタンをタッチすると、最後に表示していた地図画面が表示されます。

現在地ボタンをタッチすると、現在地の地図画面が表示されます。

1ステップ前に戻るには

 をタッチします。

ツールバーについて

よく使う機能をまとめたツールバーが画面下段にあります。

ツールバーの項目をタッチするとその機能を簡単に操作できます。

表示される項目については、「ツールバー」(69ページ)をご覧ください。



ご注意

安全のため走行中は以下の操作ができません。操作は安全な場所に停車して行ってください。

- ・メニュー
- ・ツールバー → 「ナビ」 →
 - 「マーク登録」の「名称」、「よみ」、「グループ」、マークアイコン、「サウンド設定」
 - 「マーク編集」
 - 「ナビモード切替」(“nav-u”本体をクレードルからはずしている場合のみ表示されます。)

ナビモードを切り替える

本機では、自動車モードの他に自転車モード(74ページ)や徒歩モード(77ページ)に切り替えることができます。

- 1 メニューボタンをタッチする。
メニュー画面が表示されます。
- 2 [設定]タブをタッチする。
- 3 「ナビモード切替」をタッチする。
- 4 使いたいモードをタッチする。



ナビモードが切り替わります。

ちょっと一言

- ・ ツールバーの「ナビ」→「ナビモード切替」(72ページ)をタッチしてもナビモードを切り替えることができます。
- ・ 電源が供給されているクレードルに“nav-u”本体を取り付けると、ナビモードが自動的に自動車モードに切り替わります。

文字入力

文字や数字は、施設の名称や電話番号などを入力するときに使います。機能によって、文字入力画面は異なります。ここでは代表的な文字入力画面を例に、文字入力のしかたを説明します。

名称検索画面

行き先の名称を入力するときに使用します。

名称検索画面は、メニューボタン→「行き先」→「名称」で表示されます。



1 文字入力領域

入力した文字が表示されます。

2 携帯キー

タッチして文字を入力します。

続けてタッチすると、各行の文字が順次送られ、入力されます。

(例:「あ」→「い」→「う」→「え」→「お」)

ちょっと一言

- ・「一」は、「わ」を繰り返しタッチすると入力できます。
- ・入力した文字は、しばらくすると自動で確定されます。確定するまでの時間は、メニューボタン→「設定」タブ→「設定」→「システム設定」→「入力文字の自動確定」(89ページ)で変更することもできます。

3 ◀/▶

文字入力領域のカーソル位置を変更します。

4 名称検索

文字入力後、検索を実行します。

5 削除

文字を削除します。

6 ↶

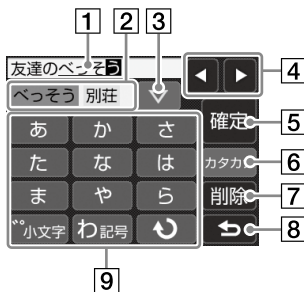
文字入力を中止して、前の画面に戻ります。

名称設定画面

マークや保存ルートなどの名称を編集するときや、ルート探索でガイドブックの検索ワードを入力するときに使用します。

例:マークの名称設定画面

メニューボタン→[設定]タブ→「マークの編集」→「マーク編集」→(編集するマークグループを選択)→(編集するマークを選択)→「名称」で表示されます。



1 文字入力領域

入力した文字が表示されます。

2 変換候補表示領域

入力した文字の変換候補が表示されます。
タッチすると、その候補を採用します。

3 ▽

更に多くの変換候補が表示されます。

4 ◀/▶

文字入力領域のカーソル位置を変更します。

5 確定

文字を確定します。

6 ひらがな、カタカナ、ABC、123

入力する文字の種類を切り替えます。

7 削除

文字を削除します。

8 ↵

文字入力を中止して、前の画面に戻ります。

9 携帯キー

タッチして文字を入力します。
続けてタッチすると、各行の文字が順次送られ、入力されます。
(例:「あ」→「い」→「う」→「え」→「お」)

ちょっと一言

- ・「・」、「、」、「—」、「!」などの記号は、「わ」を繰り返しタッチすると入力できます。
- ・入力した文字は、しばらくすると自動で確定されます。確定するまでの時間は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[システム設定]→[入力文字の自動確定](89ページ)で変更することもできます。

地図の見かたと操作

地図画面を表示するには、現在地ボタンをタッチします。




1 現在時刻


現在時刻が表示されます。


2 目的地／次の経由地までの距離と到着予想時刻

ルートガイド時に、目的地または次の経由地までの距離と到着予想時刻が表示されます。タッチすると、目的地と次の経由地が切り替わります。目的地は赤い旗で、経由地は黄色い旗で表示されます。

3 内蔵電池の状態

: 残量表示(内蔵電池で動作している場合)

: 充電可能温度ではないため充電できない場合

: 高温のため放電している場合

4 経由地方向／目的地方向

ルートガイド時に、次の経由地または目的地の方向が表示されます。

5 現在地

GPSの受信状況により色が変わります。

赤色:GPSを受信し、現在地を表示している場合

オレンジ:GPSは受信していないが、現在地を推測して表示している場合(高架下やトンネル内など)

グレー:GPSを受信できておらず、現在地を正しく表示していない場合

6 方位(39ページ)

地図の向きを変更します。

7 縮尺(38ページ)

地図の縮尺を変更します。

[8] ツールバー

表示されている項目をタッチすると、その機能を使えます。

ちょっと一言

ツールバーを自動で隠し、住所と道路名称を表示することができます。

ツールバーの表示設定は、メニューボタン→[設定]タブ→「設定」→「システム設定」→「ツールバーを隠す(地図)」(89ページ)で変更できます。

[9] 音量(73ページ)

音量を調整します。

[10] 全ルート(73ページ)

現在のルートを確認します。

[11] ナビ(72ページ)

ナビメニューを表示します。

[12] 表示切替(70ページ)

画面の表示を切り替えます。

[13] ビデオ／音楽(69ページ)

ビデオまたは音楽を起動／終了します。

[14] 車線案内

次の交差点の車線情報が表示されます。ルートガイド時には、走行レーンが黄色で表示されます。

[15] ガイド情報と距離

ルートガイド時に、次のガイド地点での曲がる方向と、その地点までの距離が表示されます。

[16] 移動速度と高度

GPSの測位から算出された運転中／歩行中の移動速度と高度が表示されます。

ご注意

- ・移動速度は、実際の速度と異なる場合があります。運転中は必ず車のスピードメーターで速度を確認してください。
- ・高架下やトンネル内など、GPSの受信状況が悪い場所では、移動速度が「--- km/h」と表示されることがあります。
- ・高度は、実際の高度と異なる場合があります。
- ・高架下やトンネル内など、GPSの受信状況が悪い場所では、高度が「--- m」と表示されることがあります。

地図を動かすスクロール

スクロールには以下の2種類があります。

- 指の動きに合わせて地図が動く。
地図を細かく動かす場合にお使いください。
- 指をずらした方向に地図が動き続ける。
地図を遠くまで動かす場合にお使いください。

指の動きに合わせて地図を動かす

1 地図をタッチする。



十字カーソル

タッチした位置が地図画面の中心になり、十字カーソルと中心の住所または地点の情報が表示されます。

2 指をずらす。

十字カーソルが表示された状態で、地図画面をタッチしたまま、動かしたい方向へ指をずらすと、指の動きに合わせて地図が動きます。



➡ : 指の動き

⇨ : 地図の動き

指をずらした方向に地図を大きく動かす

- 1 地図をタッチする。
- 2 円の中心をしばらくタッチする。

①が②に切り替わります。(①)

- 3 タッチした指をずらす。

タッチした指をずらしている間、指をずらした方向に地図が動き続けます。(②)



➡ : 指の動き
⇒ : 地図の動き

指をずらす長さによって、スクロール速度は3段階に変化します。

最速の状態では、ズームアウトしながらスクロールします。

ちょっと一言

- ・ 3Dマップでスクロールを行おうとすると、2Dマップに切り替わります。
- ・ ズームアウトしないよう設定するには、メニューボタン→[設定]タブ→「設定」→「地図表示」→「ズームスクロール」(93ページ)を「OFF」にします。

現在地の表示に画面を戻すには

現在地ボタンをタッチします。

地図の縮尺を変更する

地図の縮尺は「-」(広域)または「+」(詳細)をタッチすると変更できます。

1 地図画面上の「-」(広域)または「+」(詳細)をタッチする。

タッチしている間は縮尺が連続で変更されます。



広域画面



詳細画面



ちょっと一言



- ・ 縮尺の範囲は25 m ~ 800 kmです。
- ・ 現在地が表示されているときは、ジェスチャー操作で簡単に地図の縮尺を変更できます。ジェスチャー操作について詳しくは、「ジェスチャー操作一覧」(145ページ)をご覧ください。
- ・ ジェスチャー操作で変更される縮尺の設定は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→「地図表示」→「プリセットスケール」(93ページ)で変更できます。
- ・ 地図の縮尺が25 m ~ 100 mの場合、市街詳細地図を表示できます。市街詳細地図を表示させる縮尺は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→「地図表示」→「市街詳細地図の表示」(93ページ)で変更できます。
- ・ 自動縮尺変更を「ON」にして高速道路に入ると、前回高速道路を走行したときの地図の縮尺に自動的に変更されます。「自動縮尺変更」は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→「地図表示」→「自動縮尺変更」(94ページ)で変更できます。

ご注意

十字カーソルが表示されているときは、ジェスチャー操作は使えません。ジェスチャー操作は、現在地ボタンをタッチしてから行ってください。

常に地図を北上にする／進行方向を上にする

地図の向きを、常に北を上にするか、または進行方向を上にするか選ぶことができます。
地図の向きは方位アイコンで確認できます。


 (常に北が上) または  (進行方向が上) を切り替えるには、次のように操作します。

1 (常に北が上) または (進行方向が上) をタッチする。

地図の向きが変更されます。



ちょっと一言

- 3Dマップのときに  をタッチすると、2Dマップに切り替わります。
- スクロール中に変更した地図の向きは、スクロール中のみ有効です。

2Dマップ／3Dマップに変更する

2Dマップ(地図帳のような平面地図)と3段階の3Dマップ(斜め上から見たような地図)を切り替えることができます。

1 メニューボタンをタッチする。

2 [設定]タブをタッチする。



3 「設定」をタッチする。



4 「地図表示」をタッチする。

5 「2D/3Dマップ切替」をタッチする。

6 「2D」または「3D」(3段階)をタッチする。

地図の種類が変更されます。



2Dマップ



3Dマップ



地図上の地点の情報を見る

地図画面上のアイコンをタッチすると、タッチした地点が地図の中央に移動し、アイコンについての情報が表示されます。

情報が表示されるアイコンは次のとおりです。

- ・施設 (87ページ)
- ・立体ランドマーク (93ページ)
- ・登録したマーク (93ページ)
- ・スポット (96ページ)

自宅を登録／変更する

自宅を登録しておく、帰宅時には自宅／お気に入りメニューの「自宅」をタッチするだけで、自宅へのルートガイドを開始できます。(48ページ)

ご注意

本機を紛失した場合、登録した自宅などの個人情報が漏洩する可能性がありますので充分ご注意ください。

自宅を登録する

- 1 自宅に駐車した状態で、メニューボタンをタッチする。
メニュー画面が表示されます。

- 2 「自宅 お気に入り」をタッチする。

- 3 「自宅登録」をタッチする。



ちょっと一言

自宅登録をすると、「自宅登録」が「自宅」に変更されます。「自宅」をタッチすると、自宅へのルート探索を開始します。

- 4 「はい」をタッチする。

地点検索メニューが表示されます。

- 5 地点検索の方法を選ぶ。

ここでは「現在地」をタッチします。

ちょっと一言

GPSを受信し、現在地が正しく表示されている必要があります。現在地の表示については「現在地を表示する」(26ページ)をご覧ください。GPSを受信できない場合は、下記のいずれかの方法で、自宅の位置を表示してください。

－「最寄」、「住所」、「名称」、「ジャンル」、「電話番号」、「マーク」、「履歴」、「お気に入り」、「地図から」、「ガイドブック」、「郵便番号」、「緯度経度」をタッチして地点検索をします。


- 6 自宅の位置が十字カーソルの中心にあることを確認し、「決定」をタッチする。

7 「はい」をタッチする。

自宅登録が完了し、自宅／お気に入りメニューの「自宅登録」が「自宅」に変更されます。



ちょっと一言

自宅登録をすると、地図上の登録した場所に  (自宅アイコン)が表示されます。「未登録」をタッチすると、よく行く場所などを登録することができます。詳しくは、「お気に入りを登録する」(68ページ)をご覧ください。

自宅を変更する

1 メニューボタンをタッチする。

メニュー画面が表示されます。

2 「自宅 お気に入り」をタッチする。

3 「自宅／お気に入り編集」をタッチする。



4 「自宅」をタッチする。

5 「地点変更」をタッチする。

ちょっと一言

「地点削除」をタッチすると、自宅登録を削除することができます。

6 検索の方法を選び、自宅登録を変更する。

自宅登録が変更されます。

ちょっと一言

自宅の登録方法について詳しくは、「自宅を登録する」(42ページ)をご覧ください。

行き先・経由地を決めて出発する

行き先(目的地)を設定すれば、本機が適切なルートを探索し、ルートガイドを開始します。
ここでは住所から探す例で説明します。

1 メニューボタンをタッチする。

2 「行き先」をタッチする。



3 「住所」をタッチする。



ちょっと一言

- ここでは住所から探す例で説明しています。
- 目的地は、メニューボタン→「最寄」、「自宅 お気に入り」または、メニューボタン→「行き先」→「電話番号」、「ガイドブック」、「ジャンル」、「名称」、「マーク」、「緯度経度」、「履歴」、「ルート呼出」からも選べます。
詳しくは「ナビゲーションのいろいろな操作」(49ページ)をご覧ください。

4 都道府県をタッチする。

選びたい都道府県が表示されていないときは、▲または▼をタッチします。



5 画面に従って住所をタッチする。



住所を最後まで指定すると、該当する場所周辺の地図が表示されます。

6 目的地が表示されていることを確認し、「ここへ行く」をタッチする。

ルート探索結果画面が表示されます。

一定時間操作がない場合は、画面が切り替わります。

ちょっと一言

ルート探索結果画面では、現在地から目的地までのルートを確認したり、探索条件を変更することができます。ルート探索結果画面の表示設定は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[案内]→[案内前のルート確認](92ページ)で変更できます。

ちょっと一言

詳しくは、「行き先・経由地を決めて出発する(行き先メニュー)」(51ページ)をご覧ください。

経由地を追加するには

目的地を設定後、いろいろな検索方法で経由地を追加することができます。

それぞれの検索方法で「ここへ行く」の代わりに「経由地追加」をタッチしてください。詳しくは、下記に記載されている「経由地追加」をご覧ください。

- ・「行き先・経由地を決めて出発する(行き先メニュー)」(51ページ以降)
- ・「近くの施設を探して出発する(最寄メニュー)」(62ページ以降)

正しいルートが見つからないときは

以下のような場合には、正しいルートが表示されなかったり、ルート探索できないことがあります。

ルートガイドの内容が実際の交通規則と異なる場合は、必ず実際の交通規則に従ってください。

- ・ 以下のような場所に出発地／(経由地)／目的地を設定した場合
 - － 山岳部など、近くに道路のない地域
 - － 商店街の中など、細い道路しかない地域
 - － 道路データ上、道が繋がっていない場合(離島など)
 - － ゴルフ場など、広い場所*
 - － 近くに交通規制が存在する場合

* 目的地周辺の別の場所にルートが設定される場合があります。ルートガイドを開始する前に、目的地に正しくルートが設定されているか確認してください。

- ・ 通常のルート探索では対象にならない細い道が、探索されたルートに含まれる場合

ルートガイド中の運転サポート機能

ルートに合わせて自動的に表示を切り替え、きめ細やかな案内で運転をサポートします。

右左折する交差点が近づくとお知らせします。
音声案内のほか、曲がる方向と走行車線をわかりやすく表示します。

交差点拡大図 ON(固定) / ON(ステップ)

交差点名がある場合は
交差点名を表示

走行車線



交差点拡大図*

交差点までの距離

* 交差点によっては、下図の曲がる方向が表示される場合があります。

交差点拡大図 OFF

曲がる方向

交差点までの距離



走行車線

編集・設定メニューで交差点拡大図のON(固定) / ON(ステップ) / OFFを切り替えられます。(92ページ)

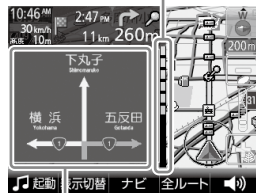
ルートを自動で再探索します。

ルートから外れた場合は、自動で新しいルートを案内します。

交差点によっては…。

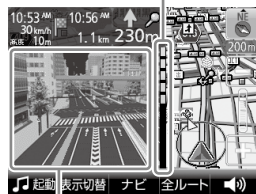
方面看板や実際の交差点のようなリアル交差点ガイドを表示します。

交差点までの距離



方面看板

交差点までの距離



リアル交差点ガイド

注意地点が近づくとアイコンや音声でお知らせします。

走行中の状況に応じ、下記のようなアイコン表示や音声案内をします。

例:

🚶 踏切

🚧 事故多発地点、右左折専用レーン

🚦 合流

🚧 規制注意

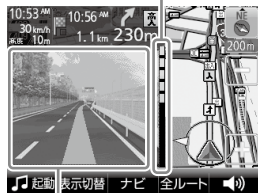
時間帯規制やその他の情報などから進入できない可能性があるとして判断された地点に表示されます。

規制注意アイコンが表示されている付近では充分注意して走行してください。実際に進入できない場合は、交通規則に従って走行してください。

高速道路上ではさらに…

首都高速道路や阪神高速道路などの都市高速道路の入口を拡大表示します。

入口までの距離



高速道路の入口

高速道路の走行をサポート。

高速道路の出口、サービスエリア、パーキングエリアなどの名称と距離、そこに到着するまでのおよその所要時間*を表示します。また、「SA/PA表示」/「最小化」/「ハイウェイ」をタッチして、全て表示/非表示/SA/PAのみを切り替えることができます。

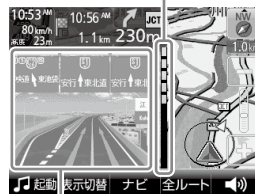
* 区間の平均速度から算出します。



ハイウェイマップ

高速道路の出口や分岐点を、音声と拡大表示で案内します。

出口や分岐点までの距離



高速道路の出口や分岐点

自宅に帰る

自宅を登録しておけば(42ページ)、簡単な操作で自宅へのルートガイドが開始されます。

- 1 メニューボタンをタッチする。
- 2 「自宅 お気に入り」をタッチする。
- 3 「自宅」をタッチする。



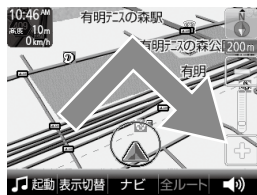
ルート探索結果画面が表示されます。
一定時間操作がない場合は、画面が切り替わります。

ちょっと一言

ルート探索結果画面では、現在地から目的地までのルートを確認したり、探索条件を変更することができます。
ルート探索結果画面の表示設定は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→「案内」→「案内前のルート確認」(92ページ)で変更できます。

ちょっと一言

ジェスチャー操作で簡単に「自宅」へのルートガイドを開始できます。
ジェスチャー操作について詳しくは、「ジェスチャー操作一覧」(145ページ)をご覧ください。



ご注意

十字カーソルが表示されているときは、ジェスチャー操作は使えません。ジェスチャー操作は、現在地ボタンをタッチしてから行ってください。

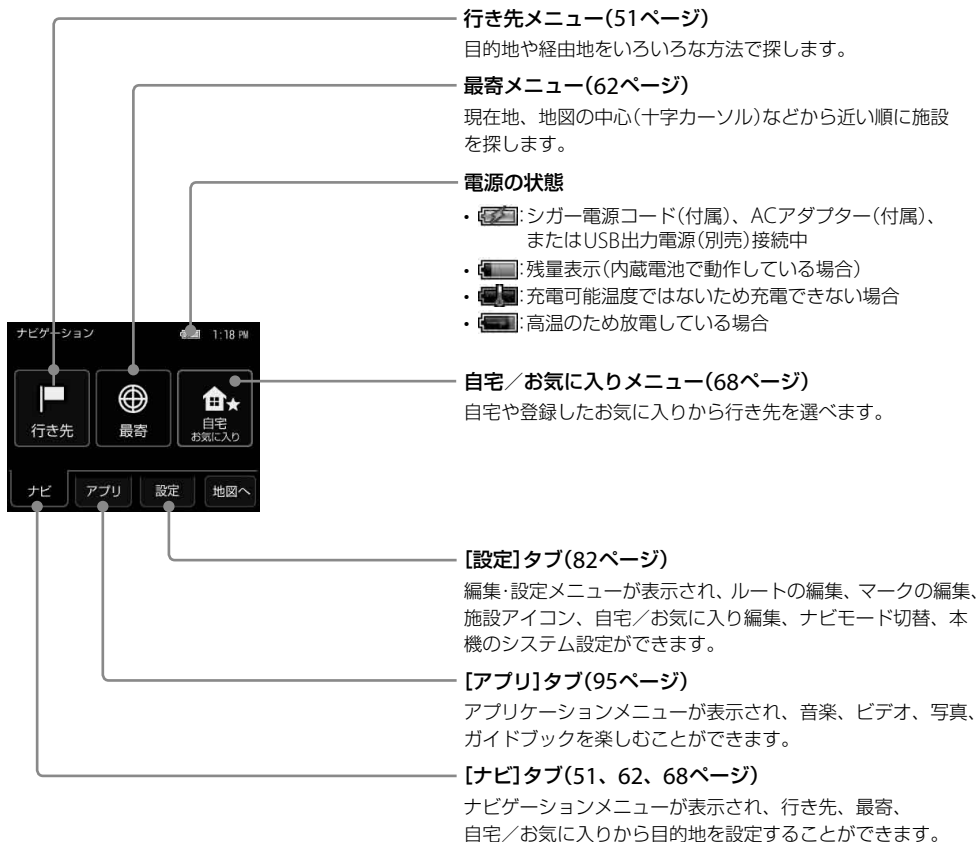
ナビゲーションのいろいろな操作

メニュー画面の見かた	50
行き先・経由地を決めて出発する(行き先メニュー)	51
近くの施設を探して出発する(最寄メニュー)	62
よく行く場所へ出発する(自宅／お気に入りメニュー)	68
ツールバー	69
自転車モード	74
徒歩モード	77
アウトドア地図	80

メニュー画面の見かた

メニューボタンをタッチすると、メニュー画面が表示されます。

目的に応じて、下記のいずれかの項目をタッチしてください。



ご注意

安全のため、走行中はメニュー操作ができません。メニュー操作は安全な場所に停車して行ってください。

行き先・経由地を決めて 出発する(行き先メニュー)

住所や電話番号など、いろいろな方法で目的地を探したり、「ルート呼出」で事前に保存しておいたルート呼び出すことができます。

現在地以外を出発地にするには、画面左下の「ルートの編集」をタッチして、「新規ルート作成」→「現在地」→「地点変更」で、出発地を変更してください。「ルートの編集」について詳しくは、82ページをご覧ください。

ちょっと一言

徒歩モードでは現在地以外を出発地にはできません。

ご注意

出発地と目的地の位置関係や、交通規制情報などによっては、正しいルートが表示されなかったり、ルート探索できないことがあります。詳しくは、「正しいルートが見つからないときは」(45ページ)をご覧ください。

「住所」で探す

都道府県や市区町村、大字、字、丁目などを選び、行き先を探せます。

1 メニューボタンをタッチする。

2 「行き先」をタッチする。

行き先メニューが表示されます。

3 「住所」をタッチする。

4 都道府県をタッチする。

選びたい都道府県が表示されていないときは、▲または▼をタッチします。

ちょっと一言

郵便番号がわかる場合は、都道府県の代わりに「郵便番号」をタッチして、住所を簡単に検索することもできます。住所一覧が表示されず、該当する場所の地図が表示される場合があります。

5 画面に従って住所をタッチする。

住所を最後まで指定すると、該当する場所周辺の地図が表示されます。

ちょっと一言

- ・画面下の「あ」、「か」、「さ」、「た」、「な」をタッチすると、その読みではじまる地名のリストが表示されます。
- ・「あ」、「か」、「さ」、「た」、「な」の横の▽をタッチすると、「は」、「ま」、「や」、「ら」、「わ」に切り替わります。
- ・「あ」、「か」、「さ」、「た」、「な」の同じキーを続けてタッチすると、画面表示されていない次の読みに切り替わります。
(例:「あ」→「い」→「う」→「え」→「お」)
- ・住所リスト先頭の「(代表地点)」をタッチすると、都道府県／市区町村／番地単位の代表地点の地図が表示されます。
- ・「直接入力」をタッチすると、番地などの数字を直接入力することができます。

6 目的地が表示されていることを確認し、「ここへ行く」をタッチする。

ルート探索結果画面が表示されます。
一定時間操作がない場合は、画面が切り替わります。

手順6で「ここへ行く」の代わりに下記を選ぶこともできます。

- ・「探索条件」:探索条件を指定してルートを探します。
- ・「マーク登録」:表示されている地点をマークとして登録することができます。その地点にすでにマークが登録済みの場合は表示されません。
- ・「経由地追加」:立ち寄りたい地点をルートに加えることができます。一度ルート探索を行ったあと、改めて行き先を選ぶと表示されます。
- ・「日時指定」:出発または到着日時を指定してルートを探します。
- ・「最寄検索」:表示されている地点を中心に、さらに最寄検索します。

ちょっと一言

ルート探索結果画面では、現在地から目的地までのルートを確認したり、探索条件を変更できます。ルート探索結果画面の表示設定は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→「案内」→「案内前のルート確認」(92ページ)で変更できます。

ご注意

実際の交通状況によっては、指定した日時に到着できない場合があります。到着予想時刻は、おおよその目安としてお使いください。

ご注意

- ・一部の地域では、番地、号などが指定できません。
- ・選びたい住所がリストにない場合には、近い住所(数字)を選んでください。

「電話番号」で探す

店舗や施設などの電話番号を入力して、行き先を探せます。

個人宅の電話番号で探す場合について詳しくは、「個人宅の電話番号で探す場合」(53ページ)をご覧ください。

1 メニューボタンをタッチする。

2 「行き先」をタッチする。

行き先メニューが表示されます。

3 「電話番号」をタッチする。

4 数字をタッチして、電話番号を市外局番から入力する。

ちょっと一言

電話番号の入力が途中の場合でも、おおよその地点を検索することができます。

5 「電話番号検索」をタッチする。

該当する場所の地図が表示されます。

ちょっと一言

検索した施設に駐車場や出入り口の情報がある場合、駐車場や出入り口のリストが表示されます。

6 目的地が表示されていることを確認し、「ここへ行く」をタッチする。

ルート探索結果画面が表示されます。
一定時間操作がない場合は、画面が切り替わります。

手順6で「ここへ行く」の代わりに下記を選ぶこともできます。

- ・「探索条件」:探索条件を指定してルートを探します。
- ・「マーク登録」:表示されている地点をマークとして登録することができます。その地点にすでにマークが登録済みの場合は表示されません。
- ・「経由地追加」:立ち寄りたい地点をルートに加えることができます。一度ルート探索を行ったあと、改めて行き先を選ぶと表示されます。
- ・「日時指定」:出発または到着日時を指定してルートを探します。
- ・「最寄検索」:表示されている地点を中心に、さらに最寄検索します。
- ・「詳細情報」:施設の住所や電話番号などを確認できます。詳細情報がある場合に表示されます。

ちょっと一言

ルート探索結果画面では、現在地から目的地までのルートを確認したり、探索条件を変更できます。ルート探索結果画面の表示設定は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[案内]→[案内前のルート確認](92ページ)で変更できます。

ご注意

実際の交通状況によっては、指定した日時に到着できない場合があります。到着予想時刻は、おおよその目安としてお使いください。

個人宅の電話番号で探す場合

公開されている電話帳に登録されている個人宅は、電話番号で探すことができます。

1 メニューボタンをタッチする。

2 「行き先」をタッチする。

行き先メニューが表示されます。

3 「電話番号」をタッチする。

4 数字をタッチして、電話番号を市外局番から入力する。

ちょっと一言

電話番号の入力が途中の場合でも、およその地点を検索することができます。

5 「電話番号検索」をタッチする。

ご注意

検索しようとした個人宅が公開されている電話帳に登録されていない場合、名前入力画面が表示されず、検索できません。

6 個人宅の名字を入力する。

7 「名字を確認」をタッチする。

入力した電話番号と個人名が電話帳のデータと一致する場合、該当する場所の地図が表示されます。

ご注意

入力した電話番号と個人名が一致しない場合、「個人名を確認できませんでした。」のメッセージの後に、名前入力画面が表示されます。

8 目的地が表示されていることを確認し、「ここへ行く」をタッチする。

ルート探索結果画面が表示されます。
一定時間操作がない場合は、画面が切り替わります。

手順8で「ここへ行く」の代わりに下記を選ぶこともできます。

- ・「探索条件」:探索条件を指定してルートを探します。
- ・「マーク登録」:表示されている地点をマークとして登録することができます。その地点にすでにマークが登録済みの場合は表示されません。
- ・「経由地追加」:立ち寄りたい地点をルートに加えることができます。一度ルート探索を行ったあと、改めて行き先を選ぶと表示されます。
- ・「日時指定」:出発または到着日時を指定してルートを探します。
- ・「最寄検索」:表示されている地点を中心に、さらに最寄検索します。

ちょっと一言

ルート探索結果画面では、現在地から目的地までのルートを確認したり、探索条件を変更できます。ルート探索結果画面の表示設定は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[案内]→[案内前のルート確認](92ページ)で変更できます。

ご注意

実際の交通状況によっては、指定した日時に到着できない場合があります。到着予想時刻は、おおよその目安としてお使いください。

ご注意

- ・公開されている電話帳に登録されていない電話番号は、検索できません。
- ・公開されている電話帳に登録されている電話番号でも、地図に収録されていない場合は検索できません。
- ・入力した電話番号によっては、施設リストが表示されることがあります。

「ガイドブック」で探す

ガイドブックに登録されている場所(スポット)を行き先として選べます。

ちょっと一言

- ・トラベル、グルメ、レジャーなどドライブに役立つ情報をまとめたものをガイドブックといいます。ガイドブックに収録されている場所をスポットといいます。
- ・ガイドブックについて詳しくは、「ガイドブックを見る」(96ページ)をご覧ください。

1 メニューボタンをタッチする。

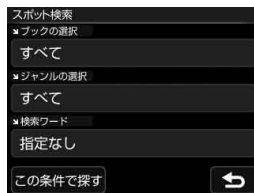
2 「行き先」をタッチする。

行き先メニューが表示されます。

3 「ガイドブック」をタッチする。

4 検索条件を選ぶ。

「ブックの選択」、「ジャンルの選択」、「検索ワード」で検索の条件を選んでください。



ちょっと一言

文字の入力方法について詳しくは、「名称設定画面」(33ページ)をご覧ください。

5 「この条件で探す」をタッチする。

該当するスポットのリストが表示されます。

ちょっと一言

- ・検索結果を並べ替えるには「名前順」、「ジャンル順」、「最寄順」をタッチしてください。
- ・検索結果は最大1,000件まで表示されます。

6 行きたいスポットをタッチする。

スポット詳細画面が表示されます。

7 スポット詳細画面で「地図へ」をタッチする。

該当する場所の地図が表示されます。

8 目的地が表示されていることを確認し、「ここへ行く」をタッチする。

ルート探索結果画面が表示されます。
一定時間操作がない場合は、画面が切り替わります。

手順8で「ここへ行く」の代わりに下記を選ぶこともできます。

- ・「探索条件」:探索条件を指定してルートを探索します。
- ・「マーク登録」:表示されている地点をマークとして登録することができます。その地点にすでにマークが登録済みの場合は表示されません。
- ・「経由地追加」:立ち寄りたい地点をルートに加えることができます。一度ルート探索を行ったあと、改めて行き先を選ぶと表示されます。
- ・「日時指定」:出発または到着日時を指定してルートを探索します。
- ・「最寄検索」:表示されている地点を中心に、さらに最寄検索します。

ちょっと一言

ルート探索結果画面では、現在地から目的地までのルートを確認したり、探索条件を変更できます。ルート探索結果画面の表示設定は、メニューボタン→「設定」タブ→「設定」→「案内」→「案内前のルート確認」(92ページ)で変更できます。

ご注意

実際の交通状況によっては、指定した日時に到着できない場合があります。到着予想時刻は、おおよその目安としてお使いください。

「ジャンル」で探す

食事や買い物、スポーツなど、目的(ジャンル)で行き先を探せます。

1 メニューボタンをタッチする。

2 「行き先」をタッチする。

行き先メニューが表示されます。

3 「ジャンル」をタッチする。

4 画面に従ってジャンルをタッチする。

選びたい項目が表示されていないときは、
▲または▼をタッチします。

ちょっと一言

ジャンルは、前回選んだものから順に表示されます。

5 画面に従って地域を選ぶ。

施設が一覧表示されます。

「絞込み」で名称や市区町村で候補を絞ることができます。

ここで「あかさたな」をタッチすると、下記のことが行えます。

- ・画面下部の「あ」、「か」、「さ」、「た」、「な」をタッチすると、その行の読みではじまる施設名のリストが表示されます。
- ・「あ」、「か」、「さ」、「た」、「な」の横の▽をタッチすると、「は」、「ま」、「や」、「ら」、「わ」に切り替わります。
- ・「あ」、「か」、「さ」、「た」、「な」の同じキーを続けてタッチすると、画面表示されていない次の読みに切り替わります。
(例:「あ」→「い」→「う」→「え」→「お」)

6 行きたい施設をタッチする。

該当する場所の地図が表示されます。

ちょっと一言

タッチした施設に駐車場や出入り口の情報が
ある場合、駐車場や出入り口のリストが表示されます。

次ページへつづく➡

7 目的地が表示されていることを確認し、「ここへ行く」をタッチする。

ルート探索結果画面が表示されます。
一定時間操作がない場合は、画面が切り替わります。

手順7で「ここへ行く」の代わりに下記を選ぶこともできます。

- ・「探索条件」:探索条件を指定してルートを探します。
- ・「マーク登録」:表示されている地点をマークとして登録することができます。その地点にすでにマークが登録済みの場合は表示されません。
- ・「経由地追加」:立ち寄りたい地点をルートに加えることができます。一度ルート探索を行ったあと、改めて行き先を選ぶと表示されます。
- ・「日時指定」:出発または到着日時を指定してルートを探します。
- ・「最寄検索」:表示されている地点を中心に、さらに最寄検索します。
- ・「詳細情報」:施設の住所や電話番号などを確認できます。詳細情報がある場合に表示されます。

ちょっと一言

ルート探索結果画面では、現在地から目的地までのルートを確認したり、探索条件を変更できます。ルート探索結果画面の表示設定は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[案内]→[案内前のルート確認](92ページ)で変更できます。

ご注意

実際の交通状況によっては、指定した日時に到着できない場合があります。到着予想時刻は、おおよその目安としてお使いください。

ちょっと一言

該当件数が多い場合、検索の間「<検索中…>」と画面上部に表示されます。

「名称」で探す

店舗や施設などの名称を入力し、行き先を探せます。

1 メニューボタンをタッチする。

2 「行き先」をタッチする。

行き先メニューが表示されます。

3 「名称」をタッチする。

4 名称を入力する。

ちょっと一言

文字の入力方法について詳しくは、「名称検索画面」(32ページ)をご覧ください。

5 「名称検索」をタッチする。

該当する名称のリストが表示されます。

ちょっと一言

「絞込み」でジャンルや地域の候補を絞ることができます。

6 行きたい施設をタッチする。

該当する場所の地図が表示されます。

ちょっと一言

タッチした施設に駐車場や出入り口の情報があ
る場合、駐車場や出入り口のリストが表示されます。

7 目的地が表示されていることを確認し、「ここへ行く」をタッチする。

ルート探索結果画面が表示されます。

一定時間操作がない場合は、画面が切り替わります。

手順7で「ここへ行く」の代わりに下記を選ぶこともできます。

- **「探索条件」**:探索条件を指定してルートを探索します。
- **「マーク登録」**:表示されている地点をマークとして登録することができます。その地点にすでにマークが登録済みの場合は表示されません。
- **「経由地追加」**:立ち寄りたい地点をルートに加えることができます。一度ルート探索を行ったあと、改めて行き先を選ぶと表示されます。
- **「日時指定」**:出発または到着日時を指定してルートを探索します。
- **「最寄検索」**:表示されている地点を中心に、さらに最寄検索します。
- **「詳細情報」**:施設の住所や電話番号などを確認できます。詳細情報がある場合に表示されます。

ちょっと一言

ルート探索結果画面では、現在地から目的地までのルートを確認したり、探索条件を変更できます。ルート探索結果画面の表示設定は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→「案内」→「案内前のルート確認」(92ページ)で変更できます。

ご注意

実際の交通状況によっては、指定した日時に到着できない場合があります。到着予想時刻は、おおよその目安としてお使いください。

ちょっと一言

- 名称はすべて「かな」で入力します。
- 該当する施設が表示されない場合は、別の読みかたでもお試しください。
たとえば、「A」が「えー」で表示されない場合は、「えい」でもお試しください。
- 名称は途中まで入力しても検索できます。
- 登録されている名称は通称と異なる場合があります。
- 該当件数が多い場合、検索の間「<検索中…>」と画面上部に表示されます。

「マーク」で探す

登録してあるマークから行き先を選べます。
よく行く場所などをマークに登録しておく、
マークで簡単に探せるので、毎回住所や電話番号を入力する必要がありません。

ちょっと一言

- ・マークを登録するには、ツールバーの「ナビ」→「マーク登録」(72ページ)をタッチしてください。
- ・マークを編集するには、メニューボタン→「設定」タブ→「マークの編集」(85ページ)をタッチするか、ツールバーの「ナビ」→「マーク編集」(72ページ)をタッチしてください。

1 メニューボタンをタッチする。

2 「行き先」をタッチする。

行き先メニューが表示されます。

3 「マーク」をタッチする。

ご注意

マークの登録が0件の場合は、「マークが登録されていません」と表示されます。

4 マークのグループをタッチする。

選びたいグループが表示されていないときは、▲または▼をタッチします。

5 マークをタッチする。

選びたい項目が表示されていないときは、▲または▼をタッチします。

該当する場所の地図が表示されます。

6 目的地が表示されていることを確認し、「ここへ行く」をタッチする。

ルート探索結果画面が表示されます。
一定時間操作がない場合は、画面が切り替わります。

手順6で「ここへ行く」の代わりに下記を選ぶこともできます。

- ・「探索条件」:探索条件を指定してルートを探索します。
- ・「経由地追加」:立ち寄りたい地点をルートに加えることができます。一度ルート探索を行ったあと、改めて行き先を選ぶと表示されます。
- ・「日時指定」:出発または到着日時を指定してルートを探索します。
- ・「最寄検索」:表示されている地点を中心に、さらに最寄検索します。

ちょっと一言

ルート探索結果画面では、現在地から目的地までのルートを確認したり、探索条件を変更できます。
ルート探索結果画面の表示設定は、メニューボタン→「設定」タブ→「設定」→「案内」→「案内前のルート確認」(92ページ)で変更できます。

ご注意

実際の交通状況によっては、指定した日時に到着できない場合があります。到着予想時刻は、おおよその目安としてお使いください。

「緯度経度」で探す

緯度経度を入力して、行き先を探せます。

1 メニューボタンをタッチする。

2 「行き先」をタッチする。

行き先メニューが表示されます。

3 「緯度経度」をタッチする。

4 緯度と経度の数字をタッチして、緯度と経度を設定する。

ちょっと一言

- 入力できるのは、世界測地系と日本測地系です。「測地系」の下ボタンをタッチすると切り替えられます。
- 入力できるのは、角度と度分秒(DMS)です。「表記」の下ボタンをタッチすると切り替えられます。

5 「緯度経度検索」をタッチする。

該当する場所の地図が表示されます。

6 目的地が表示されていることを確認し、「ここへ行く」をタッチする。

ルート探索結果画面が表示されます。

一定時間操作がない場合は、画面が切り替わります。

手順6で「ここへ行く」の代わりに下記を選ぶこともできます。

- 「探索条件」:探索条件を指定してルートを探索します。
- 「マーク登録」:表示されている地点をマークとして登録することができます。その地点にすでにマークが登録済みの場合は表示されません。
- 「経由地追加」:立ち寄りたい地点をルートに加えることができます。一度ルート探索を行ったあと、改めて行き先を選ぶと表示されます。
- 「日時指定」:出発または到着日時を指定してルートを探索します。
- 「最寄検索」:表示されている地点を中心に、さらに最寄検索します。

ちょっと一言

ルート探索結果画面では、現在地から目的地までのルートを確認したり、探索条件を変更できます。ルート探索結果画面の表示設定は、メニューボタン→[設定]タブ→「設定」→「案内」→「案内前のルート確認」(92ページ)で変更できます。

ご注意

実際の交通状況によっては、指定した日時に到着できない場合があります。到着予想時刻は、おおよその目安としてお使いください。

「履歴」で探す

以前に設定した目的地／経由地の履歴(最大36件)から行き先を選べます。

1 メニューボタンをタッチする。

2 「行き先」をタッチする。

行き先メニューが表示されます。

3 「履歴」をタッチする。

ちょっと一言

地点履歴を並べ替えるには「並べ替え(回数)」、「並べ替え(日時)」をタッチしてください。

4 地点履歴リストの項目をタッチする。

選みたい項目が表示されていないときは、▲または▼をタッチします。

該当する場所の地図が表示されます。

5 目的地が表示されていることを確認し、「ここへ行く」をタッチする。

ルート探索結果画面が表示されます。

一定時間操作がない場合は、画面が切り替わります。

手順5で「ここへ行く」の代わりに下記を選ぶこともできます。

- ・「探索条件」:探索条件を指定してルートを探します。
- ・「マーク登録」:表示されている地点をマークとして登録することができます。その地点にすでにマークが登録済みの場合は表示されません。
- ・「経由地追加」:立ち寄りたい地点をルートに加えることができます。一度ルート探索を行ったあと、改めて行き先を選ぶと表示されます。
- ・「日時指定」:出発または到着日時を指定してルートを探します。
- ・「最寄検索」:表示されている地点を中心に、さらに最寄検索します。

ちょっと一言

ルート探索結果画面では、現在地から目的地までのルートを確認したり、探索条件を変更できます。ルート探索結果画面の表示設定は、メニューボタン→[設定]タブ→「設定」→「案内」→「案内前のルート確認」(92ページ)で変更できます。

ご注意

実際の交通状況によっては、指定した日時に到着できない場合があります。到着予想時刻は、おおよその目安としてお使いください。

履歴を消去するには

- 1 前記の手順3で「履歴消去」をタッチする。
- 2 削除したい地点履歴をタッチする。
選んだ地点履歴にはチェックマークが表示されます。
もう一度タッチすると、チェックマークを解除することができます。
以下をタッチすると複数を同時に選ぶことができます。
 - ・「全選択」:すべての地点履歴が選ばれ、すべてにチェックマークが表示されます。
 - ・「クリア」:地点履歴のチェックマークをすべて解除します。
- 3 「消去実行」をタッチする。
確認画面が表示されます。
- 4 「はい」をタッチする。
選んだ地点履歴が消去されます。

保存したルートを使って探す

保存してあるルートから行き先を選べます。

ちょっと一言

ルートを保存するには、ルートガイド中に「全ルート」→「ルート保存」をタッチし、保存先をタッチしてください(最大8件)。また、「ルートの編集」(82ページ)からも保存できます。

- 1 メニューボタンをタッチする。
- 2 「行き先」をタッチする。
行き先メニューが表示されます。
- 3 「ルート呼出」をタッチする。
- 4 使いたい保存ルートをタッチする。
選びたい保存ルートが表示されていないときは、▲または▼をタッチします。
- 5 「ガイド開始」をタッチする。
ルート探索結果画面が表示されます。
一定時間操作がない場合は、画面が切り替わります。
ちょっと一言
 - ・「ガイド開始」以外にも、以下の項目を選ぶことができます。
 - 「ルート名称変更」:ルート名称を変更します。
 - 「ルート編集」:ルート編集画面になります。
 - 「ルート消去」:ルートを消去します。
 - ・ルート探索結果画面では、現在地から目的地までのルートを確認したり、探索条件を変更することができます。
ルート探索結果画面の表示設定は、メニューボタン→「設定」タブ→「設定」→「案内」→「案内前のルート確認」(92ページ)で変更できます。
 - ・保存したルートを日時指定で探索することもできます。詳しくは「日時を指定してルートを探索する」(62ページ)の「ちょっと一言」をご覧ください。

日時を指定してルートを探する

本機では、現在時刻でのルート探索の他に、出発または到着の日時を指定してルートを探することもできます。その場合は、メニューボタン→「行き先」から目的地を設定し、ルート探索を行うときに、「ここへ行く」の代わりに画面下部の「日時指定」を選びます。

出発日時を指定してルート探索する場合

出発日時を指定した後、「探索開始」をタッチします。

到着日時を指定してルート探索する場合

「出発／到着切替」をタッチして(画面左上の表示が「到着」に変わります)、到着日時を指定した後、「探索開始」をタッチします。

ちょっと一言

- ・ 交通情報(渋滞)を考慮した所要時間は、ルート探索後に計算されます。所要時間の計算中には日時指定画面の左側に「(更新中…)」と表示されます。計算が終わると「(更新中…)」が「渋滞考慮」に変わり、到着予想時刻が渋滞を考慮した時刻に変わります。
- ・ 日時指定画面の右上の ☒ をタッチすると、ルート探索結果画面が表示されます。ルート探索結果画面で「日時指定」をタッチすると、再度日時指定画面が表示されます。
- ・ ルート探索の結果は「ルート保存」で保存できますが、出発日時／到着日時は保存されません。
- ・ 保存したルートを日時指定で探索するときは、メニューボタン→「行き先」→「ルート呼出」から使いたい保存ルートを選び、「ルート編集」→「オプション」→「日時指定」でお使いいただけます。
- ・ 「ガイド開始」をタッチすると、現在時刻でルートを再探索します。
- ・ 日時を指定したルート探索は、徒歩モードではお使いになれません。

ご注意

本機でルート探索したときに表示される到着予想時刻／出発予想時刻は、おおよその目安としてお使いください。実際の交通状況により、表示／指定した日時に到着できない場合があります。

近くの施設を探して 出発する(最寄メニュー)

現在地または地図の中心(十字カーソル)から近い順に行きたい施設を探します。

ちょっと一言

現在地以外で最寄検索したい場合は、地図をスクロールするなどして十字カーソルを表示させると、その地点を中心に周辺の施設やスポットを探することができます。

ご注意

出発地と目的地の位置関係や、交通規制情報などによっては、正しいルートが表示されなかったり、ルート探索できないことがあります。詳しくは、「正しいルートが見つからないときは」(45ページ)をご覧ください。

「ジャンル」で探す

食事や買い物、スポーツなど、目的(ジャンル)で行き先を探せます。

1 メニューボタンをタッチする。

2 「最寄」をタッチする。

最寄メニューが表示されます。

3 「ジャンル」をタッチする。

4 画面に従ってジャンルをタッチする。

選びたい項目が表示されていないときは、▲または▼をタッチします。

ちょっと一言

ジャンルは、前回選んだものから順に表示されます。

5 行きたい施設をタッチする。

該当する場所の地図が表示されます。

ちょっと一言

- タッチした施設に駐車場や出入り口の情報があ
る場合、駐車場や出入り口のリストが表示され
ます。
- 「名称検索」をタッチすると、検索結果を名称で
絞り込むことができます。
- 「検索範囲」をタッチすると、検索条件を変更す
ることができます。「検索範囲」はルートガイド
中のみ選べます。「検索範囲」について詳しくは、
「検索範囲を変更する」(67ページ)をご覧ください。
- 「かんたん最寄登録」をタッチすると、「かんた
ん最寄」を登録することができます。「かんたん
最寄」について詳しくは、「かんたん最寄」で探
す」(66ページ)をご覧ください。
- 「地図表示」をタッチすると、地図画面を見なが
ら施設を選ぶことができます。前の画面に戻る
には、「リスト表示」をタッチします。

6 目的地が表示されていることを確認し、 「ここへ行く」をタッチする。

ルート探索結果画面が表示されます。

一定時間操作がない場合は、画面が切り替
わります。

手順6で「ここへ行く」の代わりに下記を選
ぶこともできます。

- 「探索条件」:探索条件を指定してルート
を探索します。
- 「マーク登録」:表示されている地点を
マークとして登録することができます。
その地点にすでにマークが登録済みの場
合は表示されません。
- 「経由地追加」:立ち寄りたい地点をルー
トに加えることができます。一度ルート
探索を行ったあと、改めて行き先を選
び表示されます。
- 「日時指定」:出発または到着日時を指定
してルートを探します。
- 「最寄検索」:表示されている地点を中心
に、さらに最寄検索します。
- 「詳細情報」:施設の住所や電話番号など
を確認できます。詳細情報がある場合に
表示されます。

ちょっと一言

ルート探索結果画面では、現在地から目的地ま
でのルートを確認したり、探索条件を変更でき
ます。ルート探索結果画面の表示設定は、メニ
ューボタン→[設定]タブ→[設定]→[案内]→[案内前
のルート確認」(92ページ)で変更できます。

ご注意

実際の交通状況によっては、指定した日時に到
着できない場合があります。到着予想時刻は、お
よその目安としてお使いください。

「名称」で探す

店舗や施設などの名称を入力し、行き先を探せます。

1 メニューボタンをタッチする。

2 「最寄」をタッチする。

最寄メニューが表示されます。

3 「名称」をタッチする。

4 名称を入力する。

ちょっと一言

文字の入力方法について詳しくは、「名称検索画面」(32ページ)をご覧ください。

5 「名称検索」をタッチする。

該当する名称のリストが表示されます。

6 行きたい施設をタッチする。

該当する場所の地図が表示されます。

ちょっと一言

- ・タッチした施設に駐車場や出入り口の情報があ
る場合、駐車場や出入り口のリストが表示され
ます。
- ・「ジャンル」をタッチすると、検索結果をジャン
ルで絞り込むことができます。
- ・「検索範囲」をタッチすると、検索条件を変更
することができます。「検索範囲」はルートガイド
中のみ選べます。「検索範囲」について詳しくは、
「検索範囲を変更する」(67ページ)をご覧ください。
- ・「地図表示」をタッチすると、地図画面を見なが
ら施設を選ぶことができます。前の画面に戻る
には、「リスト表示」をタッチします。

7 目的地が表示されていることを確認し、 「ここへ行く」をタッチする。

ルート探索結果画面が表示されます。

一定時間操作がない場合は、画面が切り替
わります。

手順7で「ここへ行く」の代わりに下記を選
ぶこともできます。

- ・「**探索条件**」:探索条件を指定してルート
を探索します。
- ・「**マーク登録**」:表示されている地点を
マークとして登録することができます。
その地点にすでにマークが登録済みの場
合は表示されません。
- ・「**経由地追加**」:立ち寄りたい地点をルー
トに加えることができます。一度ルート
探索を行ったあと、改めて行き先を選
びと表示されます。
- ・「**日時指定**」:出発または到着日時を指定
してルートを探します。
- ・「**最寄検索**」:表示されている地点を中心
に、さらに最寄検索します。
- ・「**詳細情報**」:施設の住所や電話番号など
を確認できます。詳細情報がある場合に
表示されます。

ちょっと一言

ルート探索結果画面では、現在地から目的地で
のルートを確認したり、探索条件を変更できま
す。ルート探索結果画面の表示設定は、メニ
ューボタン→「設定」タブ→「設定」→「案内」→「案内前
のルート確認」(92ページ)で変更できます。

ご注意

実際の交通状況によっては、指定した日時に到
着できない場合があります。到着予想時刻は、お
おその目安としてお使いください。

「ガイドブック」で探す

ガイドブックに登録されている場所(スポット)を行き先として選べます。

ちょっと一言

- ・トラベル、グルメ、レジャーなどドライブに役立つ情報をまとめたものをガイドブックといいます。ガイドブックに登録されている場所をスポットといいます。
- ・ガイドブックについて詳しくは、「ガイドブックを見る」(96ページ)をご覧ください。

1 メニューボタンをタッチする。

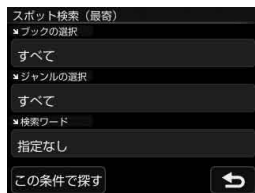
2 「最寄」をタッチする。

最寄メニューが表示されます。

3 「ガイドブック」をタッチする。

4 検索条件を選ぶ。

「ブックの選択」、「ジャンルの選択」、「検索ワード」で検索の条件を選んでください。



ちょっと一言

文字の入力方法について詳しくは、「名称設定画面」(33ページ)をご覧ください。

5 「この条件で探す」をタッチする。

該当するスポットのリストが表示されます。

ちょっと一言

- ・検索結果を並べ替えるには「名前順」、「ジャンル順」、「最寄順」をタッチしてください。
- ・検索結果は最大100件まで表示されます。

6 行きたいスポットをタッチする。

スポット詳細画面が表示されます。

7 スポット詳細画面で「地図へ」をタッチする。

該当する場所の地図が表示されます。

8 目的地が表示されていることを確認し、「ここへ行く」をタッチする。

ルート探索結果画面が表示されます。

一定時間操作がない場合は、画面が切り替わります。

手順8で「ここへ行く」の代わりに下記を選ぶこともできます。

- ・「探索条件」: 探索条件を指定してルートを探索します。
- ・「マーク登録」: 表示されている地点をマークとして登録することができます。その地点にすでにマークが登録済みの場合は表示されません。
- ・「経由地追加」: 立ち寄りたい地点をルートに加えることができます。一度ルート探索を行ったあと、改めて行き先を選ぶと表示されます。
- ・「日時指定」: 出発または到着日時を指定してルートを探索します。
- ・「最寄検索」: 表示されている地点を中心に、さらに最寄検索します。

ちょっと一言

ルート探索結果画面では、現在地から目的地までのルートを確認したり、探索条件を変更できます。ルート探索結果画面の表示設定は、メニューボタン→「設定」タブ→「設定」→「案内」→「案内前のルート確認」(92ページ)で変更できます。

ご注意

実際の交通状況によっては、指定した日時に到着できない場合があります。到着予想時刻は、おおよその目安としてお使いください。

「かんたん最寄」で探す

あらかじめ登録されているジャンルで行き先を探せます。

1 メニューボタンをタッチする。

2 「最寄」をタッチする。

最寄メニューが表示されます。



「かんたん最寄」

3 検索したい「かんたん最寄」をタッチする。

4 行きたい施設をタッチする。

該当する場所の地図が表示されます。

ちょっと一言

- タッチした施設に駐車場や出入り口の情報があ
る場合、駐車場や出入り口のリストが表示され
ます。
- 「検索範囲」をタッチすると、検索条件を変更す
ることができます。「検索範囲」はルートガイド
中のみ選べます。「検索範囲」について詳しくは、
「検索範囲を変更する」(67ページ)をご覧ください。
- 「地図表示」をタッチすると、地図画面を見なが
ら施設を選ぶことができます。前の画面に戻る
には、「リスト表示」をタッチします。

5 目的地が表示されていることを確認し、 「ここへ行く」をタッチする。

ルート探索結果画面が表示されます。

一定時間操作がない場合は、画面が切り替
わります。

手順5で「ここへ行く」の代わりに下記を選
ぶこともできます。

- 「探索条件」:探索条件を指定してルート
を探索します。
- 「マーク登録」:表示されている地点を
マークとして登録することができます。
その地点にすでにマークが登録済みの場
合は表示されません。
- 「経由地追加」:立ち寄りたい地点をルー
トに加えることができます。一度ルート
探索を行ったあと、改めて行き先を選
び表示されます。
- 「日時指定」:出発または到着日時を指定
してルートを探します。
- 「最寄検索」:表示されている地点を中心
に、さらに最寄検索します。
- 「詳細情報」:施設の住所や電話番号など
を確認できます。詳細情報がある場合に
表示されます。

ちょっと一言

ルート探索結果画面では、現在地から目的地まで
のルートを確認したり、探索条件を変更できます。
ルート探索結果画面の表示設定は、メニューボタ
ン→「設定」タブ→「設定」→「案内」→「案内前
のルート確認」(92ページ)で変更できます。

ご注意

実際の交通状況によっては、指定した日時に到着
できない場合があります。到着予想時刻は、およ
よその目安としてお使いください。

「かんたん最寄」を変更するには

- 1 メニューボタンをタッチする。
- 2 「最寄」をタッチする。
最寄メニューが表示されます。
- 3 「かんたん最寄編集」をタッチする。
- 4 変更したい「かんたん最寄」をタッチする。
- 5 画面に従ってジャンルをタッチする。
選びたい項目が表示されていないときは、
▲または▼をタッチします。
「かんたん最寄」が変更されます。

検索範囲を変更する

最寄検索の検索範囲を変更します。

- 1 メニューボタンをタッチする。
- 2 「最寄」をタッチする。
最寄メニューが表示されます。



「検索範囲」

- 3 「検索範囲」を選ぶ。
最寄検索の検索範囲をタッチしてください。
 - ・「この地点から」*:スクロールした地図の十字カーソルの地点を中心に最寄検索します。
 - ・「現在地から」*:スクロールしていないときに、現在地を中心に最寄検索します。
 - ・「目的地方向」:現在地を中心に、目的地の方向に最寄検索します。ルートガイド中のみ選べます。
 - ・「目的地周辺」:目的地を中心に最寄検索します。ルートガイド中のみ選べます。

* 地図をスクロールしているかどうかによって、「この地点から」と「現在地から」が切り替わります。

よく行く場所へ出発する (自宅／お気に入りメニュー)

自宅やよく行く場所などを自宅／お気に入りメニューに登録しておく、自宅／お気に入りメニューから行き先を選べます。

ご注意

出発地と目的地の位置関係や、交通規制情報などによっては、正しいルートが表示されなかったり、ルート探索できないことがあります。詳しくは、「正しいルートが見つからないときは」(45ページ)をご覧ください。

お気に入りに登録する

- 1 メニューボタンをタッチする。
- 2 「自宅 お気に入り」をタッチする。
自宅／お気に入りメニューが表示されます。
- 3 「未登録」をタッチする。
- 4 「はい」をタッチする。
地点検索メニューが表示されます。
- 5 検索方法をタッチする。
検索方法は次の方法から選べます。
「最寄」、「住所」、「名称」、「ジャンル」、「電話番号」、「マーク」、「履歴」、「自宅」、「地図から」、「現在地」、「ガイドブック」、「郵便番号」、「緯度経度」
- 6 選んだ検索方法に従って登録したい地点を探す。
該当する場所の地図が表示されます。
- 7 登録したい地点が表示されていることを確認し、「決定」をタッチする。
お気に入りに登録されます。

ちょっと一言

お気に入りの編集方法は、「自宅／お気に入り編集」(87ページ)をご覧ください。

お気に入りの場所へ出発する

- 1 メニューボタンをタッチする。
- 2 「自宅 お気に入り」をタッチする。
自宅／お気に入りメニューが表示されます。
- 3 自宅／お気に入りメニューの項目をタッチする。
ルート探索結果画面が表示されます。
一定時間操作がない場合は、画面が切り替わります。
ちょっと一言
ルート探索結果画面では、現在地から目的地までのルートを確認したり、探索条件を変更することができます。
ルート探索結果画面の表示設定は、メニューボタン→「設定」タブ→「設定」→「案内」→「案内前のルート確認」(92ページ)で変更できます。

ちょっと一言

ジェスチャー操作で簡単に「自宅」、「★1」(お気に入り1)、「★2」(お気に入り2)へのルートガイドを開始できます。ジェスチャー操作について詳しくは、「ジェスチャー操作一覧」(145ページ)をご覧ください。

ツールバー

地図下段のツールバーの項目をタッチすると、目的に応じた機能を簡単に使えます。

ちょっと一言

- 現在地が表示されている状態で、一定時間操作がない場合、ツールバーの表示を隠すことができます。ツールバーを隠すには、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[システム設定]→[ツールバーを隠す(地図)](89ページ)で、設定を「ON(表示なし)」または「ON(住所／道路名称を表示)」にします。
- ツールバーが隠れた状態で画面下部(ツールバーが表示される部分)をタッチするとツールバーが表示されます。
- 地図をスクロールモードにしている間は、ツールバーは隠れません。
- 自転車モード中や徒歩モード中は、ツールバーの項目が一部異なります。自転車モードについて詳しくは、「自転車モード」(74ページ)をご覧ください。また、徒歩モードについて詳しくは、「徒歩モード」(77ページ)をご覧ください。

ご注意

- 安全のため走行中は以下の操作ができません。
 - メニュー
 - ツールバー → 「ナビ」 →
 - 「マーク登録」の「名称」、「よみ」、「グループ」、マークアイコン、「サウンド設定」
 - 「マーク編集」
 - 「ナビモード切替」(“nav-u”本体をクレードルからはずしている場合のみ表示されます。)
- 操作は安全な場所に停車して行ってください。

📺 (ビデオ) / 🎵 (音楽)

ナビゲーションと同時に使用可能なアプリケーションの起動／終了を切り替えます。

前回ビデオを使用していた場合



- 📺 起動
ビデオを再生します。
- 📺 終了
ビデオの再生を終了します。

前回音楽を使用していた場合

- 🎵 起動
音楽を再生します。
- 🎵 終了
音楽の再生を終了します。

「表示切替」

地図画面の表示や起動中のアプリケーション(ビデオまたは音楽)画面を切り替えます。



・アウトドア地図

アウトドア地図(国土地理院の2万5千分の1地形図)が表示されます。

ちょっと一言

アウトドア地図画面について詳しくは、「アウトドア地図」(80ページ)をご覧ください。

・情報+地図

平均速度や移動距離などの計測情報と地図画面が表示されます。(画面は自動車モードの画面です。)



- ① GPSの測位から算出された移動速度が表示されます。
- ② 計測中の移動距離が表示されます。
- ③ 経過時間が表示されます。
- ④ ナビモード(自動車モード、自転車モード、徒歩モード)を切り替えます。
- ⑤ 情報の表示に切り替えます。
- ⑥ 計測をスタート/ストップします。

ちょっと一言

情報画面をタッチすると、「速度」、「移動距離」、「経過時間」が「平均速度」、「最高速度」、「消費カロリー」に切り替わります。もう一度タッチすると、「速度」、「移動距離」、「経過時間」に切り替わります。

・情報

平均速度や移動距離などの計測情報が表示されます。(画面は自動車モードの画面です。)



- ① GPSの測位から算出された移動速度が表示されます。
- ② 計測中の移動距離が表示されます。
- ③ 経過時間が表示されます。
- ④ ルートガイド時に、次のガイド地点での曲がる方向と、その地点までの距離が表示されます。
- ⑤ 計測中の平均速度が表示されます。
- ⑥ 計測中の最高速度が表示されます。
- ⑦ 計測中の消費カロリーが表示されます。
- ⑧ ナビモード(自動車モード、自転車モード、徒歩モード)を切り替えます。
- ⑨ 情報+地図の表示に切り替えます。
- ⑩ 平均速度、移動距離、経過時間、最高速度、消費カロリーをリセットします。
- ⑪ 計測をスタート/ストップします。

ちょっと一言

- ・情報画面をタッチすると、「消費カロリー」が「積算距離」に切り替わります。もう一度タッチすると、「消費カロリー」に切り替わります。
- ・積算距離(ナビモードごとの総移動距離)は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[システム設定]→「積算距離初期化」(90ページ)で初期化できます。

消費カロリーについて

- 消費カロリーを正しく算出するには、はじめに体重を設定する必要があります。メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[システム設定]→[カロリー計算設定](90ページ)で体重を設定してください。
- 消費カロリーは、次の式で算出されます。
$$\text{消費カロリー(kcal)} = 1.05 \times \text{身体活動の強さ(METs値)} \times \text{経過時間(時間)} \times \text{体重(kg)}$$

ちょっと一言

身体活動の強さを、安静時の何倍に相当するかで表す単位をMETs(メッツ)値といいます。座って安静にしている状態が1 METs、普通歩行が3 METsに相当します。

本機のナビモードのMETs値は次の通りです。

- 自動車モード: 1 METs
- 自転車モード: 1 METs ~ 16 METs(速度による)
- 徒歩モード: 1 METs ~ 18 METs(速度による)

再生画面

起動中のアプリケーション画面が表示されます。ビデオまたは音楽が起動している場合にのみ表示されます。(画面は音楽再生画面です。)



ちょっと一言

音楽再生画面について詳しくは、「音楽再生画面」(100ページ)をご覧ください。また、ビデオ再生画面について詳しくは、「ビデオ再生画面」(103ページ)をご覧ください。

ご注意

走行中は安全のためビデオは音声のみ出力されます。映像は表示されません。

地図

地図画面が表示されます。



ちょっと一言

地図画面について詳しくは、「地図の見かたと操作」(34ページ)をご覧ください。

・コンパス

コンパス画面が表示されます。



- ① 現在時刻が表示されます。
- ② 現在のナビモードが表示されます。
- ③ 方位が表示されます。
- ④ GPSの測位状態が表示されます。測位されていない場合はグレー表示されます。
- ⑤ 内蔵電池の状態が表示されます。
- ⑥ GPSの測位から算出された移動速度が表示されます。
- ⑦ GPSの測位から算出された高度が表示されます。
- ⑧ 目的地までの距離と目的地の到着予想時刻が表示されます。ルートガイド中のみ表示されます。
- ⑨ 次の経由地または目的地の方向が表示されます。ルートガイド中のみ表示されます。
- ⑩ 次のガイド地点での曲がる方向と、その地点までの距離が表示されます。ルートガイド中のみ表示されます。

ご注意

高架下や鉄橋の上など磁気の影響を受ける場所、またはGPSの受信状況が悪い場所では、移動速度や高度、方位が実際と異なって表示される場合があります。

「ナビ」

ナビメニューが表示されます。



十字カーソルを表示しているとき

・経由地追加(自動車モード、自転車モードのみ)

立ち寄りたい場所を経由地に設定して、ルートを再探索します。ルートガイド中のみ表示されます。

・経由地スキップ(自動車モード、自転車モードのみ)

次の経由地を飛ばしてルートガイドをします。経由地を設定している場合のみ表示されます。

・画面ロック(徒歩モードのみ)

“nav-u”本体が誤作動しないように、タッチパネルの操作を無効にします。画面ロックを解除するには、タッチパネルの左側にある現在地ボタンを長押ししてください。

・ナビモード切替

「自動車」、「自転車」、「徒歩」をタッチして、ナビモードを切り替えます。

自転車モードと徒歩モードは、“nav-u”本体を電源が供給されているクレードルからはずすと使用できます。

・ここへ行く

十字カーソルの中央に表示されている地点を目的地にしたルートを探します。

・ガイド再開／ガイド終了

ルートガイドを再開／終了します。ルートを設定している場合のみ表示されます。

・マーク登録／マーク編集

表示されている地点をマークとして登録することができます。

登録済みのマークを地図の中心に合わせて「ナビ」をタッチすると、「マーク登録」は「マーク編集」に切り替わり、マークの編集ができます。

ちょっと一言

マークは最大2,000件まで登録できます。

現在地を表示しているとき

・画面ロック(徒歩モードのみ)

“nav-u”本体が誤作動しないように、タッチパネルの操作を無効にします。画面ロックを解除するには、タッチパネルの左側にある現在地ボタンを長押ししてください。

・ナビモード切替

「自動車」、「自転車」、「徒歩」をタッチして、ナビモードを切り替えます。

自転車モードと徒歩モードは、“nav-u”本体を電源が供給されているクレードルからはずすと使用できます。

・経由地スキップ(自動車モード、自転車モードのみ)

次の経由地を飛ばしてルートガイドをします。経由地を設定している場合のみ表示されます。

・一般高速切替(自動車モードのみ)

一般道と高速道路が並走しているときに、実際に走行している道路とは異なる道路上に現在地が表示される場合があります。このような場合に、現在地を正しい道路上に表示するよう切り替えることができます。

・案内一時停止／案内再開(自動車モード、自転車モードのみ)

交差点拡大図の表示や音声案内を一時的に中断／再開します。

・ガイド再開／ガイド終了

ルートガイドを再開／終了します。ルートを設定している場合のみ表示されます。

・マーク登録／マーク編集

表示されている地点をマークとして登録することができます。

登録済みのマークを地図の中心に合わせて「ナビ」をタッチすると、「マーク登録」は「マーク編集」に切り替わり、マークの編集ができます。

ちょっと一言

マークは最大2,000件まで登録できます。

「全ルート」

現在のルートを確認できます。ルートガイド中のみ表示されます。

「標高グラフ」をタッチすると、全ルートの標高グラフを表示します。(自転車モードのみ)(75ページ)

🔊 (音量)

🔊 / 🔊 で音量を調整できます。

調整後、音量調整表示は自動的に消えますが、

🔊 をタッチして消すこともできます。

ビデオまたは音楽を起動している場合は、これらの音量も調整できます。



自転車モード

こんなことができます

平均速度や移動距離などの情報を表示したり、自動車用の道路情報とサイクリングロードの情報をもとに自転車用のルートを設定できます。ルート探索をすると、標高グラフを表示できます。

本機を自転車に取り付ける場合は、必ず専用の自転車用クレドルNVA-BU2(別売)をお使いください。

ご注意

- ・建物の中や地下の駐車場などでは、GPS衛星を受信できないため、現在地は表示されません。
- ・車でナビゲーションを使用する場合は、ナビモードを自動車モードに切り替えてください。
- ・自転車モードでは、「省電力モード(画面オフ)」が「スタミナ(画面オン)」になっています。そのため、一定時間操作をしないと画面が暗くなります。「省電力モード(画面オフ)」の設定は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[システム設定]→[省電力モード(画面オフ)]→[自転車](88ページ)で変更できます。


自転車モードを開始する

お使いになる前に満充電にしてください。自転車モードを開始するには、電源が供給されているクレドルから“nav-u”本体を取り外す必要があります。

1 ツールバーの「ナビ」をタッチする。


2 「ナビモード切替」をタッチする。


3 「自転車」をタッチする。

自転車モードに切り替わり、現在地のアイコンがに変更されます。



GPSの受信状況により、現在地のアイコンが変更されます。

:GPSを受信し、現在地を表示している場合

:GPSを受信できておらず、現在地を正しく表示していない場合

ちょっと一言

- ・ナビモードは、メニューボタン→[設定]タブ→「ナビモード切替」からも変更できます。
- ・車でのルートガイド中に自転車モードを開始すると、残りのルートを自転車モード用に切り替えることができます。

ご注意

- ・自転車モードでご使用になる場合には、必ず専用の自転車用クレドルNVA-BU2(別売)をお使いください。
- ・運転中は、本機を操作したり、画面を注視したりしないでください。操作は安全な場所に停車して行ってください。
- ・自転車モード用のルートは、自転車では通行できない場合や、遠回りの場合があります。実際の道路状況や交通規制標識、道路表示などに従って運転してください。
- ・安全のため運転中はヘッドホンを使用しないでください。
- ・落下防止のため、必ずハンドストラップを自転車のハンドルバーに取り付けてください。
- ・GPSを受信しにくい場合は、以下のことを行ってください。
 - “nav-u”本体上面を手で覆ったり金属に近づけないでください。

ー周りに高い建物や木などが無い場所に移動し、GPSを受信するまでその場でお待ちください。

画面表示を切り替えるには

画面表示を情報表示やコンパス画面に切り替えることができます。詳しくは、「[表示切替]」(70ページ)をご覧ください。

ルートを探索する

- 1 **メニューボタンをタッチする。**
メニュー画面が表示されます。
- 2 **ナビゲーションメニューから探索方法を選び、ルートを探索する。**
該当する場所の地図が表示されます。
ちょっと一言
ルートの探索方法について詳しくは、「ナビゲーションのいろいろな操作」(49ページ)をご覧ください。
- 3 **目的地が表示されていることを確認し、「ここへ行く」をタッチする。**

ルート探索結果画面が表示されます。
一定時間操作がない場合は、画面が切り替わります。

ちょっと一言

ルート探索結果画面では、現在地から目的地までのルートを確認することができます。
ルート探索結果画面の表示設定は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[案内]→[案内前のルート確認] (92ページ) で変更できます。

ご注意

以下のような場合、ルート探索に時間がかかることがあります。

- ・入り組んだ細い道を含む場合
- ・目的地が極端に遠い場合

標高グラフについて

ルート探索を行ったときに、ルートの標高を表示します。

ルート探索結果画面または全ルート表示画面(73ページ)に表示される「標高グラフ」をタッチすると、画面下部にルート全体の標高を表示します。

地図の中心位置

緑色のバーをタッチしたまま横方向に移動させると、バーの地点が地図の中心になります。標高グラフ内をタッチしても、タッチした地点が地図の中心になります。

経由地

経由地を設定している場合に、経由地の黄色い旗とバーが表示されます。



/ : 標高グラフの距離方向の縮尺を変更します。

/ : 標高グラフを拡大したときの表示位置を移動します。

全表示 : 標高グラフ全体を表示します。

(戻る) : 前の画面に戻ります。

ルートガイド中に、画面下部に自転車位置付近の標高と勾配を表示します。

標高グラフ右上に、ルート上の自転車位置前方の勾配の程度(図2参照)、勾配(%)、その勾配の程度が続く距離を表示します。

例:図1は、勾配の程度が平(1%～-1%の勾配)が現在地から287m続くことを表しています。

図1
自転車位置



標高グラフ右上で表示されている勾配の程度が続く範囲を、勾配の程度を表すアイコンの表示色(図2参照)で表示します。

自転車位置前方の勾配の程度、勾配(%)、その勾配の程度が続く距離

図2 勾配の程度

▲ (赤)	上	10%～
▲ (オレンジ)		6%～10%
▲ (黄)		1%～6%
— (緑)	平	1%～-1%
▲ (薄青)	下	-1%～-6%
▲ (濃青)		-6%～-10%
▲ (紫)		-10%～

勾配について

勾配の程度は百分率で表示します。
例「2%」:水平に100m進んだとき2mの高低差を持つ上りの勾配。

ちょっと一言

- ・ガイドポイントが近づくと標高グラフが消え、ガイド画面に切り替わります。
- ・標高グラフをタッチすると、一時的に標高グラフが消えます。
- ・ルートガイド中に標高グラフを表示したくない場合は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[システム設定]→[標高グラフ表示(自転車モード)](89ページ)を「OFF」にします。

ご注意

標高や勾配は、実際と異なる場合があります。

自転車モードから他のモードに切り替える

- 1 ツールバーの「ナビ」をタッチする。
- 2 「ナビモード切替」をタッチする。
- 3 使いたいモードをタッチする。
ナビモードが切り替わります。

ちょっと一言

“nav-u”本体を電源が供給されているクレードルに取り付けると、ナビモードが自転車モードから自動車モードに切り替わります。

ご注意

直射日光などが原因で本機内部の温度が上昇したり、冬期の使用などで本機内部の温度が低下している場合、内蔵電池の劣化を防ぐために充電されないことがあります。自転車モードでご使用になるときは、地図画面の左上のアイコンで、内蔵電池の残量を確認してください。

徒歩モード

こんなことができます

車を降りた後、車の通れない場所でも現在地を表示できます。

徒歩モード専用の地図データがある地域では、徒歩に適したルートを設定できます。

ルートから外れた場合は、自動で新しいルートを再探索できます。

ご注意

- ・建物の中や地下の駐車場などでは、GPS衛星を受信できないため、現在地は表示されません。
- ・車でナビゲーションを使用する場合は、ナビモードを自動車モードに切り替えてください。
- ・徒歩モード中は以下の操作ができません。
 - －ルート編集
 - －ルート呼出
 - －ルートシミュレーション
 - －経由地の追加
- ・徒歩モードには、交差点拡大図などの運転サポート機能はありません。運転サポート機能について詳しくは、「ルートガイド中の運転サポート機能」(46ページ)をご覧ください。
- ・徒歩モードでは、「省電力モード(画面オフ)」が「スタミナ(画面オン)」になっています。そのため、一定時間操作をしないと画面が暗くなります。「省電力モード(画面オフ)」の設定は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[システム設定]→[省電力モード(画面オフ)]→[徒歩](88ページ)で変更できます。

徒歩モードを開始する

お使いになる前に満充電にしてください。

徒歩モードを開始するには、電源が供給されているクレードルから“nav-u”本体を取り外す必要があります。

1 ツールバーの「ナビ」をタッチする。

2 「ナビモード切替」をタッチする。

3 「徒歩」をタッチする。

徒歩モードに切り替わり、現在地のアイコンが👤に変更されます。



GPSの受信状況により、現在地のアイコンが変更されます。

👤:GPSを受信し、現在地を表示している場合

👤:GPSを受信できておらず、現在地を正しく表示していない場合

ちょっと一言

- ・ナビモードは、メニューボタン→[設定]タブ→[ナビモード切替]からも変更できます。
- ・車でのルートガイド中に徒歩モードを開始すると、残りのルートを徒歩モード用に切り替えることができます。

ご注意

- ・歩きながら本機を操作したり、画面を注視したりしないでください。操作は安全な場所で立ち止まって行ってください。
- ・安全のため歩行中はヘッドホンを使用しないでください。
- ・必ずハンドストラップをお使いください。
- ・GPSを受信しにくい場合は、以下のことを行ってください。
 - －“nav-u”本体が地面に垂直になるように持つてください。
 - －内蔵GPSアンテナに指や手がかからないように持つてください。
 - －周りに高い建物や木などが無い場所に移動し、GPSを受信するまでその場でお待ちください。

手動で地図の向きを変えるには

徒歩モード中、本機は電子コンパスにより方位を自動的に調整します。

手動で地図の向きを変える場合は、以下の手順で変更してください。

1 地図をタッチする。

タッチした位置が地図画面の中心になり、十字カーソルが表示されます。

2 (左回り)または (右回り)をタッチする。

地図の向きが変更されます。

ご注意

- 電子コンパスは自動的に調整されますが、徒歩モードにした直後や磁気を帯びたものに近づけた場合、調整画面が表示されることがあります。画面に従って、調整して下さい。
- 調整画面が消えるまでに時間がかかる場合や、調整画面が消えても方位が正しくない場合は、近くに磁気を帯びたものがある可能性があります。場所を変えてお試しください。
- 以下のような場合、方位が正しく表示されないことがあります。
 - 磁気を帯びたものや鉄製のものの近く
 - 車やビルの近くや鉄橋の上など
 - 電車の架線や送電線などの近く
 - 電子機器の近く
 - 磁気を帯びたアクセサリを身に着けている場合

画面表示を切り替えるには

画面表示を情報表示やコンパス画面に切り替えることができます。詳しくは、「表示切替」(70ページ)をご覧ください。

タッチパネルの操作を無効にするには (画面ロック)

本機をバッグなどに入れたときに誤作動しないように、タッチパネルの操作を無効にすることができます。

1 ツールバーの「ナビ」をタッチする。

2 「画面ロック」をタッチする。

タッチパネルの操作が無効になります。

ちょっと一言

画面ロックを解除するには、タッチパネルの左側にある現在地ボタンを長押ししてください。

ルートを探索する

1 メニューボタンをタッチする。

メニュー画面が表示されます。

2 ナビゲーションメニューから目的地を探す。

該当する場所の地図が表示されます。

ちょっと一言

ルートの探索方法について詳しくは、「ナビゲーションのいろいろな操作」(49ページ)をご覧ください。

3 目的地が表示されていることを確認し、「ここへ行く」をタッチする。

ルート探索結果画面が表示されます。







一定時間操作がない場合は、画面が切り替わります。

ちょっと一言

ルート探索結果画面では、現在地から目的地までのルートを確認したり、探索条件を変更することができます。



ルート探索結果画面の表示設定は、メニューボタン→「設定」タブ→「設定」→「案内」→「案内前のルート確認」(92ページ)で変更できます。

ご注意

- 以下のような場合、ルート探索に時間がかかることがあります。
 - 入り組んだ細い道を含む場合
 - 目的地が極端に遠い場合
- 徒歩モード用のルートは、徒歩では通行できない場合や、遠回りの場合があります。また、目的地までの距離が10 km以上の場合は、車用のルート(距離優先)が探索されます。実際の道路状況や交通規制標識、道路表示などに従って充分注意して歩行してください。
- 徒歩モードのルートガイド中は、ルート上に以下のアイコンが表示されます。エレベーター、エスカレーター、階段などは、上り下りを表す矢印がアイコン上に表示されます。
 - : 横断歩道
 - : エレベーター
 - : エスカレーター
 - : 踏み切り
 - : スロープ
 - : 階段

地図の表示方法を切り替えるには

ルートガイド中に以下の項目を選べると、地図の表示方法を切り替えることができます。

- : 現在地と目的地を常に表示(ルートの一部が画面の外に出る場合があります)
- : 現在地を中心にした表示

徒歩モードから他のモードに切り替える

- 1 ツールバーの「ナビ」をタッチする。**
- 2 「ナビモード切替」をタッチする。**
- 3 使いたいモードをタッチする。**
ナビモードが切り替わります。

ちょっと一言

- ナビモードは、メニューボタン→[設定] タブ→「ナビモード切替」からも変更できます。
- “nav-u”本体を電源が供給されているクレードルに取り付けると、ナビモードが徒歩モードから自動車モードに切り替わります。

ご注意

- 徒歩モードではマップマッチングを使用しないため、車で使うときに比べて現在地のずれが大きくなったり、地図の向きが変わることがあります。マップマッチングについて詳しくは、「マップマッチングとは」(118ページ)をご覧ください。
- 直射日光などが原因で本機内部の温度が上昇したり、冬期の使用などで本機内部の温度が低下している場合、内蔵電池の劣化を防ぐために充電されないことがあります。徒歩モードでご使用になるときは、地図画面の左上のアイコンで、内蔵電池の残量を確認してください。

アウトドア地図

こんなことができます

- ・国土地理院の2万5千分の1地形図を表示します。
- ・現在地を表示します。
- ・目的地を設定すると、目的地の方向と直線距離が表示されます。
- ・アウトドア地図では等高線が表示されるため、地形を把握しやすくなります。

ちょっと一言

本機には、サンプルとして数か所のアウトドア地図があらかじめ格納されています。アウトドア地図のサンプルを見るには、アウトドア地図を表示した状態で地図の縮尺を広域にします。

ご注意

ルート探索、ルートガイド、マップマッチングはできません。

アウトドア地図を使う

アウトドア地図は、事前に地図データを“メモリースティックデュオ”（別売）に転送して“nav-u”に挿入して使います。地図データをホームページからダウンロードして、“メモリースティックデュオ”にドラッグ&ドロップで保存してください。

アウトドア地図をダウンロードする

アウトドア地図のダウンロードやアウトドア地図の使いかたについて詳しくは、“nav-u”関連のサポートページをご覧ください。

<http://www.sony.jp/support/nav-u/>

アウトドア地図を表示する

- 1 ツールバーの「表示切替」をタッチする。
- 2 「アウトドア地図」をタッチする。



GPSの受信状況により、現在地のアイコンが変更されます。

- 📍：（赤色）GPSを受信し、現在地を表示している場合
- 📍：（オレンジ）GPSを受信していないが、現在地を推測して表示している場合（高架下やトンネル内など）
- 💡：（グレー）GPSを受信できておらず、現在地を正しく表示していない場合

ちょっと一言

- ・地図表示は2Dマップで常に北が上で固定です。
- ・地図の縮尺の詳細表示は200mまでです。

アウトドア地図を終了する

- 1 ツールバーの「表示切替」をタッチする。
- 2 「地図」をタッチする。

編集・設定をする

各種の編集・設定をする(編集・設定メニュー)	82
------------------------------	----

各種の編集・設定をする(編集・設定メニュー)

編集・設定メニューを表示するには

- 1 メニューボタンをタッチする。
- 2 [設定]タブをタッチする。
選べない項目はグレー表示されます。

「ルートの編集」

新規にルートを作成したり、保存されたルート呼び出したりすることができます。

項目	設定
「現在ルート編集」	「地点並べ替え」 地点の順番を並べ替えます。 「前へ移動」:選んだ地点を1つ前に移動します。 「後へ移動」:選んだ地点を1つ後に移動します。 順番を並べ替えた後に「設定完了」をタッチします。
	「地点変更」 選んだ地点を別の場所に変更します。 場所の検索は次の検索方法から選べます。 「最寄」、「住所」、「名称」、「ジャンル」、「電話番号」、 「マーク」、「履歴」、「お気に入り」、「自宅」、「地図から」、 「ガイドブック」、「郵便番号」、「緯度経度」
	「地点削除」 選んだ地点をルートから削除します。
	「追加」 現在地と目的地の間の「追加」をタッチすると、経由地が追加できます(最大10か所)。目的地の下「追加」をタッチすると、目的地を新たに設定できません(現在の目的地は経由地になります)。 経由地／目的地は次の検索方法から選べます。 「最寄」、「住所」、「名称」、「ジャンル」、「電話番号」、「マーク」、「履歴」、 「お気に入り」、「自宅」、「地図から」、「ガイドブック」、「郵便番号」、 「緯度経度」

「現在ルート編集」 (つづき)	「区間ごとの条件変更」	各地点間のルート探索条件を下記に変更できます。	
		<ul style="list-style-type: none">・自動車モード 「推奨ルート1」: シンプルでわかりやすいルートを探します。 「推奨ルート2」: 距離や時間を重視したルートを探します。 「一般道優先」: 一般道を優先したルートを探します。 「有料道優先」: 有料道を優先したルートを探します。 「一般道距離優先」: 一般道で距離を優先したルートを探します。 「距離優先」: 距離を優先したルートを探します。・自転車モード 「おすすめ」: 走行頻度を考慮し、距離を優先したルートを探します。 「サイクリングロード」: サイクリングロードを優先したルートを探します。 「楽ラク」: 上り坂を避ける道路を優先してルートを探します。 「トレーニング」: 上り坂を優先してルートを探します。 「大通り」: 幹線道路や道幅の広い道路を優先したルートを探します。 「裏通り」: 幹線道路を避ける道路を優先してルートを探します。 「いつもと違う道」: 走行頻度が低い道路を優先したルートを探します。 「距離」: 距離を優先したルートを探します。	
	「オプション」	「地点自動並べ替え」	出発地から直線距離で一番近い地点を次の経由地にし、その経由地から直線距離で一番近い地点を次の経由地にするように、経由地や目的地を並べ替えます。
		「日時指定」	出発日時または到着日時を指定します。
		「日時指定クリア」	指定した日時をクリアします。
	「探索開始」	ルート探索を始めます。ルート探索が終わると、総距離、予想所要時間、有料道路料金などが表示されます。「ガイド開始」をタッチすると、ルートガイドが始まります。「ルート保存」をタッチすると、ルートを保存することができます(最大8件)。	
「新規ルート作成」	ルート編集画面になります。現在地をタッチすると、出発地を変更できます。現在地の右下の「追加」をタッチすると、経由地や目的地を設定できます。 出発地、経由地や目的地は次の方法から選べます。 「最寄」、「住所」、「名称」、「ジャンル」、「電話番号」、「マーク」、「履歴」、「お気に入り」、「自宅」、「地図から」、「ガイドブック」、「郵便番号」、「緯度経度」		
「保存ルート呼出」	過去にルート探索して保存したルートを呼び出します。呼び出したいルートが表示されていないときは、▲または▼をタッチします。 呼び出したいルートをタッチすると、次の操作が選べます。		
	「ガイド開始」	ルートガイドを始めます。	
	「ルート名称変更」	ルート名称を変更します。	
	「ルート編集」	ルート編集画面になります。	
	「ルート消去」	ルートを消去します。	
「現在ルート消去」	現在設定されているルートが消去されます。		

ちょっと一言

出発地点を変更するには、地図画面下段のツールバーの「ナビ」→「ガイド終了」をタッチしてルートガイドを終了させてから、「ルート編集画面の一番上に表示されている地点(📍)」→「地点変更」をタッチしてください。

ご注意

- ・有料道路料金は現在地や設定した場所(目的地／経由地)によって、正しく表示されない場合があります。
- ・出発地を有料道路路上に設定した場合は、有料道路料金は計算できません。
- ・有料道路料金は、実際と異なることがあります。

「マークの編集」



● マークを編集する

マークの名称や属するグループを変更したり、マークを削除したりすることができます。

項目	設定		
「マーク編集」 (グループを選択)	(マークを選択)	名称	マークの名称を変更し、「確定」します。
		よみ	マークの読みを入力し、「確定」します。
		グループ	マークを入りたいグループを選びます。「新規作成」をタッチすると、新しいグループを作ることができます。
		登録日時	登録した日時を表示します。登録日時は変更できません。
		マークアイコン	地図上に表示するアイコンを設定します。設定したいマークをタッチします。「施設アイコン」をタッチすると、表示されたジャンルからマークアイコンを選べます。
	「サウンド設定」	「サウンド機能」	「ON」: マークした場所に近づくとき音を鳴らします。 「OFF」: 音を鳴らしません。
		「サウンド種類」	サウンド機能が「ON」のときに鳴らす音を選ぶことができます。
		「再生開始距離」	どのくらい近づくとき音を鳴らすか指定できます。
	「マーク削除」	現在表示しているマークを削除します。確認画面が表示されるので、「はい」をタッチします。	
	「よみ順」	マークを「よみ順」(50音順)か「登録日時順」で並べ替えます。よみ順で表示させるには、マークに「よみ」を入力する必要があります。	
	「移動」	(マークを選択)	移動したいマークを選びます。選んだマークにはチェックマークが表示されます。
		「全選択」	すべてのマークが選ばれ、すべてにチェックマークが表示されます。
		「クリア」	マークの選択をすべて解除します。
		「移動」	選んだマークを移動します。移動先のグループを選び、「はい」をタッチします。
			「新規作成」 グループ名称を入力すると、新しいグループが追加されます。移動する場合は改めて移動させてください。
	「削除」	(マークを選択)	削除したいマークを選びます。選んだマークにはチェックマークが表示されます。
		「全選択」	すべてのマークが選ばれ、すべてにチェックマークが表示されます。
		「クリア」	マークの選択をすべて解除します。
		「削除」	選んだマークを削除します。確認画面が表示されるので、「はい」をタッチします。

● グループを編集する

グループの名称やグループの表示順を変更したり、グループを削除したりすることができます。

項目		設定
「マーク編集」	「グループ並べ替え」	「上に移動」 選んだグループの表示位置を1つ上に移動します。  をタッチすると移動の内容が反映されます。
		「下に移動」 選んだグループの表示位置を1つ下に移動します。  をタッチすると移動の内容が反映されます。
	「グループ新規作成」	グループ名称を入力すると、新しいグループが追加されます。
	「グループ名称変更」	変更したいグループをタッチし、グループ名称を変更します。
	「グループ削除」	削除したいグループをタッチします。確認画面が表示されるので、「はい」をタッチします。

● その他

“メモリースティックデュオ”（別売）を利用して、すべてのマーク情報のバックアップ／リストアや、個別のマーク情報のエクスポート／インポートができます。


項目	設定
「バックアップ」	すべてのマーク情報を“メモリースティックデュオ”にバックアップします。
「リストア」	バックアップしたマーク情報を復帰させます。
「エクスポート」	個別のマーク情報を“メモリースティックデュオ”に保存します。
「インポート」	個別のマーク情報を“メモリースティックデュオ”から読み込みます。

ちょっと一言

最大2,000件のマークを“メモリースティックデュオ”に保存するときは、約1.2 MBの空き容量が必要です。

「施設アイコン」

ドライブの目印になるように、ガソリンスタンドやコンビニ、遊園地などの施設を地図上にアイコンで表示できます。アイコン表示したい施設／店舗を選んで、チェックを入れます。

 をタッチするとチェックの内容が反映されます。

ちょっと一言

- ・表示したい施設を選び、その中の施設／アイコンをすべて選ぶと、施設アイコンのリストに明るい色のチェックマークが表示されます。施設／アイコンをいくつかだけ選んでいる場合は、施設アイコンのリストに暗い色のチェックマークが表示されます。
- ・地図の縮尺が25 m ～ 300 m の場合、施設アイコンを表示できます。

「自宅／お気に入り編集」

よく行く場所を「お気に入り」に登録しておくと、簡単に行き先を設定することができます。

お気に入り地点の登録は、次の方法から選べます。

「最寄」、「住所」、「名称」、「ジャンル」、「電話番号」、「マーク」、「履歴」、「自宅」、「地図から」、「現在地」、「ガイドブック」、「郵便番号」、「緯度経度」

登録された「お気に入り」を選ぶと、「地点変更」、「地点削除」、「名称変更」を行うことができます。

また、「自宅」を選ぶと、自宅の「地点変更」、「地点削除」を行うことができます。

ちょっと一言


現在地が表示されているときは、ジェスチャー操作で簡単に「自宅」、「★1」(お気に入り1)、「★2」(お気に入り2)へのルートガイドを開始できます。ジェスチャー操作について詳しくは、「ジェスチャー操作一覧」(145ページ)をご覧ください。

「ナビモード切替」

「自動車」、「自転車」(74ページ)、「徒歩」(77ページ)をタッチして、ナビモードを切り替えます。

● システム設定

項目	設定	
「音量」	「操作音」	「大」、「中」、「小」、「OFF」から選べます。
	「ガイド音声」	「大」、「中」、「小」、「OFF」から選べます。
「画面」	「明るさ調整」	「昼夜切替」 「自動」:画面の明るさを自動で「昼」、「夜」に切り替えます。 「昼固定」:画面の明るさを「昼」で固定します。 「夜固定」:画面の明るさを「夜」で固定します。
		「手動調整」 「昼」、「夜」それぞれの画面の明るさを設定できます。 ・自動車モード時に設定した明るさは、自動車モード用に保存されます。 ・自転車モード、徒歩モードも同様に個別に設定できます。
	「タッチパネル調整」	画面のタッチのすれを調整できます。タッチした位置と反応する位置が大きくなりすぎたときは、画面に従ってタッチパネルの調整を行ってください。
「テーマ切替 (メニュー)」	メニュー画面のデザインを切り替えます。	
「サウンドテーマ 切替」	サウンドのテーマを切り替えます。	
「車種設定」	本機を搭載する車種を「自動二輪」*、「軽自動車」、「普通車」、「中型車」、「大型車」、「特大型」から設定します。車種を設定するとルート探索で有料道路を通るルートが選ばれたとき、その車種に応じた料金が表示されます。 「自動二輪」を選べば、自動車モードのときの自転車マークが二輪車用になります。 * 「自動二輪」の料金は、「軽自動車」と同じ料金を表示します。	
「省電力モード (画面オフ)」	「自動車」	内蔵電池の消費量を抑えるために、画面表示の設定を変更することができます。「ノーマル」以外を選べば、操作していないときに自動的に画面を調節して内蔵電池の消費量を抑えます。
	「自転車」	
	「徒歩」	「スーパースタミナ」:操作していないときに画面を消します*。ルートガイド時に案内ポイントに近づくと、音や音声のみで案内します。 「スタミナ(画面オン)」:操作していないときに画面のバックライトを最も暗い状態にします*。明るい屋外では表示を見ることができます。ルートガイド時に案内ポイントに近づくと、音や音声のみで案内します。 「スタミナ(画面オフ自動ガイド)」:操作していないときに画面を消します*。ルートガイド時に案内ポイントに近づくと、画面を表示して案内します。 「ノーマル」:常に画面を表示します。 * 画面をタッチすると、しばらくの間画面表示されます。
		ちょっと一言 徒歩モード中に画面ロックしている場合は、現在地をタッチすると、しばらくの間画面表示されます。
	「画面オン時間」	画面が消えるまでの時間を「10秒」、「20秒」、「30秒」、「1分」から選べます。

項目	設定
「自動スタンバイ (30分)」	<p>操作をしていないときに自動的に電源を切る(スタンバイ)かどうかを設定できます。</p> <p>「ON」:「省電力モード(画面オフ)」で「ノーマル」以外を選んでいる場合、30分間自転車位置の移動や操作がないと、自動でスタンバイ状態になります。ただし、以下のいずれかの場合は自動的にスタンバイ状態にはなりません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源が供給されているクレードルに取り付けられている場合 ・音楽が再生されている場合 ・ビデオが再生されている場合 ・アプリケーションの「写真」を起動している場合 <p>「OFF」:自動でスタンバイ状態にはなりません。</p>
「ツールバーを隠す (地図)」	<p>「OFF」:ツールバーを表示したままにします。</p> <p>「ON(表示なし)」:一定時間何も操作しない場合にツールバーを自動で隠します。</p> <p>「ON(住所/道路名称を表示)」:一定時間何も操作しない場合にツールバーを自動で隠し、住所と道路名称を表示します。</p>
「標高グラフ表示 (自転車モード)」	<p>「ON」:自転車モードのときに、標高グラフを表示します。</p> <p>「OFF」:表示しません。</p>
「住所表示(スク ロール時)」	<p>「ON」:地図画面の中心に表示される十字カーソルの位置に住所を表示します。</p> <p>「OFF」:表示しません。</p>
「入力文字の自動確 定」	<p>「速い」:携帯キーのときに、入力した文字が自動で確定するまでの時間を速くします。</p> <p>「標準」:携帯キーのときに、入力した文字が自動で確定するまでの時間を標準にします。</p> <p>「遅い」:携帯キーのときに、入力した文字が自動で確定するまでの時間を遅くします。</p> <p>「OFF」:携帯キーのときに、入力した文字を自動で確定しません。確定するにはカーソルを移動させるか、違う行の文字を入力します。</p> <p>「入力文字の自動確定」を「OFF」以外に設定すると、携帯キーのときに1文字入力するごとに自動でカーソルが右に移動します。同じ行(例えば「あ」行)の文字を続けて入力するときに、カーソルの移動が不要になり便利です。</p>
「ルートシミュレ ーション」	<p>画面上で自転車マークを走行させることで、設定したルートを確認できます。</p> <p>出発地や経由地、目的地は、メニューボタン→[設定]タブ→[ルートの編集](82ページ)で変更してください。</p> <p>シミュレーション中は、移動速度が「--- km/h」と表示されます。高度は「--- m」で表示されます。</p> <p>シミュレーションを中止したい場合は、メニューボタンまたはツールバーの「シミュレーション終了」をタッチしてください。</p> <p>次の音声案内の手前までシミュレーションをスキップしたい場合は、ツールバーの  をタッチしてください。</p>
「デモンストレー ション」	<p>「オートデモスタート」 「ON」:一定時間何もしない場合にデモンストレーションを表示します。しばらく走行すると自動的に「OFF」に変わります。</p> <p>「OFF」:表示しません。</p>
	<p>「デモ開始」 デモンストレーションを開始します。</p>
「自宅登録」	<p>自宅を登録します。自宅は次の方法から選べます。</p> <p>「最寄」、「住所」、「名称」、「ジャンル」、「電話番号」、「マーク」、「履歴」、「お気に入り」、「地図から」、「現在地」、「ガイドブック」、「郵便番号」、「緯度経度」</p>

項目	設定
「M.S.フォーマット」	本機に挿入された“メモリースティックデュオ”を初期化します。 初期化すると、“メモリースティックデュオ”内のデータはすべて消去されます。 初期化中に“メモリースティックデュオ”を抜くと故障やデータの破壊の原因となります。
「システム初期化」	自宅やマーク、システム設定などをすべてお買い上げ時の状態に戻します。 システム初期化後は自動的に再起動し、品川付近の地図を表示します。(6ページ)
「機器情報」	本機の状態を表示します。
「測位情報」	GPSの受信状況、現在地の緯度、経度などの測位情報が表示されます。
「GPS受信確認」	「メッセージ」:GPSの受信状況をアイコンとメッセージで地図画面に表示します。 「アイコン」:GPSの受信状況をアイコンで地図画面に表示します。
「GPSログ設定」	<div> <div>「GPSログ機能」</div> <div> <p>「NMEA形式」:本機に挿入された“メモリースティックデュオ”に、運転中のGPSログ(走行地点の位置情報や時刻など)をNMEA形式で定期的に保存します。GPSログと関連付けた写真ファイル、走行の軌跡などを、インターネットの地図サービスに表示させる場合、PetaMapに表示させる場合などに使用します。</p> <p>「KML形式」:本機に挿入された“メモリースティックデュオ”に、運転中のGPSログをKML形式で定期的に保存します。地理情報をKMLブラウザ上に表示させる場合に使用します。</p> <p>「OFF」:GPSログを保存しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 最大12時間まで同一ファイルに記録できます。 I/のボタンで電源を切ったあと2時間以内に電源を入れると、続けて同一ファイルに記録されます。2時間を越えると別ファイルになります。 ナビモードを切り替えると別ファイルになります。 <p>“メモリースティックデュオ”を“nav-u”から抜くときのご注意</p> <p>“nav-u”本体から“メモリースティックデュオ”を抜く場合は、本体の電源を切るか「GPSログ機能」を「OFF」にしてください。</p> </div> </div>
	<div> <div>「GPSログ全消去」</div> <div>“メモリースティックデュオ”に保存されているGPSログをすべて消去します。</div> </div>
「カロリー計算設定」	消費カロリーを計算するために体重を設定します。
「積算距離初期化」	自動車モード、自転車モード、徒歩モードの積算距離を初期化します。 初期化したいモードを選ぶと、チェックマークが表示されます。「初期化」をタッチすると、チェックマークの付いたモードの積算距離を初期化することができます。
「平均速度の停止時間考慮」	「含める」:平均速度の計算に停車時間を含めます。 「含めない」:平均速度の計算に停車時間を含めません。 各ナビモードで個別に設定できます。
「バージョン情報」	ファームウェアや地図データのバージョンを表示します。
「自転車位置変更」	GPSの受信が完了するまでの間、現在地を任意の場所に変更できます。

ちょっと一言

地図画面上の現在時刻はGPS衛星からの電波を受信すると、正しい時刻に自動で調整されます。手動では時刻調整できません。GPSの受信について詳しくは、「現在地表示について」(118ページ)をご覧ください。

● 案内

項目	設定
「探索条件」	<p>自動車用ルートの探索条件を設定します。</p> <p>「推奨ルート1」: シンプルでわかりやすいルートを探します。</p> <p>「推奨ルート2」: 距離や時間を重視したルートを探します。</p> <p>「有料道優先」: 有料道を優先したルートを探します。</p> <p>「一般道優先」: 一般道を優先したルートを探します。</p> <p>「一般道距離優先」: 一般道で距離を優先したルートを探します。</p> <p>「距離優先」: 距離を優先したルートを探します。</p>
「自転車ルート探索条件」	<p>自転車用ルートの探索条件を設定します。</p> <p>「おすすめ」: 走行頻度を考慮し、距離を優先したルートを探します。</p> <p>「サイクリングロード」: サイクリングロードを優先したルートを探します。</p> <p>「楽ラク」: 上り坂を避ける道路を優先してルートを探します。</p> <p>「トレーニング」: 上り坂を優先してルートを探します。</p> <p>「大通り」: 幹線道路や道幅の広い道路を優先したルートを探します。</p> <p>「裏通り」: 幹線道路を避ける道路を優先してルートを探します。</p> <p>「いつもと違う道」: 走行頻度が低い道路を優先したルートを探します。</p> <p>「距離」: 距離を優先したルートを探します。</p>
「徒歩ルート探索条件」	<p>徒歩用ルートの探索条件を設定します。</p> <p>「おまかせ」: 標準的なルートを探します。</p> <p>「屋根を優先」: 地下街やアーケードなどの屋根が多いルートを探します。</p> <p>「楽な道を優先」: 階段、歩道橋などの昇降が少ないルートを探します。</p>
「音声案内」	<p>「ON」: ガイド開始音とガイド音声で案内します。</p> <p>「OFF」: ガイド開始音で案内します。</p>
「スマートIC考慮探索」	<p>「ON」: ルートの探索条件にスマートインターチェンジ(ETC搭載車専用のインターチェンジ)を加えます。</p> <p>「OFF」: ルートの探索条件にスマートインターチェンジを加えません。</p> <p>設定を変更すると、自動的にルートを再探索します。</p>
「季節規制考慮」	<p>「ON」: 季節規制を考慮したルート探索や案内をします。</p> <p>「OFF」: 季節規制を考慮しません。</p>
「フェリー考慮」	<p>「ON」: ルートの探索条件にフェリー航路を加えます。</p> <p>「OFF」: ルートの探索条件にフェリー航路を加えません。</p>

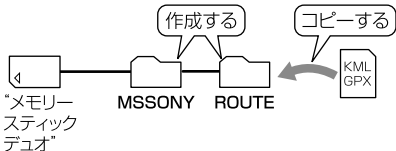
「注意案内」	「合流」	「ON」:案内します。 「OFF」:案内しません。
	「踏切」	「ON」:案内します。 「OFF」:案内しません。
	「右折／左折専用車線」	「ON」:案内します。 「OFF」:案内しません。
	「事故多発地点」	「ON」:案内します。 「OFF」:案内しません。
	「注意地点」	「ON」:お客様が制限速度を守って安全運転できるように、本体に格納されている自動速度違反取締装置(オービス)などの注意地点情報を案内します。 「OFF」:案内しません。
「交差点拡大図」	「ON(固定)」:表示します。交差点拡大図の縮尺は変化しません。	
	「ON(ステップ)」:表示します。交差点拡大図の縮尺が2段階に変化します。	
	「OFF」:表示しません。	
「方面看板表示」	「ON」:表示します。 「OFF」:表示しません。	
「リアル交差点ガイド表示」	「ON」:表示します。 「OFF」:表示しません。	
「都市高速入口案内表示」	「ON」:表示します。 「OFF」:表示しません。	
「案内前のルート確認」	「自動」:現在地から目的地までのルートを確認する画面を表示しますが、一定時間操作がない場合は自動的に画面が切り替わります。 「ON」:ルート探索の後に、確認画面を表示します。画面を切り替えるには、「ガイド開始」をタッチします。 「OFF」:ルート探索の後に、確認画面を表示せず、画面が切り替わります。	
「ハイウェイマップ表示」	「ON」:表示します。 「OFF」:表示しません。	

ちょっと一言

地図に格納されている季節規制の情報は、過去の情報に基づいています。

● 地図表示

項目	設定
「地図カラー」	「昼」、「夜」それぞれの地図カラーを設定できます。
「昼夜カラー自動切替」	「ON」: 地図カラーを時刻によって「昼」、「夜」に自動で切り替えます。 「OFF」: 地図カラーを「昼」で固定します。
「2D/3Dマップ切替」	2Dマップと3Dマップを切り替えます。
「プリセットスケール」	ジェスチャー操作で使用する2種類の縮尺を設定できます。
「ズームスクロール」	「ON」: ズームアウトしながらスクロールします。 「OFF」: 縮尺を固定したままスクロールします。
「道路幅」	地図上の道路幅を「太」、「標準」から選べます。
「アイコンサイズ」	地図上のアイコンサイズを「大」、「中」、「小」から選べます。
「文字サイズ」	地図上の文字サイズを「大」、「中」、「小」から選べます。
「地図記号」	「ON」: 学校、公園などの地図記号を表示します。 「OFF」: 表示しません。
「立体ランドマーク」	「ON」: 立体ランドマークを表示します。 「OFF」: 表示しません。
「信号」	「ON」: 信号を表示します。 「OFF」: 表示しません。
「一方通行」	「ON」: 一方通行を表示します。 「OFF」: 表示しません。
「マーク」	「ON」: マークを表示します。 「OFF」: 表示しません。
「移動速度と高度」	地図画面に表示される移動速度と高度を設定します。コンパス画面には反映されません。 「すべて表示」: 移動速度と高度を表示します。 「移動速度のみ」: 移動速度のみ表示します。 「高度のみ」: 高度のみ表示します。 「OFF」: 表示しません。
「走行軌跡」	「ON」: 走行軌跡を表示します。 「OFF」: 表示しません。
「走行軌跡の消去」	走行軌跡をすべて消去します。
「市街詳細地図の表示」	市街詳細地図に切り替えるスケールを選びます。スケールは次の中から選べます。 「25 m」、「50 m」、「100 m」、「OFF」
「ルートカラー」	ルートガイドのルートの色を変更します。

「自動縮尺変更」	<p>「ON」:高速道路に入ると、前回高速道路を走行したときの地図の縮尺に自動的に変更します。</p> <p>「OFF」:変更しません。</p>
「ルートインポート」	<p>「インポート」:パソコンで作ったルートを読み込んで地図画面に表示します。インポートするには事前にルートデータを「メモリースティックデュオ」に保存し、本機に挿入する必要があります。対応しているフォーマットは、KML形式とGPX形式です。</p>  <p>「ルートの削除」:読みこんだルートを削除することができます。</p> <p>ご注意</p> <p>インポートできるルートはひとつのみです。新しいルートをインポートすると、既存のルートは上書きされます。</p>

● 交通情報

「渋滞予測探索」	<p>「ON」:ルート探索に渋滞予測情報を利用します。</p> <p>「OFF」:利用しません。</p>
----------	--

アプリケーション機能を楽しむ

ガイドブックを見る	96
音楽を聞く	98
ビデオを見る	102
写真を見る	106

ガイドブックを見る

こんなことができます

ドライブに役立つ情報をまとめたガイドブックを閲覧したり、目的地として設定できます。本機にあらかじめ収録されているガイドブックの他、「PetaMap」のホームページからダウンロードして、「nav-u」本体や「メモリースティックデュオ」(別売)に保存したガイドブックも利用できます。

ちょっと一言

- ・トラベル、グルメ、レジャーなどドライブに役立つ情報をまとめたものをガイドブックといいます。ガイドブックに収録されている場所をスポットといいます。
- ・本機で利用できる「メモリースティック」について詳しくは、「メモリースティックデュオ」について(125ページ)をご覧ください。
- ・「PetaMap」について詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
<http://petamap.jp/>

スポット詳細画面

スポットセレクト画面でお好みのスポットを選ぶと下記のような画面が表示されます。



- ① スポット名、スポット画像、各種情報、紹介文が表示されます。
各項目をタッチすると全画面表示します。
- ② スポット周辺の地図を表示します。
- ③ 前ページのスポット詳細情報を表示します。
- ④ 現在のページ／総ページ数が表示されます。
- ⑤ 次ページのスポット詳細情報を表示します。
- ⑥ スポットセレクト画面に戻ります。

ちょっと一言

- ・スポットが複数ある場合には、画面下部の操作ボタンでページを切り替えることができます。
- ・スポット名、スポット画像、各種情報、紹介文をタッチすると、各画面を全画面表示できます。全画面表示をしている場合には、以下の操作ができます。
 - **A≠A**: 文字サイズを「大」、「中」、「小」に変更
 - **◀▶**: ページの切り替え
 - **⏮⏭**: 全画面表示を終了
- ・ジェスチャー操作で簡単にページ送りができます。ジェスチャー操作について詳しくは、「ジェスチャー操作一覧」(145ページ)をご覧ください。

ガイドブックを表示する

- 1 メニューボタンをタッチする。
- 2 [アプリ]タブをタッチする。
- 3 「ガイドブック」をタッチする。
- 4 画面に従ってガイドブックをタッチする。

ちょっと一言

- エリアが表示された場合は、閲覧したいエリアをタッチしてください。
- ガイドブックを並べ替えるには「名前順」、「ジャンル順」、「更新日時順」をタッチしてください。並べ替えの対象は、アイコン+ブック名で表示されるブックのみです。
- ガイドブックの参照先を切り替えるには「本体」、「MS.」、「本体+MS.」をタッチしてください。

- 5 スポットセレクト画面のスポットリストから、閲覧したいスポットをタッチする。

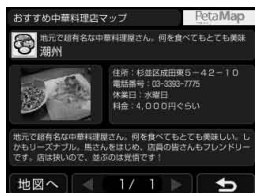
スポット詳細画面が表示されます。

ちょっと一言

スポットを並べ替えるには「名前順」、「ジャンル順」、「最寄順」をタッチしてください。

スポットを目的地に設定するには

- 1 スポット詳細画面で「地図へ」をタッチする。



- 2 「ここへ行く」をタッチする。

ルート探索結果画面が表示されます。
一定時間操作がない場合は、画面が切り替わります。

スポットをアイコン表示するには

ドライブの目印になるように、スポットを地図上にアイコンで表示できます(最大1,000件)。

- 1 メニューボタンをタッチする。
- 2 [アプリ]タブをタッチする。
- 3 「ガイドブック」をタッチする。
- 4 ブックセレクト画面で「地図表示」をタッチする。
- 5 表示したいスポットを含むガイドブックをタッチする。

ちょっと一言

ガイドブックは最大10件まで選べます。

ご注意

地図上に表示できるスポットのアイコンは最大1,000件です。1,000件を超える場合、ガイドブックの選択件数が10件未満でも、ガイドブックを選べません。

- 6 現在地ボタンをタッチする。

スポットが地図上にアイコン表示されます。

ちょっと一言

地図画面上のアイコンをタッチすると、タッチした地点が地図の中央に移動し、スポットの名称と「詳細情報」が表示されます。「詳細情報」をタッチすると、スポット詳細画面が表示されます。

ちょっと一言

- nav-uツール(PC アプリケーション)を使用してガイドブックを転送することができます。
nav-uツールは下記のサポートページからダウンロードし、インストールしてください。
<http://www.sony.jp/support/nav-u/>
- PSP®専用ソフトウェア「みんなのナビ」または「みんなの地図3」、「みんなの地図2」、「みんなの地図2地域版」シリーズ、「ニッポンのあそこで」で使用している“メモリースティックデュオ”を、そのまま本機で使用できます。
- ジェスチャー操作で簡単にページ送りができます。
ジェスチャー操作について詳しくは、「ジェスチャー操作一覧」(145ページ)をご覧ください。

音楽を聞く

こんなことができます

“メモリースティックデュオ” (別売)にMP3形式、WAV形式、AAC形式*、ATRAC形式*、WMA形式*の音楽ファイルを転送すると、本機で音楽を聞くことができます。

再生できる音楽ファイルの形式について詳しくは、「再生できる音楽ファイル」(99ページ)をご覧ください。

* 著作権保護されているファイルは再生できません。

ちょっと一言

本機で使える“メモリースティック”について詳しくは、「“メモリースティックデュオ”について」(125ページ)をご覧ください。

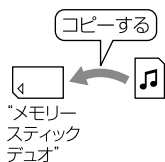
ご注意

音楽ファイルを“nav-u”本体に直接転送しても、再生できません。

音楽ファイルを転送する

“メモリースティックデュオ”へ音楽ファイルを転送するには、Windowsのエクスプローラーで音楽ファイルをドラッグ&ドロップします。
以下の手順で転送してください。

- 1 “nav-u”本体に“メモリースティックデュオ”を挿入する。
- 2 付属のUSBケーブルで“nav-u”本体をパソコンに接続する。
パソコンに「nav-uシステム(初期化・直接削除等しないこと)」と「リムーバブルディスク」(“メモリースティックデュオ”)が認識されます。
- 3 パソコンの「マイ コンピュータ」を開く。
- 4 「リムーバブルディスク」を開く。
- 5 音楽ファイルをコピーする。



再生できる音楽ファイル

- ・ 本機では、以下の音楽ファイルを再生できます。
 - MP3形式
 - 拡張子: mp3
 - サンプリング周波数: 32/44.1/48 kHz
 - ビットレート: 32 kbps ~ 320 kbps、可変ビットレート (VBR) 対応
 - ATRAC形式
 - 拡張子: oma
 - サンプリング周波数: 44.1 kHz
 - ビットレート: 48 kbps ~ 352 kbps (66、105、132 kbpsはATRAC3)
 - 非暗号化ファイルのみ

- ATRAC Advanced Lossless形式
 - 拡張子: oma
 - サンプリング周波数: 44.1 kHz
 - ビットレート: 64 kbps ~ 352 kbps (132 kbpsはATRAC3 base layer)
 - 非暗号化ファイルのみ
- WMA形式
 - 拡張子: wma
 - サンプリング周波数: 44.1 kHz
 - ビットレート: 32 kbps ~ 192 kbps、可変ビットレート (VBR) 対応
- リニアPCM形式
 - 拡張子: wav
 - サンプリング周波数: 44.1 kHz
 - ビットレート: 1,411 kbps
- AAC形式
 - 拡張子: m4a、3gp
 - サンプリング周波数: 8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48 kHz
 - ビットレート: 16 kbps ~ 320 kbps、可変ビットレート (VBR) 対応
- HE-AAC形式
 - 拡張子: m4a、3gp
 - サンプリング周波数: 24 kHz
 - ビットレート: 32 kbps ~ 144 kbps、可変ビットレート (VBR) 対応

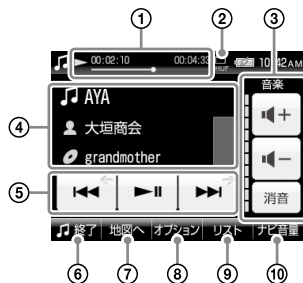
ちょっと一言

- ・ 音楽ファイルをジャンルなどで分類したい場合は、「リムーバブルディスク」の中にフォルダーを作成し、その中に分類したい音楽ファイルを転送してください。
- ・ 1フォルダーあたり400ファイルまで転送できます。

ご注意

すべてのエンコーダーには対応していません。

音楽再生画面



- ① 曲の再生状況(経過時間、再生の進行度、総再生時間)が表示されます。
- ② 音楽再生の設定(リピート、シャッフル)が表示されます。
- ③ 音量を調整します。
- ④ 再生中の曲の情報(曲名、アーティスト名、アルバム名、曲順、ジャケット写真)が表示されます。
- ⑤ : 再生中の曲を頭出し再生します。
再生時間が3秒未満の場合、前の曲を頭出し再生します。
: 再生を始めます。再生中にタッチすると一時停止します。
: 次の曲を頭出し再生します。
- ⑥ 音楽機能を終了します。
- ⑦ 音楽再生画面／地図画面を切り替えます。
- ⑧ リピート、シャッフルの設定や曲の詳細情報を表示します。
- ⑨ リストを表示します。
- ⑩ ルートガイドの音量を調整します。

ちょっと一言

ジェスチャー操作で簡単に曲の頭出しなどができます。ジェスチャー操作について詳しくは、「ジェスチャー操作一覧」(145ページ)をご覧ください。

音楽を再生する

“メモリースティックデュオ”に保存されている音楽ファイルを再生します。
曲の再生中に音楽機能を終了していた場合、前回中断した箇所から再生を開始します。

- 1 “nav-u”本体に“メモリースティックデュオ”を挿入する。
- 2 メニューボタンをタッチする。
- 3 [アプリ]タブをタッチする。
- 4 「音楽」をタッチする。
音楽再生画面が表示され、音楽ファイルが再生されます。

曲を選んで再生するには

- 1 音楽再生画面で「リスト」をタッチする。
リスト画面が表示されます。
▶ 再生中(一時停止中)の音楽
▶ フォルダー

ちょっと一言

- ・ 音楽ファイルを並べ替えるには、「オプション」→「並べ替え」から、「ファイル名順」、「日時(古い順)」、「日時(新しい順)」、「タイトル(A→Z)」、「タイトル(Z→A)」をタッチしてください。
- ・ 表示形式を切り替えるには、「オプション」→「一覧表示形式」→「リスト」、「縮小表示」または「縮小表示付リスト」をタッチしてください。

- 2 再生したいフォルダー名、または曲名(ファイル名)をタッチする。

音楽再生中にナビゲーションを使うには

- 1 音楽を再生する。
- 2 現在地ボタンをタッチする。

音楽を再生したまま地図画面が表示されます。



終了 をタッチすると音楽の再生を停止します。

ちょっと一言

- 再生画面から地図表示に切り替えるには、「地図へ」をタッチします。地図画面から再生画面に切り替えるには、「表示切替」→「再生画面」をタッチします。
- 音楽** をタッチすると音楽再生を再開します。


ご注意

- 音楽ファイルは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- ヘッドホンジャックにヘッドホンをつなぐと、「nav-u」本体のスピーカーから音は出ません。

設定を変更する(オプションメニュー)

オプションメニューを表示すると、音楽再生の設定を変更したり、音楽ファイルの詳細情報を表示します。

- 1 音楽再生画面で「オプション」をタッチする。
オプションメニューが表示されます。

項目	設定
「リピート」*	「ALL」: “メモリースティックデューオ”にあるすべての曲を繰り返し再生します。  : 再生中のフォルダーにあるすべての曲を繰り返し再生します。 「1」: 再生中の曲を繰り返し再生します。
「シャッフル」	「SHUF」: 再生範囲のすべての曲を順不同に再生します。 表示なし: 再生範囲のすべての曲を順に繰り返し再生します。
「詳細情報」	再生中の曲の詳細情報を表示します。

* 最大3,000曲まで可能です。

ビデオを見る

こんなことができます

“メモリースティックデュオ”（別売）または“メモリースティックPROデュオ”（別売）にビデオファイルを転送すると、本機でビデオを見ることができます。

ソニー製のブルーレイディスクレコーダーやVAIOの「Giga Pocket Digital」で録画したビデオファイルを転送する場合は、“メモリースティックPROデュオ”をお使いください。

再生できるビデオファイルの形式について詳しくは、「再生できるビデオファイル」(102ページ)をご覧ください。

ちょっと一言

- ・ブルーレイディスクレコーダーから“メモリースティックPROデュオ”へ転送したビデオファイルを再生できます（おでかけ転送）。「おでかけ転送」について詳しくは、お使いのブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- ・本機で利用できる“メモリースティック”について詳しくは、「メモリースティックデュオ」について」(125ページ)をご覧ください。

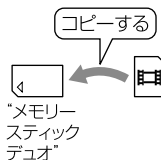
ご注意

ビデオファイルを“nav-u”本体に直接転送しても、再生できません。

ビデオファイルを転送する

“メモリースティックデュオ”へビデオファイルを転送するには、Windowsのエクスプローラーでビデオファイルをドラッグ&ドロップします。以下の手順で転送してください。

- 1 “nav-u”本体に“メモリースティックデュオ”を挿入する。
- 2 付属のUSBケーブルで“nav-u”本体をパソコンに接続する。
パソコンに「nav-uシステム（初期化・直接削除等しないこと）」と「リムーバブルディスク」（“メモリースティックデュオ”）が認識されます。
- 3 パソコンの「マイ コンピュータ」を開く。
- 4 「リムーバブルディスク」を開く。
- 5 ビデオファイルをコピーする。



再生できるビデオファイル

- ・本機では、以下のビデオファイルを再生できます。
 - 最大画サイズ（共通）：QVGA（320×240）
 - お出かけ転送
 - 拡張子：mgv、mp4
 - ワンセグビデオ（録画機：NV-U77VT/U77V/U76VT/U76V/U75V、PSP）
 - 拡張子：ets
 - AVC Baseline Level 3形式
 - 拡張子：mp4、m4v
 - 最大ビットレート：10 Mbps
 - MPEG4 Simple Profile形式
 - 拡張子：mp4、m4v
 - 最大ビットレート：平均4 Mbps（ピーク時 6 Mbps）

- VC1 Simple Profile/Main Profile形式
- 拡張子:wmv
- 最大ビットレート:平均3 Mbps(ピーク時6 Mbps)

ちょっと一言

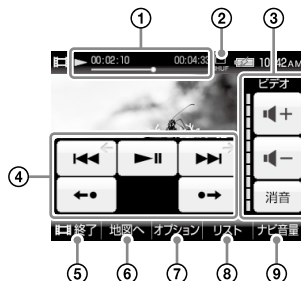
- ・ビデオファイルをタイトルなどで分類したい場合は、「リムーバブルディスク」の中にフォルダーを作成し、その中に分類したいビデオファイルを転送してください。
- ・1フォルダーあたり999ファイルまで転送できます。

ご注意

すべてのエンコーダーには対応していません。

ビデオ再生画面

操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチしてください。



- ① ビデオの再生状況(早見再生、経過時間、再生の進行度、総再生時間)が表示されます。
- ② ビデオ再生の設定(リピートなど)が表示されます。
- ③ 音量を調整します。
- ④ : 再生中のビデオを頭出し再生します。再生時間が3秒未満の場合、前のビデオを頭出し再生します。
: 再生を始めます。再生中にタッチすると一時停止します。
: 次のビデオを頭出し再生します。
: 7秒前に戻って再生します。
: 13秒先にスキップして再生します。
- ⑤ ビデオ機能を終了します。
- ⑥ ビデオ再生画面／地図画面を切り替えます。
- ⑦ 早見再生、リピートなどの設定やビデオの詳細情報を表示します。
- ⑧ リストを表示します。
- ⑨ ルートガイドの音量を調整します。

ちょっと一言

- 画面上下の表示や操作ボタンは、一定時間操作しないと自動的に消えます。再度表示する場合は、画面をタッチしてください。
- ジェスチャー操作で簡単にビデオ機能の操作ができます。ジェスチャー操作について詳しくは、「ジェスチャー操作一覧」(145ページ)をご覧ください。

ビデオを再生する

「メモリースティックデュオ」に保存されているビデオファイルを再生します。

ビデオファイルの再生中にビデオ機能を終了していた場合、前回中断した箇所から再生を開始します。

1 「nav-u」本体に「メモリースティックデュオ」を挿入する。

2 メニューボタンをタッチする。

3 [アプリ]タブをタッチする。

4 「ビデオ」をタッチする。

ビデオ再生画面が表示されます。

ビデオを選んで再生するには

1 ビデオ再生画面で「リスト」をタッチする。

リスト画面が表示されます。

- ▶ 再生中(■一時停止中)のビデオ
- 📁 フォルダー

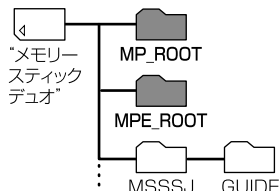
ちょっと一言

- ビデオファイルを並べ替えるには、「オプション」→「並べ替え」から、「ファイル名順」、「日時(古い順)」、「日時(新しい順)」、「タイトル(A→Z)」、「タイトル(Z→A)」をタッチしてください。
- 表示形式を切り替えるには、「オプション」→「一覧表示形式」→「リスト」、「縮小表示」または「縮小表示付リスト」をタッチしてください。

2 再生したいフォルダー名、またはタイトル名(ファイル名)をタッチする。

ちょっと一言

- おでかけ転送や、ワンセグ録画したビデオファイルは以下のフォルダーに保存されています。



- 「MP_ROOT」フォルダー: アナログおでかけ転送したビデオファイル
- 「MPE_ROOT」フォルダー: デジタルお出かけ転送したビデオファイル、ワンセグ録画したビデオファイル
- ジェスチャー操作で簡単にビデオファイルの頭出しなどができます。ジェスチャー操作について詳しくは、「ジェスチャー操作一覧」(145ページ)をご覧ください。

ご注意


- 走行中は音声のみ再生されます。映像は表示されません。
- ビデオファイルによっては、コマ落ちなどが発生する可能性があります。
- ヘッドホンジャックにヘッドホンをつなぐと、「nav-u」本体のスピーカーから音は出ません。

ビデオファイルを削除する

- 1 “nav-u”本体に“メモリースティック デュオ”を挿入する。
- 2 メニューボタンをタッチする。
- 3 [アプリ]タブをタッチする。
- 4 「ビデオ」をタッチする。
ビデオ再生画面が表示されます。
- 5 ビデオ再生画面をタッチする。
操作ボタンが表示されます。
- 6 「オプション」をタッチする。
オプションメニューが表示されます。
- 7 「削除」をタッチする。
- 8 「OK」をタッチする。
ビデオファイルが削除されます。

設定を変更する(オプションメニュー)

- 1 ビデオ再生画面で「オプション」をタッチする。
オプションメニューが表示されます。

項目	設定
「設定」	「画面サイズ」 「ノーマル」*:アスペクト比を保ち画面サイズに合わせて表示します。 「フル」*:アスペクト比を保ち上下または左右をカットして、画面いっぱいに表示します。 「オリジナル」:元の画像サイズのまま表示します。
	「字幕表示設定(ワンセグビデオ)」 字幕の表示を「OFF」、「字幕1」、「字幕2」から選べます。
	「二重音声(ワンセグビデオ)」 音声を「主音声」、「副音声」、「主+副音声」から選べます。
	「音声信号(ワンセグビデオ)」 音声信号を「第1音声」、「第2音声」から選べます。
「詳細情報」	ビデオファイルの詳細情報を表示します。
「削除」	選んだビデオファイルを“メモリースティックデュオ”から削除します。
「リピート」	「ALL」:“メモリースティックデュオ”にあるすべてのビデオを繰り返し再生します。  :再生中のフォルダーにあるすべてのビデオを繰り返し再生します。 「1」:再生中のビデオを繰り返し再生します。
「シャッフル」	「SHUF」:再生範囲のすべてのビデオを順不同に再生します。 表示なし:再生範囲のすべてのビデオを順に再生します。
「早見再生」*2	「×1.25」:1.25倍速で再生します。 「×1.5」:1.5倍速で再生します。 表示なし:通常で再生します。

*1 ビデオファイルによっては本機の負荷が大きくなる
ことがあります。このような場合、画面サイズが自
動的に「オリジナル」に切り替わります。

*2 ビットレートが高いビデオファイルでは早見再生で
きない場合があります。

写真を見る

こんなことができます

ソニー製のデジタルカメラでお使いの“メモリー
スティックデュオ”（別売）を“nav-u”本体に挿入
すると、“メモリースティックデュオ”に保存さ
れている写真を見ることができます。

また、“メモリースティックデュオ”に「DCIM」
フォルダーを作成し、パソコンに保存されてい
るJPEG形式の写真ファイルを「DCIM」フォル
ダーへ転送しても、“nav-u”本体で写真を見る
ことができます。

再生できる写真ファイルの形式について詳しく
は、「再生できる写真ファイル」(107ページ)を
ご覧ください。

ちょっと一言

本機で利用できる“メモリースティック”について詳し
くは、「“メモリースティックデュオ”について」(125
ページ)をご覧ください。

ご注意

写真ファイルを“nav-u”本体に直接転送しても、再生
できません。

パソコンの写真ファイルを転送するには

“メモリースティックデュオ”へ写真ファイルを
転送するには、Windowsのエクスプローラーで
写真ファイルをドラッグ&ドロップします。
以下の手順で転送してください。

- 1 “nav-u”本体に“メモリースティック
デュオ”を挿入する。

2 付属のUSBケーブルで“nav-u”本体をパソコンに接続する。

パソコンに「nav-uシステム(初期化・直接削除等しないこと)」と「リムーバブルディスク」(“メモリースティックデュオ”)が認識されます。

3 パソコンの「マイ コンピュータ」を開く。

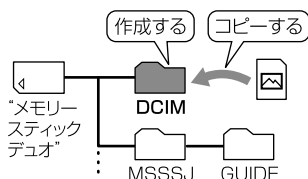
4 「リムーバブルディスク」を開く。

5 「DCIM」という名前のフォルダーを作成する。

ご注意

- ・「DCIM」は半角で入力してください。
- ・「DCIM」以外の名前では、本機は写真ファイルとして認識しません。

6 「DCIM」フォルダーに写真ファイルをコピーする。



再生できる写真ファイル

本機では、以下の写真ファイルを再生できます。

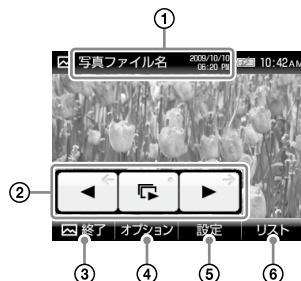
JPEG形式*

- 拡張子: JPG、JPEG
- 画素数: 最大1,360万画素

* ディレクトリー番号やファイル番号が重複している場合など、写真ファイルを表示できないことがあります。

写真表示画面

操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチしてください。



① 写真ファイル名、撮影日(年／月／日)、撮影時刻が表示されます。

② ◀: 1つ前の写真を表示します。

▶: 現在のフォルダーにある写真でスライドショーを始めます。

▶: 次の写真を表示します。

③ 写真機能を終了します。

④ 写真を右回転／左回転します。

⑤ スライドショーの設定や写真を並べ替えます。

⑥ リストを表示します。


ちょっと一言

- ・ 画面上下の表示や操作ボタンは、一定時間操作しないと自動的に消えます。再度表示する場合は、画面をタッチしてください。
- ・ ジェスチャー操作で簡単にスライドショーの再生などができます。ジェスチャー操作について詳しくは、「ジェスチャー操作一覧」(145ページ)をご覧ください。

写真を見る

- 1 “nav-u”本体に“メモリースティック デュオ”を挿入する。
- 2 メニューボタンをタッチする。
- 3 [アプリ]タブをタッチする。
- 4 「写真」をタッチする。
写真または写真ファイル名が一覧表示されます。
- 5 表示したい写真をタッチする。
写真が表示されます。

スライドショーを始めるには

- 1 写真表示画面をタッチする。
操作ボタンが表示されます。
- 2  をタッチする。
スライドショーが開始されます。

ちょっと一言

- ・本機では、写真ファイルを最大1,000枚まで再生できます。
- ・以下の項目を選ぶと、写真ファイルの表示方法を切り替えることができます。
 - 「サムネイル」:縮小画像の一覧表示
 - 「リスト」:写真ファイル名の一覧表示
- ・ジェスチャー操作で簡単にスライドショーの再生などができます。ジェスチャー操作について詳しくは、「ジェスチャー操作一覧」(145ページ)をご覧ください。

設定を変更する(設定メニュー)

- 1 写真表示画面で「リスト」をタッチする。
- 2 「設定」をタッチする。
設定メニューが表示されます。

項目	設定
「スライドショーの 間隔」	スライドが移り変わる間隔を「短い」、「ふつう」、「長い」から選べます。
「スライドショー リピート」	スライドショーを繰り返し表示するかどうかを「ON」、「OFF」から選べます。
「並べ替え」	写真ファイルを「撮影日(昇順)」、「撮影日(降順)」、「ファイル名順」で並べ替えます。
「スライドショー 再生範囲」	「すべて」:「メモリースティックデュオ」にあるすべての写真を再生します。 「フォルダー」:再生中のフォルダーにあるすべての写真を再生します。

パソコンやブルーレイディスク レコーダーと接続して使う

パソコンと接続する	110
ブルーレイディスクレコーダーと接続する(おでかけ転送)	115

パソコンと接続する

こんなことができます

下記の“nav-u”のサポートページからダウンロードしたnav-uツール(PCアプリケーション)をインストールすると、マークの編集や“nav-u”本体のファームウェア更新などができます。

<http://www.sony.jp/support/nav-u/>

ご注意

“nav-u”のサポートページを見るには、パソコンをインターネットに接続できる環境と、プロバイダー契約が必要です。

ガイドブックを転送する

- ・ パソコンから“nav-u”本体や“メモリスティックデュオ”（別売）にガイドブックを転送する。
- ・ 転送したガイドブックを削除する。

マークを編集／転送する

- ・ “nav-u”本体で登録したマークをパソコンから編集する。
- ・ “nav-u”本体で登録したマークをパソコンに転送する。
- ・ パソコン上のマークをパソコンで編集する。
- ・ パソコンから“nav-u”本体にマークを転送する。

“nav-u”本体の地図データ／ガイドブックをバックアップ／リストアする

“nav-u”本体に地図データを転送する

ご注意

“メモリスティックPROデュオ”に地図データは転送できません。

“nav-u”本体のファームウェアやパソコンのnav-uツールを更新する

- ・ “nav-u”本体のファームウェアやパソコンのnav-uツールを自動でダウンロードし、更新する。
- ・ “nav-u”本体のファームウェアやパソコンのnav-uツールが最新かどうか手動で確認する。
- ・ “nav-u”本体のファームウェアやパソコンのnav-uツールを手動で更新する。

“nav-u”本体の地図データを更新する

ちょっと一言

- ・ 操作方法については、PCアプリケーションの「取扱説明書」(PDF)をご覧ください。
 - ・ ファームウェアや地図データの最新情報は、下記のホームページでご確認ください。
- <http://www.sony.co.jp/nav-u/>

ご注意

地図データなどを転送する場合は、必ずお使いの“nav-u”の機種に対応したデータを転送してください。対応していないデータは転送できません。

PCアプリケーションの「取扱説明書」(PDF)を読むには

PCアプリケーションの「取扱説明書」は、下記のサポートページからダウンロードしてください。

<http://www.sony.jp/support/nav-u/>

PDFを読むには、Adobe Readerが必要です。お使いのパソコンにAdobe Readerがインストールされていない場合は、アドビシステムズ社ホームページより最新のAdobe Readerを入手し、インストールしてください。

1 動作環境を確認する。

ホームページからダウンロードしたnav-uツール(PCアプリケーション)を使うには、以下のハードウェアが必要です。パソコンの取扱説明書をお読みのうえ、動作環境を確認してください。

nav-uツールの動作環境

パソコン	規格:IBM PC/AT互換機 - CPU:Pentium® IIIプロセッサ 800 MHz以上 - ハードディスク空き領域:300 MB以上(500 MB以上を推奨)* - メモリー:128 MB以上(256 MB以上を推奨) - USB端子
OS	Windows® XP Home Edition、 Windows® XP Professional(Service Pack 3適用済みに限る)、 Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、 Windows Vista® Business、Windows Vista® Ultimate(Service Pack 2適用済みに限る)、 Windows 7™ Home Premium、Windows 7™ Professional、Windows 7™ Ultimate
ディスプレイ	ハイカラー(16ビット)以上、800×600ドット以上
その他	インターネット接続環境 (nav-uツールのダウンロードや地図データ、ソフトウェアの最新情報を確認する場合に必要です。)

* 本機にあらかじめ収録されているデータをバックアップするには、8 GB以上のハードディスク空き領域が必要です。

以下のシステム環境での動作は保証しません。

- 上記の表に記載されている以外のOS
- NEC PC98シリーズとその互換機、またはMacintosh®など
- 自作パソコン
- 標準インストールされているOSから他のOSへのアップグレード環境
- マルチディスプレイ環境
- マルチブート環境
- 仮想マシン環境

ご注意

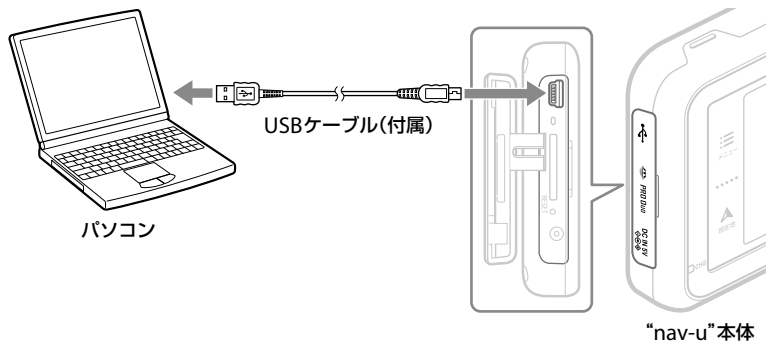
推奨環境のすべてのパソコンについて、動作を保証するものではありません。

2 ホームページからダウンロードしたnav-uツールを、パソコンにインストールする。

インストールの方法について詳しくは、下記のサポートページをご覧ください。

<http://www.sony.jp/support/nav-u/>

3 本機をパソコンにつなぐ。(113ページ)



1 USBケーブルで“nav-u”本体とパソコンを接続する。

パソコンのUSB端子の位置については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

2 “nav-u”本体の電源を入れる。

ちょっと一言

パソコンからUSBケーブル経由で“nav-u”本体に電源が供給されます。


ご注意

Windowsの設定によっては、“nav-u”本体のフラッシュメモリーに格納されているファイルが表示される場合があります。故障の原因となりますので、以下のことを行わないでください。

- “nav-u”本体のフラッシュメモリーに格納されているファイルの削除／移動、ファイル名の変更。
- “nav-u”本体のフラッシュメモリーにファイルを追加。

本機の電源を切るには

必ず以下の手順で操作してください。正しい手順で電源を切らないと、データが壊れる可能性があります。

1 タスクトレイの  (ハードウェアの安全な取り外し) をダブルクリックする。

2 [USB大容量記憶装置デバイス] をダブルクリックする。

3 [Sony PND nav-u USB Device] をクリックし、[OK] をクリックする。

本機をパソコンから安全に取りはずせる状態になり、パソコンの画面にメッセージが表示されます。

ちょっと一言

“nav-u” 本体のPC接続画面は接続中のままですが、パソコンの画面に取りはずし可能の表示が出れば、安全に取りはずせます。

4 “nav-u” 本体のI/O ボタンを押す。

電源が切れます。

ブルーレイディスクレコーダーと接続する (おでかけ転送)

こんなことができます

「おでかけ転送」に対応したソニー製ブルーレイディスクレコーダーから「メモリースティックPROデュオ」(別売)へ転送したビデオファイルを本機のビデオ機能で再生できます。
「おでかけ転送」について詳しくは、お使いのブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

本機と接続できる「おでかけ転送」対応ブルーレイディスクレコーダーの最新情報は、「nav-u」のサポートページ(下記URL)の「製品活用メニュー」の「他機器との接続情報」でご確認ください。

<http://www.sony.jp/support/nav-u/>

ブルーレイディスクレコーダーと本機を接続する

- 1 “nav-u”本体に“メモリースティックPROデュオ”を挿入する。
- 2 USBケーブルで“nav-u”本体とブルーレイディスクレコーダーを接続する。
ブルーレイディスクレコーダーのUSB端子の位置については、お使いのブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- 3 “nav-u”本体の電源を入れる。

ちょっと一言

ブルーレイディスクレコーダーからUSBケーブル経由で“nav-u”本体に電源が供給されます。

ご注意

- ・手順どおりに接続しないと、“nav-u”本体に挿入された“メモリースティックPROデュオ”がブルーレイディスクレコーダーに正しく認識されません。接続順を間違えた場合は、再度接続し直してください。
- ・“メモリースティックPROデュオ”以外の“メモリースティック”は「おでかけ転送」に対応していません。
- ・お使いのブルーレイディスクレコーダーによっては、おでかけ転送先の機器に「PSP」または「ウォークマン」と表示される場合があります。
「PSP」と表示されている場合、転送したビデオファイルを再生できません。おでかけ転送機器の設定を「ウォークマン」に変更してください。

その他

現在地表示について	118
地図について	120
アウトドア地図について	124
ガイドブックデータについて	124
“メモリースティックデュオ”について	125
商標と著作権について	127
使用上のご注意とお手入れ	128
廃棄時のお願い	129
主な仕様	131
保証書とアフターサービス	132

現在地表示について

現在地は、GPS衛星の電波の受信やマップマッチングの働きで測定されています。

GPSとは

Global Positioning System(全世界測位システムの意味)の略。GPS衛星は位置測定用電波を地上に放射しています。ナビゲーションシステムではこの電波を受信し、現在地を算出しています。カーナビゲーションシステムのGPS測位は場合によっては数十mから約200 mの誤差が生じることがあります。

受信状況を確認するには

GPSの受信状況は、メニューボタン→[設定]タブ→「設定」→「システム設定」→「測位情報」(90ページ)で確認できます。



GPSの受信状況(現在地の測定には、目安として黄色とオレンジの受信が合わせて4個以上必要です)

本機の自律航法について

現在地は、GPS衛星の電波の受信、マップマッチングの働きで測定されています。

高架下やトンネルなどでGPS衛星からの電波が途切れても、短時間であれば同じ速度で地図上の現在地を進め、表示することができます。

状況によっては、現在地がずれたり止まったりすることがありますが、GPS衛星が受信できる状態でしばらく走行すると、現在地が修正されます。

自律航法は、マップマッチング動作中のみ有効です。

マップマッチングとは

車や自転車で使用するとき、GPS衛星の電波で測位された現在地を地図データと照らし合わせることにより、地図上の現在地表示のずれを補正する機能です。

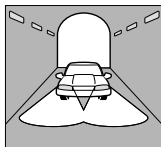
この機能は地図データにマップマッチングデータのある道路でのみ働きます。

徒歩モードで使用するときに、この機能は働きません。

現在地を測定しづらい場所について

以下のような場合、現在地が正しく表示されな
いことがあります。

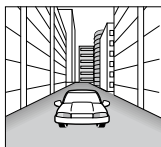
トンネルの中や地下



高架の下



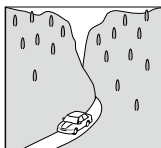
高層ビルの間



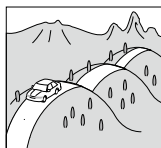
密集した樹木の間



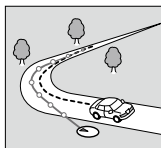
V字の谷



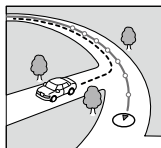
勾配の急な坂道



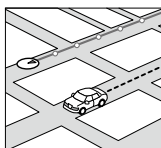
急なカーブ



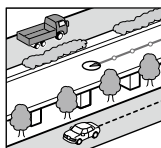
角度の小さなY字路



並行している道がある



有料道路と一般道路
が並行している



その他、以下のような場合も現在地が正しく表
示されない場合があります。

- 地図にない道路や駐車場を走行しているとき
- 電車で移動している場合
- 電源を切った状態で走行した場合
- 電源を入れてGPSを正しく受信できるまでの間
- クレードルからはずされた状態での使用
- “nav-u”本体の設置場所付近に他の電気製品がある場合
- 熱線防止ガラスなどによりGPSを正しく受信できない場合
- 建物の中
- ETC車載機器、携帯電話などの電波を放射する電子機器の近くに取り付けた場合

地図について

株式会社ゼンリンからお客様へのお願い

ソニー株式会社製「NV-U37」(「機器」)に格納されている地図データおよび検索データ(「本ソフトウェア」)の製作にあたって、毎年新しい情報を収集・調査していますが、膨大な情報の更新作業をおこなうため収録内容に誤りが発生する場合があります。情報の収集・調査時期によっては新しい情報の収録がなされていない場合など、収録内容が実際と異なる場合がありますので、ご了承ください。

安全上のご注意(交通事故防止等安全確保のために必ずお守りください)

本取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と物的損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

- 表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の「表示」で区分し、説明しています。



警告

「死亡または重傷を負うおそれがある内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の「図記号」で区分し、説明しています。



禁止

「してはいけない内容」を示しています。



指示

「しなければならない内容」を示しています。



警告



禁止

歩行者や運転者は、歩行中、走行中に操作をしたり、画面を注視したりしないでください。

他人や物にぶつかってケガをしたり、交通事故を招いたりするおそれがあります。



指示

歩行者や運転者は、安全な場所に停止してから操作してください。

他人や物にぶつかってケガをしたり、交通事故を招いたりするおそれがあります。



指示

常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して歩行、走行してください。

本ソフトウェアに収録されている地図データ、交通規制データ、経路探索結果、音声案内などが実際と異なる場合があります。その案内などに従った歩行、走行により、ケガをしたり、交通事故を招いたりするおそれがあります。



指示

一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。

一方通行表示は全ての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。



禁止

本ソフトウェアを救急施設などへの誘導用に使用しないでください。

本ソフトウェアにはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれていないわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。



指示

徒歩モードまたは自転車モードを使用して通行する場合は、常に周囲の実際の状況を確認し、実際の交通規制標識・標示等に従ってください。

探索されたルートの中に自動車専用道等が含まれる場合があり、誤って自動車専用道等を通行して交通事故を招くおそれがあります。




禁止

歩行者や運転者は、歩行中、走行中にヘッドホンを使用しないでください。

外部の音が聞こえにくくなること等により、他人や物にぶつかってケガをしたり、交通事故を招いたりするおそれがあります。

収録情報について

- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図、50万分の1地方図を使用しています。
〔【NV-U37】平20業使、第204－615号・平21業使、第757－156号）
- 本ソフトウェアに使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、MAPMASTERが作成したものを使用しています。

- この地図の作成にあたっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しています。（測量法第44条に基づく成果使用承認07-173）
- 渋滞予測は現況の渋滞情報を考慮したものではありません。過去の統計情報を基に渋滞を予測・回避したルートをご案内しています。
（予測データ提供元：NTTデータ、情報提供元：JARTIC/VICSセンター）
-  **vics**は財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
- 本ソフトウェアで表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。
- 道路データは、高速、有料道路についてはおおむね2010年4月、国道、都道府県道についてはおおむね2010年1月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。ご了承ください。
- 経路探索は、2万5千分の1地形図(国土地理院発行)の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難な場合がありますのでご注意ください。現場の状況を優先して運転してください。
- 電話番号検索データはタウンページをもとに作成しています。タウンページは、NTT東日本およびNTT西日本の商標です。
- 個人宅電話番号検索は、公開「電話番号」および公開電話番号登録者「名字」の入力で、地域に格差がありますが全国で地図検索が可能です。なお、検索された物件の一部では周辺までの表示になる場合があります。

- ・ VICSリンクデータベースの著作権は、(財)日本デジタル道路地図協会、(財)日本交通管理技術協会に帰属しております。なお、本ソフトウェアは、全国47都道府県のVICSレベル3対応データを収録しております。
- ・ この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料 H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。(承認番号 国地企調発第78号 平成16年4月23日)

本ソフトウェアの情報について

本ソフトウェアは、おおむね以下の年月までに収集された情報に基づいております。

- ・ 道路:2010年4月(高速・有料道路)／
2010年1月(国道・都道府県道)
- ・ 交通規制^{*1}:2010年3月
- ・ 住所検索:2010年3月
- ・ 施設電話番号検索:2010年3月
- ・ 個人宅電話番号検索:2010年2月
- ・ ジャンル検索:2010年2月
- ・ 高速・有料道路料金^{*2}:2010年3月
- ・ 詳細地図:2009年11月

^{*1} 交通規制は普通自動車に適用されるもののみです。

^{*2} 料金表示は、ETCを利用した各種割引などは考慮していません。また、2010年6月から始まった高速道路の無料化社会実験事業の情報には対応していません。

地図・検索データの内容についてのお問い合わせ先

株式会社ゼンリン カスタマーサポートセンター



0120-210-616

受付時間 10:00 ～ 17:00月～金(祝日・ゼンリン指定休日は除く)

※ 携帯・自動車電話・PHSからもご利用になれます。

※ IP電話等の一部電話機では、ご利用いただけない場合がございます。

2011年4月発行

© 2007 財団法人日本デジタル道路地図協会

© 2010 NIPPON TELEGRAPH AND
TELEPHONE EAST CORPORATION

© 2010 NIPPON TELEGRAPH AND
TELEPHONE WEST CORPORATION

© 2011 ALEX CO., LTD.

© 2011 ZENRIN CO., LTD.

© ジオ技術研究所

検索データについて

本機には、以下のデータが収録されています。

- ・ 「住所」検索:約3,500万件
- ・ 「電話番号」検索:約1,000万件
- ・ 「個人宅電話番号」検索:約2,000万件
- ・ 「名称」検索:約1,000万件
- ・ 「ジャンル」検索:約200万件
- ・ 「最寄」検索:約1,000万件

地図表示記号の例



立体ランドマークの例



高速情報アイコンの例



本ディスクの地図・検索データの内容に関するお問い合わせは、株式会社ゼンリンカスタマーサポートセンターへお願いします。

お問い合わせ先について詳しくは、裏表紙の「地図・検索データの内容についてのお問い合わせ先」をご確認ください。

アウトドア地図について

収録情報について

この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用しています。（【NV-U37】平22業復、第617号）

ガイドブックデータについて

本機に格納されているガイドブックデータについては、各提供元よりデータを入手し格納しています。各提供元は独自に情報を収集・調査していますが、収録内容に誤りが発生する場合や情報の収集・調査時期によっては新しい情報の収録がなされていない場合など、収録内容が実際と異なる場合がありますので、ご了承ください。

ガイドブックデータの情報について

本機に格納されているガイドブックデータは、おおむね以下の年月時点の情報に基づいております。

- BICYCLE NAVI:2010年10月
- グルメぴあ:2010年10月
- ぴあ こどもと遊ぼう 遊ぶ見る:2010年8月
- ぴあ こどもと遊ぼう 買う食事:2010年8月
- 全国立ち寄り温泉マップ:2009年11月
- 全国日帰り温泉マップ:2009年9月
- 道の駅マップ 全国版:2009年12月
- 地図で知る日本:2010年8月

“メモリースティックデュオ”について

“メモリースティック”とは？

“メモリースティック”は、小さくて大容量のIC記録メディアです。“メモリースティック”対応機器間でデータをやりとりするのにお使いいただけるだけでなく、着脱可能な外部記録メディアの1つとしてデータの保存にもお使いいただけます。

本機で対応している“メモリースティック”

本機では以下の“メモリースティック”が使用できます。

- ・“メモリースティックデュオ”（マジックゲート^{*1}非対応）
- ・“マジックゲート^{*1}メモリースティックデュオ”^{*2}
- ・“メモリースティックPROデュオ”

^{*1} “MagicGate”（マジックゲート）は、ソニーが開発した、著作権を保護する技術の総称です。

^{*2} マジックゲートによってコピーが禁止されているデータの書き込み／読み取りはできません。

本機では、32 GB以下の“メモリースティックデュオ”が使用可能です。

ただし、32 GB以下のすべての“メモリースティックデュオ”を保証するものではありません。

“メモリースティックPROデュオ”以外の“メモリースティック”は、おでかけ転送に対応していません。

“メモリースティックデュオ”に記録・再生できるファイルサイズは、1ファイルにつき4 GB未満です。

対応“メモリースティック”の最新情報は、下記のホームページでご確認ください。

<http://www.sony.jp/products/ms/compatible/carnavi.html>

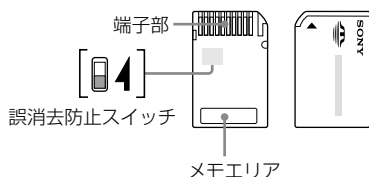
“メモリースティックデュオ”使用上のご注意

- ・本機は高速データ転送には対応していません。
- ・“メモリースティックデュオ”は、正しい挿入方向をご確認のうえご使用ください。間違ったご使用は機器の破損の原因となりますのでご注意ください。
- ・“メモリースティックデュオ”は、小さな子供の手が届く範囲に置かないでください。誤って飲み込むおそれがあります。
- ・読み込み中や書き込み中に“メモリースティックデュオ”を抜かないでください。
- ・以下の場合、データが破壊されることがあります。
 - 読み込み中や書き込み中に“メモリースティックデュオ”を抜いたり、電源を切ったり（スタンバイまたはシャットダウン）した場合。
 - 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使った場合。
- ・大切なデータは必ずバックアップを取っておくことをおすすめします。
- ・著作権の対象になっているデータの記録された“メモリースティックデュオ”は著作権法の規定による範囲内で使用する以外にご利用いただけませんので、ご注意ください。

フォーマット(初期化)についてのご注意

- すでにデータが書き込まれている“メモリースティック”メディアをフォーマットすると、そのデータは消去されてしまいます。**誤って大切なデータを消去することがないようにご注意ください。**
- “メモリースティックデュオ”は、標準フォーマットとして専用のFATフォーマットで出荷されています。
- フォーマット(初期化)が必要な場合は必ず、以下の手順でフォーマットを行ってください。
メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[システム設定]→[M.S.フォーマット](90ページ)
- Windows®エクスプローラーで初期化された“メモリースティック”を入れると、FORMAT ERRORになり、本機では使えません。



“メモリースティックデュオ”の取り扱いについて



- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所での使用や保存は避けてください。
 - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
 - 直射日光のあたる場所
 - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

- 誤消去防止スイッチのない“メモリースティックデュオ”を使用するときは、大切なデータを誤って編集／消去しないようにご注意ください。
- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録や編集、消去ができなくなります。
- 誤消去防止スイッチは、先の細いもので切り換えてください。
- メモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- 持ち運びや保管をするときは、付属の収納ケースに入れてください。

商標と著作権について

- ・“Memory Stick” (“メモリースティック”)、
“Memory Stick Duo”、“Memory Stick
PRO”、“Memory Stick PRO Duo”、
“MagicGate” (“マジックゲート”)、
MAGICGATE および  は、ソニー
株式会社の商標です。
- ・“nav-u”、**nav-u**、“POBox”および
 はソニー株式会社の登録商標です。
- ・**PetaMap** および “PetaMap” はソニーマーケ
ティング株式会社の登録商標です。
- ・ATRAC、ATRAC3、ATRAC3plus、ATRAC
Advanced Losslessおよびそれぞれのロゴは
ソニー株式会社の商標です。
- ・Microsoft、Windows、Windows Vistaおよ
びWindows 7は、米国Microsoft
Corporationの米国およびその他の国におけ
る登録商標または商標です。Windowsの正式
名称は、Microsoft Windows Operating
System です。
- ・Adobe、Adobe ロゴ、Readerは、Adobe
Systems Incorporated (アドビシステムズ社)
の米国ならびに他の国における商標または登録
商標です。
- ・Pentiumは、アメリカ合衆国およびその他の
国における Intel Corporation またはその子
会社の商標です。
- ・“ゼンリン”は株式会社ゼンリンの登録商標で
す。

<新ゴR>

本製品に搭載されているフォントプログラムは
株式会社モリサワより提供を受けており、この
フォントプログラムの書体名「新ゴR」は同社の
商標であり、そのフォントプログラムの著作権
は同社に帰属します。

<MPEG-4 Visual>

本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を
行っているMPEG-4 VISUAL PATENT
PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りラ
イセンスされています：

- (i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、
MPEG-4 Visual規格に合致したビデオ信号
(以下、MPEG 4 VIDEOといいます)にエン
コードすること。
- (ii) MPEG-4 VIDEO (消費者が個人的に非営利目
的でエンコードしたもの、若しくはMPEG
LAよりライセンスを取得したプロバイダー
がエンコードしたものに限られます)をデ
コードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされ
ていません。プロモーション、商業的に利用す
ることに関する詳細な情報につきましては、
MPEG LA, LLC.のホームページをご参照下さい。

<mp3>

"MPEG Layer-3 audio coding technology and
patents licensed from Fraunhofer IIS and Thomson."

<MPEG-4 Audio>

["Do Not Copy" Notice] Licensed Products may not
be decompiled, reverse-engineered, or copied,
except with regard to PC Software, End-Users may
make single copies for archival purposes.

使用上のご注意と お手入れ

本機の取り扱い

お手入れについて

本機のお手入れは必ず電源を切ってから行ってください。お手入れは以下の点に注意して行ってください。

- ・必ず本機の電源を切り、電源プラグまたはシガー電源コードを抜いてから行ってください。
- ・画面の汚れを拭きとるときは、市販のクリーニングクロスで軽く拭きとってください。
- ・“nav-u”本体やクレードルは、乾いた柔らかい布、または水をつけて硬く絞った布で軽く拭いてください。
- ・アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- ・液体状の洗剤などは使わないでください。“nav-u”本体の内部に入って故障の原因となります。
- ・化学ぞうきんを使うと、色落ちや変色することがあります。
- ・殺虫剤やヘアスプレーのような揮発性のものをかけたり、ゴム、ビニール製品、防虫剤などに長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

クレードルの吸盤について

吸盤の吸着面が汚れると、吸着力が低下します。吸着面が汚れた場合は、付属のスポンジを使って汚れを取り除いてください。

柔らかくて毛羽立たない布を水で湿らせ、なでるようにして汚れを取り除くこともできます。

液晶画面の輝点・減点について

画面の同じ場所に、青い点や赤い点などが現れることがあります。このような現象を輝点といいます。液晶画面の性質上発生するものです。本機の画面は非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。いずれの場合も使用上、支障はありません。

結露について

結露とは本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときなどに、本機の表面や内部に水滴が付くことで、そのまま使うと故障の原因となります。このような場合はリセットボタンを押してしばらく放置しておくで結露が取り除かれ、正常に戻ります。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合は、お買い上げ店やソニーの相談窓口(裏表紙)へご相談ください。

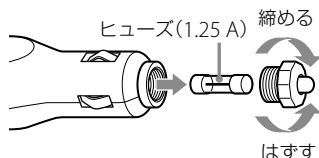
ETC車載機器、無線機、携帯電話、レーダー探知機などについて

本機は、ETC車載機器や無線機、携帯電話、レーダー探知機など強い電波を送信したり、受信したりする機器から離れた場所に取り付けてください。これらの機器の近くで本機を使うと、以下のようなことが起きる場合があります。

- ・本機が正常に動作しない。
- ・画像が乱れる。
- ・現在地を正しく表示できない。
- ・現在地の表示に時間がかかる。
- ・ETC車載機器や無線機、携帯電話、レーダー探知機などが正常に動作しない。

ヒューズの交換について

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズを使用してください。



廃棄時のお願い

電池廃棄時のお願い



リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池はリサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、下記の一般社団法人JBRCホームページを参照してください。

<http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html>

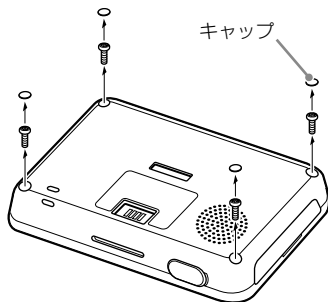
本機を廃棄するときは、下記の手順でリチウムイオン電池を取り出してください。リチウムイオン電池は、リサイクルできます。

ご注意

- ・ 廃棄時以外は本機を分解しないでください。
- ・ 廃棄時は、お住まいの自治体の分別方法に従い廃棄してください。

1 “nav-u”本体側面のカバーをはずし、リセットボタンを押して電源を切る。

2 “nav-u”本体背面の4つのキャップをはずし、ドライバーでネジ4本をはずします。

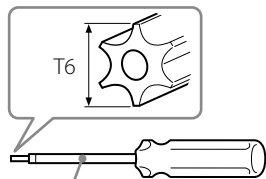


その他

次ページへつづく➡

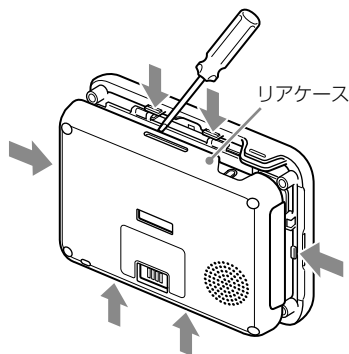
ご注意

ネジをはすすときは、T6サイズのヘキサロピュ
ラ穴用ドライバーをお使いください。

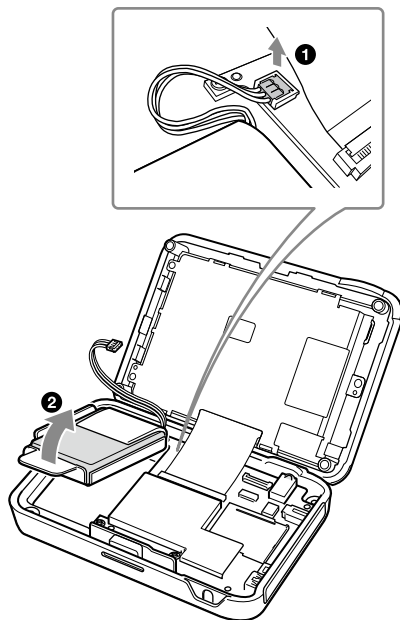


ヘキサロピュラ穴用ドライバー

3 マイナスドライバーなどでツメをはすし、リアケースをはすす。



4 電池を取り出す。



リチウムイオン電池についてのご注意

- 取り出した電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- 取り出した電池の、その他の注意事項については、「安全のために」(別紙)をご覧ください。
- 内蔵電池の端子をはすす場合、金属製のピンセットなどを使用しないでください。

主な仕様

“nav-u”本体

使用温度範囲	5℃～45℃
電源	DC 5V (付属のACアダプター接続時)
消費電流	最大0.8 A
接続端子	クレードル端子 DC IN 5V端子 USB端子 ヘッドホン端子
メモリーカードスロット	“メモリースティックデュオ” スロット(“メモリースティック PROデュオ”対応)
スピーカー 外形寸法	28 mm円型 約112×79×19.7 mm (幅×高さ×奥行き) (突起部含まず)
質量	約182 g

モニター

種類	液晶カラーモニター
画面の大きさ	3.5 V型 71.5×53.6、89 mm (幅×高さ、対角線)

クレードル

使用温度範囲	5℃～45℃
電源	DC 5V (付属のDC 12V/24Vカーバッ テリー(マイナスアース)用 シガー電源コード接続時)
消費電流	最大0.8 A (“nav-u”本体接続時)
接続端子	“nav-u”接続端子 DC IN 5V端子

内蔵電池充電時間／使用時間

充電時間	電源を入れた状態で約4時間 (付属のACアダプター、シガー 電源コード使用時) スタンバイ状態で約3.5時間 (付属のACアダプター、シガー 電源コード使用時)
使用時間*	・「スーパースタミナ」:約11時間 ・「スタミナ(画面オン)」:約9時間 ・「スタミナ(画面オフ自動ガイ ド)」:約9時間 ・「ノーマル」:約5時間

* 測定条件

- ・電池:お買い上げ後、満充電にした状態
- ・音量／画面の明るさ:お買い上げ時の設定
- ・温度:25℃
- ・ルートシミュレーション(擬似ルートガイド状態)で測定

ご注意

使用時間は使用状況により短くなる場合があります。

別売アクセサリ

カークレードルキット	NVA-CU10J
自転車用クレードル	NVA-BU2

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- ・保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書の「困ったときは」(134ページ)などをもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、または別紙の「ソニーご相談窓口のご案内」にある「ソニーの相談窓口」にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではナビゲーションシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。

困ったときは

困ったときは	134
エラーメッセージ	138

困ったときは

使用中にトラブルが発生したときは、ソニーの相談窓口にご相談になる前に、もう一度下記の流れに従ってチェックしてください。メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

・手順1:本書で調べる

この「困ったときは」をチェックし、該当する項目を調べる。また、「取付と接続」(別冊)にも、いろいろな情報があります。該当する項目を調べてください。

・手順2:“nav-u”関連の下記サポートページで調べる

最新サポート情報や「よくあるお問い合わせ(Q&A)」などを掲載しています。

<http://www.sony.jp/support/nav-u/>

・手順3:“nav-u”本体をリセットし、再度電源を入れ、症状が改善されたか確認する


ちょっと一言

本機をリセットしても自宅、お気に入り、マーク、編集・設定メニューでの設定項目は保持されます。最後に設定したルートは保存されません。

・手順4:それでもトラブルが解決しないときは

ソニーの相談窓口(裏表紙)またはお買い上げ店にご相談ください。

症状	原因および処置
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none">・シガー電源コード(付属)の接続を確認してください。・“nav-u”本体上面のI/Oボタンで電源を入れてください。・「取付と接続」(別冊)を参考に本機を正しく取り付けてください。・ACアダプター(付属)と電源コード(付属)を正しく接続してください。・リセットボタンを押してから、“nav-u”本体上面のI/Oボタンで電源を入れてください。・内蔵電池の残量が少ない。しばらく充電してください。
内蔵電池の充電ができない。	<ul style="list-style-type: none">・再度電源を入れるか、ACアダプター(付属)、シガー電源コード(付属)またはUSBケーブル(付属)を接続しなおして充電してください。充電中にシャットダウンで電源を切ったあとは充電できません。・内蔵のリチウムイオン電池の充電可能温度は5℃～45℃です。直射日光などが原因で本機内部の温度が上昇したり、冬期の使用などで本機内部の温度が低下している場合、内蔵電池の劣化を防ぐために充電しなくなることがあります。<ul style="list-style-type: none">－温度が上昇して充電できない場合、充電ランプが点灯しません。－温度が低下して充電できない場合、赤色の充電ランプが点灯しますが充電されていません。・USBケーブルを使用してパソコンで充電する場合は、パソコンの電源を入れた状態で接続してください。
“nav-u”本体の充電ランプが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none">・直射日光などが原因で本機内部の温度が上昇した場合、内蔵電池の劣化を防ぐために充電を中断することがあります。このとき、充電ランプは点灯しません。

症状	原因および処置
タッチパネルが正しく動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> 市販の液晶画面保護フィルムは使わないでください。 画面ロックが有効になっている。画面ロックを解除するには、タッチパネルの左側にある現在地ボタンを長押ししてください。
GPSが受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> 「現在地表示について」(118ページ)をご覧ください。 障がい物の影響でGPS衛星の電波が受信できない。見晴らしの良い場所に移動してください。 近くにETC車載機器やレーダー探知機などを設置している。強い電波を送信したり、受信したりする機器が取り付けられていると、GPS感度が悪くなったり、誤動作の原因となります。できるだけ離れた場所に取り付けてください。 屋内ではGPS衛星の電波が受信できない。見晴らしの良い屋外の場所に移動してください。 GPSの受信状態が弱い。メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→「システム設定」→「測位情報」(90ページ)でGPSの受信状況を確認してください。 車体の一部がGPSアンテナの受信を妨げている。取り付け位置を変更してください。 熱線防止ガラスの一部にはGPSの電波を通さないものがあります。
現在地がずれる。	<ul style="list-style-type: none"> GPS衛星からの電波の誤差が大きい。誤差は最大で数百m生じます。 GPS衛星からの電波が受信できない。「現在地表示について」(118ページ)をご覧ください。
ルートを正しく探索できない。	<ul style="list-style-type: none"> 出発地と目的地の位置関係や、交通規制情報などによっては、正しいルートが表示されなかったり、ルート探索できないことがあります。詳しくは、「正しいルートが見つからないときは」(45ページ)をご覧ください。 探索条件を設定しても、道路状況により条件に合わないルートをはひく場合があります。
ガイド音声聞こえない。	<ul style="list-style-type: none"> 音量が小さすぎる、または消音になっている。ツールバーの  をタッチして音量を調整してください。内蔵電池で操作している場合、音量はわずかに小さくなります。 「ガイド音声」が「OFF」になっている。(88ページ)
雑音が多く、音が悪い。	<ul style="list-style-type: none"> 近くでパソコンや携帯電話などの電気製品を使用している。携帯電話などを本機から離してください。
画面が正常に表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> 高温時は画面が暗くなったり、ぼやけたりします。低温時は表示が遅れることがあります。これらの症状は、本機が使用温度範囲に戻ると正常に戻ります。
画面が突然消える／暗くなる。	<ul style="list-style-type: none"> 「省電力モード(画面オフ)」の項目が「スーパースタミナ」、「スタミナ(画面オン)」または「スタミナ(画面オフ自動ガイド)」になっている。画面をタッチするとともに戻ります。メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→「システム設定」→「省電力モード(画面オフ)」(88ページ)を確認してください。 画面を常時点灯させたい場合は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→「システム設定」→「省電力モード(画面オフ)」(88ページ)で「ノーマル」を選んでください。

症状	原因および処置
メニュー操作が行えず、走行中を示すメッセージが表示される。	<ul style="list-style-type: none"> 安全のため走行中は以下の操作ができません。操作は安全な場所に停車して行ってください。 －メニュー －ツールバー→「ナビ」→ <ul style="list-style-type: none"> －「マーク登録」の「名称」、「よみ」、「グループ」、マークアイコン、「サウンド設定」 －「マーク編集」 －「ナビモード切替」(“nav-u”本体をクレードルからはずしている場合のみ表示されます。)
時刻の合わせかたがわからない。	<ul style="list-style-type: none"> GPS衛星からの電波を受信すると、正しい時刻に自動で調整されます。手動では時刻調整できません。
何も操作していないのに、デモンストレーションが始まる。	<ul style="list-style-type: none"> 「オートデモスタート」が「ON」になっている。メニューボタン→[設定]タブ→「設定」→「システム設定」→「デモンストレーション」→「オートデモスタート」(89ページ)を「OFF」にしてください。
“メモリースティックデュオ”が読めない。	<ul style="list-style-type: none"> “メモリースティックデュオ”(別売)を数回抜き差ししてください。 “メモリースティックデュオ”(別売)のデータをパソコンなどにコピーしてから初期化してください。(90ページ)
クレードルの吸盤の吸着力が低下した。	<ul style="list-style-type: none"> 吸盤の吸着面が汚れると、吸着力が低下します。吸着面が汚れた場合は、付属のスポンジを使って汚れを取り除いてください。柔らかくて毛羽立たない布を水で湿らせ、なでるようにして汚れを取り除くこともできます。 洗剤などは使わないでください。 クレードル内部に水分が入らないよう注意してください。吸着面に湿気が残っていないことを確認してから取り付けてください。
音楽ファイルが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> あらかじめ音楽ファイルの入った“メモリースティックデュオ”(別売)を挿入しておく必要があります。 音楽ファイルやフォルダーの名前が長すぎたり、階層が深すぎると認識されない場合があります。拡張子を含めた音楽ファイル名と、その音楽ファイルが保存されているフォルダーのアドレスを足して、半角233文字以下になるように、名前を短くしたりフォルダーの階層を減らしてください。フォルダーのアドレスは、Windows エクスプローラーのアドレスバーで確認することができます。 本機に対応していない種類の音楽ファイルは再生できません。本機で再生できる音楽ファイルについて詳しくは、「音楽ファイルを転送する」(99ページ)をご覧ください。
ビデオファイルが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> あらかじめビデオファイルの入った“メモリースティックデュオ”(別売)を挿入しておく必要があります。 本機に対応していない種類のビデオファイルは再生できません。本機で再生できるビデオファイルについて詳しくは、「ビデオファイルを転送する」(102ページ)をご覧ください。
ビデオファイルがコマ落ちする。	<ul style="list-style-type: none"> ビデオファイルによっては、コマ落ちなどが発生する可能性があります。
ビデオファイルの再生中に、画面のサイズが突然変わる。	<ul style="list-style-type: none"> 「画面サイズ」を「ノーマル」、「フル」にして、ビデオファイルを再生している場合、ビデオファイルによっては本機の負荷が大きくなることがあります。このような場合、画面サイズが自動的に「オリジナル」に切り替わります。画面サイズの設定について詳しくは、「設定を変更する(オプションメニュー)」(105ページ)をご覧ください。

症状	原因および処置
写真ファイルを表示できない。 または認識されない。	<ul style="list-style-type: none"> • あらかじめ写真ファイルの入った“メモリースティックデュオ”（別売）を挿入しておく必要があります。 • フォルダー名やフォルダー構成が間違っていると認識されません。フォルダー名やフォルダー構成が正しいか、また写真ファイルが「DCIM」フォルダーの中に入っているか確認してください。（106ページ） • 「DCIM」フォルダーの「DCIM」が、半角で入力されているか確認してください。 • 本機に対応していない種類の写真は認識されません。本機で再生できる写真ファイルは、1,360万画素以下のJPEG形式（拡張子JPG、JPEG）のみです。（107ページ） • 写真のファイルサイズによっては、表示できないことがあります。 • パソコンで“メモリースティックデュオ”（別売）内のファイル名やフォルダー名を変更すると認識されないことがあります。 • パソコンで加工した写真は、表示できないことがあります。

エラーメッセージ

メッセージ	原因および処置
地図データが壊れています。	このメッセージが表示されたときは、nav-uツール(PCアプリケーション)を使用して地図データを再転送することで修復することができます。 それでも解決できなかった場合は、ソニーの相談窓口(裏表紙)にご相談ください。
本体の地図データを読みませんでした。	
地図データがありません。	
検索中に不具合が発生しました。 地図データを入れ替えてください。	
フォーマットに失敗しました。	“メモリースティックデュオ”(別売)が壊れているか、フォーマット中に抜いた可能性があります。再度フォーマットするか、他の“メモリースティック”対応機器でフォーマットしてください。再度フォーマットしてもエラーメッセージが表示される場合はソニーの相談窓口(裏表紙)までお問い合わせください。
このグループは名称変更、削除できません。	「未設定」グループは、マーク登録時にグループを設定しなかった場合に標準で付与されるものです。「未設定」グループは名称変更したり削除することができません。
ファイル名として使用できない文字列を指定しています。	Windowsで取り扱えない文字列を指定しています。別の名前を指定してください。
ファイルアクセス中にエラーが発生しました。	途中で“nav-u”本体とパソコンの接続が途切れた可能性があります。接続を確認して再度実行してください。
マークデータが正常に読み込めません。	正しいマークデータではない可能性があります。nav-uツール(PCアプリケーション)で作成したマークファイルか、“nav-u”本体で作成してエクスポートしたマークファイルのみをお使いください。
メモリースティックからデータが読み出せません。 正しく挿入されていないかデータが壊れている可能性があります。	“メモリースティックデュオ”(別売)のデータが壊れています。nav-uツール(PCアプリケーション)を使ってデータを転送してください。 “メモリースティックデュオ”(別売)を挿入し直してください。
目的地に到達するルートを見つけることができません。ルート設定地点を変更してください。	出発地と目的地の位置関係や、交通規制情報などによっては、正しいルートが表示されなかったり、ルート探索できないことがあります。詳しくは、「正しいルートが見つからないときは」(45ページ)をご覧ください。
このコンテンツは再生できません。	本機では再生できない形式のファイルです。再生できるファイル形式については、「音楽ファイルを転送する」(99ページ)、「ビデオファイルを転送する」(102ページ)、「パソコンの写真ファイルを転送するには」(106ページ)をご覧ください。
ビデオの再生負荷が高いため、画面サイズ変更します。	「画面サイズ」を「ノーマル」、「フル」にして、ビデオファイルを再生している場合、ビデオファイルによっては本機の負荷が大きくなる場合があります。 このような場合、画面サイズが自動的に「オリジナル」に切り替わります。 画面サイズの設定について詳しくは、「設定を変更する(オプションメニュー)」(105ページ)をご覧ください。

メモリースティックにインポートファイルが見つかりません。	インポートするルートファイルが見つかりません。 インポートしたいルートファイルが、“メモリースティックデュオ” (別売) の正しい場所に置かれているか確認してください。(94ページ)
ルートのインポートに失敗しました。ファイルフォーマットが正しくない可能性があります。ファイルの内容を確認してください。	インポートするルートファイルのフォーマットを確認してください。
ルートのインポートに失敗しました。インポート可能なファイルサイズの上限を超えている可能性があります。ファイルの内容を確認してください。	インポートできるルートファイルの上限は2MBです。ファイルのサイズを確認してください。

索引・付録

索引.....	142
ジェスチャー操作一覧	145

あ

アイコンサイズ 93
アウトドア地図 80
明るさ調整 88
案内 91
案内前のルート確認 92

い

行き先メニュー 51
一方通行 93
移動速度と高度 93
インポート 86

う

右折／左折専用車線 92

え

エクスポート 86

お

オートデモスタート 89
おでかけ転送 115
音楽起動／終了
（ツールバー）69
音楽を聞く 98
音声案内 91
音量 88
音量（ツールバー）73

か

ガイド音声 88
ガイドブックで探す
（行き先メニュー）54
ガイドブックで探す
（最寄メニュー）65
ガイドブックを見る 96
画面 88
画面ロック 78

カロリー計算設定 90
かんたん最寄で探す 59, 66

き

機器情報 90
季節規制考慮 91
機銘板（“nav-u”本体）21
機銘板（クレードル）22
吸盤 22
吸盤LOCK/RELEASE
レバー 22
吸盤PUSHボタン 22
吸盤保護カバー 22

く

区間ごとの条件変更 83
繰り返し再生（音楽）101
繰り返し再生（写真）108
繰り返し再生（ビデオ）105
グループ削除 86
グループ新規作成 86
グループ並べ替え 86
グループの編集 86
グループ（マーク）85
グループ名称変更 86
クレードル接続端子 21

け

経由地 82
経由地スキップ 72
現在地 26
現在地から 67
現在地ボタン 21
現在ルート消去 83
現在ルート編集 82, 83
検索範囲 67

こ

広域画面 38
交差点拡大図 92

高速情報アイコンの例 123
交通情報 94

勾配 76
合流 92
この地点から 67
困ったときは 134
コンパス 72

さ

サイクリングロード 91
再生画面 71
サウンド設定 85
サウンドテーマ切替 88
削除（ビデオ）105

し

ジェスチャー操作 145
市街詳細地図の表示 93
時刻の調整 28, 136
事故多発地点 92
自車位置変更 90
システム初期化 90
システム設定 88
施設アイコン 87
自宅／お気に入り編集 87
自宅／お気に入りメニュー 68
自宅登録 42, 89
自転車ルート探索条件 91
自転車モード 74
自動縮尺変更 94
自動スタンバイ（30分）89
自動速度違反取締装置
（オービス）92
絞り込み（ジャンル検索）55
車種設定 88
写真を見る 106
シャットダウン 20, 28
シャッフル 101

ジャンルで探す
（行き先メニュー） 55
ジャンルで探す
（最寄メニュー） 62
住所で探す 51
住所と道路名称を表示
する 35, 89
住所表示（スクロール時） 89
渋滞予測探索 94
充電する 23
充電ランプ 21
縮尺 38
詳細画面 38
詳細情報（音楽） 101
詳細情報（ビデオ） 105
省電力モード（画面オフ） 88
情報 70
情報＋地図 70
自律航法 118
新規ルート作成 83
信号 93
す
スーパースタミナ 88
ズームスクロール 93
スクロール 36
スタミナ
（画面オフ自動ガイド） 88
スタミナ（画面オン） 88
スタンバイ 20, 28
スピーカー 21
スポット 96
スマートIC考慮探索 91
スライドショー 108
スライドショー再生範囲 108
スライドショーの間隔 108
スライドショーリピート 108

せ
積算距離初期化 90
設定 88
全ルート 73
そ
走行軌跡 93
走行軌跡の消去 93
操作音 88
測位情報 90
た
タッチパネル 21
タブ 22
探索開始 83
探索条件 91
ち
地図 71
地図カラー 93
地図記号 93
地図について 120
地図の向きを変更する 39
地図の向きを変更する
（徒歩モード） 77
地図表示 93
地図表示記号の例 123
地点自動並べ替え 83
地点履歴 60, 61
注意案内 92
注意地点 92
昼夜カラー自動切替 93
昼夜切替 88
つ
追加（経由地） 82
ツールバー 69
ツールバーを隠す（地図） 89

て
テーマ切替（メニュー） 88
デモ開始 89
デモンストレーション 89
電源の状態 50
電池の状態 34
電話番号で探す 52
と
道路幅 93
都市高速入口案内表示 92
徒歩モード 77
徒歩ルート探索条件 91
な
内蔵GPSアンテナ 21
ナビ 72
ナビモード切替 87
並べ替え（写真） 108
に
日時指定 62
入力文字の自動確定 89
の
ノーマル 88
は
バージョン情報 90
ハイウェイマップ 47
ハイウェイマップ表示 92
パソコンとの接続 113
バックアップ 5, 86
早見再生 105
ハンドストラップ穴 21
ひ
ビデオ起動／終了
（ツールバー） 69
ビデオファイルを削除
する 105

ビデオを見る 102
標高グラフ 75
標高グラフ表示
（自転車モード） 89
表示切替 70

ふ

フェリー考慮 91
踏切 92
フラッシュメモリー 5
プリセットスケール 93

へ

平均速度の停止時間考慮 90
ヘッドホンジャック 21
編集・設定メニュー 82

ほ

方位 39
防滴 8
方面看板表示 92
保存ルートで探す 61
保存ルート呼出 83

ま

マークアイコン 85
マーク削除 85
マークで探す 58
マーク登録 72, 73
マークの表示 93
マークの編集 85
マーク編集 85, 86
マップマッチング 118

め

名称で探す
（行き先メニュー） 56
名称で探す
（最寄メニュー） 64
メニュー画面 50
メニューボタン 20

“メモリースティック” 125
“メモリースティック”
アクセスランプ 20
“メモリースティックデュオ”
スロット 20
“メモリースティック”の
初期化 126

も

目的地周辺 67
目的地方向 67
文字サイズ 93
文字入力 32
最寄メニュー 62

ゆ

郵便番号で探す 51

よ

よみ順 85

り

リアル交差点ガイド表示 92
リストア 86
リセットボタン 20
立体ランドマーク 93
立体ランドマークの例 123
リピート(音楽) 101
リピート(ビデオ) 105
履歴で探す 60

る

ルートカラー 93
ルートシミュレーション 89
ルート探索条件 83
ルートのインポート 94
ルートの編集 82
ルートの保存 61, 83
ルート呼出 61

アルファベット

D

DC IN 5 V端子 21, 22

G

GPS 118
GPS衛星 118
GPS受信確認 90
GPSログ設定 90

I

IPX5 8

M

M.S.フォーマット 90

N

“nav-u”接続端子 22
nav-uツール 110

P

PCアプリケーション 110
PetaMap 96

R

RELEASEボタン 22

U

USB端子 20

数字







2D/3Dマップ切替 93

記号

I/⏻(パワーオン/スタンバイ・
シャットダウン)ボタン 20

ジェスチャー操作一覧

画面に円や直線を描くようにタッチすると(ジェスチャー操作)、よく使う機能を簡単に使えます。ジェスチャーは、画面に指を確実にあてた状態で大きく描いてください。

アプリケーション	機能	ジェスチャー操作
ナビゲーション	プリセットスケールに変更する	
	自宅までのルートを探索する(「自宅」が登録されている場合のみ)	
	 までのルートを探索する(「★1」(お気に入り1)が登録されている場合のみ)	
	 までのルートを探索する(「★2」(お気に入り2)が登録されている場合のみ)	
ガイドブックを見る	スポット詳細画面でページ送りする(1ページ前 / 1ページ後)	← / → (画面上部のタイトル部で操作する)
音楽を聞く	操作パネルの表示 / 非表示	タッチする
	頭出しする(1つ前 / 1つ後)	← / →
	フォルダーを切り替える(1つ前 / 1つ後)	↓ / ↑
ビデオを見る	操作パネルの表示 / 非表示	タッチする
	頭出しする(1つ前 / 1つ後)	← / →
	フォルダーを切り替える(1つ前 / 1つ後)	↓ / ↑
写真を見る	スライドショーを始める(操作ボタンが表示されている場合のみ)	タッチする
	別の写真に変更する(1つ前 / 1つ後)	← / →
	フォルダーを切り替える(1つ前 / 1つ後)	↓ / ↑

ご注意

十字カーソルが表示されているときは、ジェスチャー操作は使えません。ジェスチャー操作は、現在地ボタンをタッチしてから行ってください。

